

松山市埋蔵文化財調査年報 28

平成 27 年度

2016

松山市教育委員会
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター

松山市埋蔵文化財調査年報 28

平成 27 年度

2016

松山市教育委員会
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター

序 言

本書は、平成 27 年度に松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが市内で実施した発掘調査等事業、並びに松山市考古館が行った展示会・体験学習等の普及啓発事業の概要をまとめたものです。

発掘調査等事業のなかで特筆すべき調査は、城山公園堀之内地区で行われた松山城三之丸跡 18 次調査と J R 松山駅西側で行われた南江戸上沖遺跡 1 次調査です。前者では絵図に描かれた馬場土手が初めて確認され、後者では直線の溝で区切られた中世集落が見つかりました。

普及啓発事業では、「まつやま子ども週間」に火おこしや石勾玉作り等の体験イベント「古代体験まつり」を開催し、多くのご家族連れにご参加いただきました。特別展「あつまれ！古代のかお」では、県内外の出土品等をわかりやすく展示し、ご来場の皆様からご好評をいただきました。公民館、学校、児童クラブ等への出前講座は、本年度で通算千回を達成し、全国的にも注目されました。回数を重ねるうち、古代人に親近感をもつ方が徐々に増えているように感じます。

最後になりましたが、松山市教育委員会と埋蔵文化財センターによる遺跡の発掘調査や保護、普及啓発活動に対して、皆様からのご理解とご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げますとともに、本書を埋蔵文化財の保護と調査研究等のための資料として多くの方々にご活用いただければ幸いに存じます。

平成 28 年 12 月 28 日

松山市教育長
藤田 仁

例 言

1. 本書は、松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが、平成27年4月1日から平成28年3月31日までに実施した発掘調査の概要と、松山市考古館が行った普及啓発事業の成果などをまとめた年次報告書である。
2. 確認調査については、第Ⅱ章の表にその概要をまとめた。
3. 各調査の報告は、発掘調査担当者が執筆し、編集は小笠原善治が行った。
4. 本書に掲載した写真の大半は、大西朋子が撮影した。
5. 位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。
6. 遺構は、以下の略号で記した。
SB：竪穴式住居址（建物址） 掘立：掘立柱建物址 SR：自然流路 SD：溝 SG：池
SE：井戸 SK：土坑 SA：柵、柱列 SP：柱穴 SX：性格不明遺構 T：トレンチ
7. 刊行組織は、以下のとおりである。（平成28年12月28日現在）

松山市教育委員会	教育長	藤田 仁
事務局	局長	前田 昌一
	次長	家串 正治
	次長	杉本 威
文化財課	課長	若江 俊二
	主幹	越智 茂樹
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団	理事長	中山絃治郎
事務局	局長	中西 真也
	次長兼総務部長	橘 昭司
文化振興部	部長	梶原 信之
埋蔵文化財センター	所長兼考古館館長	村上 卓也
	（調査・研究）主査	梅木 謙一
	（普及・啓発）主査	橋本 雄一

8. ご指導・ご協力を賜りました方々は、次のとおりである。（五十音順・敬称略）
市本芳三（公益財団法人大阪府文化財センター）・植地岳彦（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター）・大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館）・岡戸哲紀（公益財団法人大阪府文化財センター）・小栗明彦（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館）・亀田幸久（公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター）・北井利幸（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館）・木下 亘（奈良県立

橿原考古学研究所附属博物館)・日下正剛(徳島県徳島科学技術高等学校)・柴田昌兎(愛媛大学)・
下條信行(愛媛大学)・須藤好直(奈良県立橿原考古学研究所)・富田尚夫(愛媛県教育委員会)・
丹羽恵二(桜井市教育委員会)・橋本輝彦(桜井市纏向学研究センター)・早川和子(考古イラストレー
ター)・坂 靖(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館)・兵頭 勲(愛媛県歴史文化博物館)・福
辻 淳(桜井市教育委員会)・前谷雅貴(正派邦楽会)・松崎俊郎(向日市教育委員会)・松下孝幸(NPO
法人 人類学研究機構)・村上恭通(愛媛大学)・村田昌也(徳島市立考古資料館)・三澤朋未(桜井
市教育委員会)・矢野 修(公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター)

9. ご指導・ご協力を賜りました機関は、次のとおりである。(五十音順・敬称略)

株式会社葵文化／愛媛県教育委員会／愛媛県歴史文化博物館／公益財団法人愛媛県埋蔵文化財セン
ター／NPO法人人類学研究機構／公益財団法人大阪府文化財センター／公益財団法人大阪市博物
館協会大阪文化財研究所／公益財団法人元興寺文化財研究所／株式会社古環境研究所／公益財団法
人徳島県埋蔵文化財センター／公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター／株式会社
トリアド工房／桜井市教育委員会／桜井市立埋蔵文化財センター／桜井市纏向学研究センター／正
派邦楽会／独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所／徳島県教育委員会／徳島県立埋蔵文化
財総合センター／徳島市立考古資料館／栃木県教育委員会／奈良県立橿原考古学研究所／奈良県立
橿原考古学研究所附属博物館／株式会社文化財ユニオン／パリノ・サーヴェイ株式会社／株式会社
パレオ・ラボ

10. 本書の仕様は以下のとおりである。

製版 モノクロ写真・写真図版－175線

印刷 オフセット印刷

用紙 本文：三菱製紙ニューVマット

製本 無線綴じ

本文目次

I	平成 27 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
	平成 27 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	2
	衣山東組遺跡	3
	南吉田南代遺跡	4
	朝美辻遺跡 3 次調査	5
	余戸柳井田遺跡 2 次調査	6
	余戸柳井田遺跡 3 次調査	7
	南江戸下沖遺跡	8
	南江戸上沖遺跡 1 次調査	9
	松山城本丸跡 7 次調査	10
	松山城三之丸跡 18 次調査	11
	松山城本丸跡 8 次調査	12
	土居窪遺跡 4 次調査	13
	余戸中の孝遺跡 4 次調査	14
	余戸中の孝遺跡 5 次調査	15
	余土中学校構内遺跡	16
	持田本村遺跡	17
	枝松遺跡 12 次調査	18
	福音小学校構内遺跡 2 次調査	19
	北久米遺跡 9 次調査	20
	恵原新張遺跡 1 次調査	21
	恵原新張遺跡 2 次調査	22
	平井遺跡 10 次調査	23
	古市遺跡 3 次調査	24
II	平成 27 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
	平成 27 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	26
	航空機有蓋掩体確認調査	37
III	平成 27 年度 出土物整理・保存処理事業	
	1. 出土物整理	40
	2. 保存処理	43
IV	平成 27 年度 普及啓発事業	
	1. 展示活動	46
	2. 教育普及活動	47

3. 収集・保管・育成活動	48
4. 出版活動	49
5. 資料の貸出・調査	49
6. 広報活動	49
7. 考古館月別入館者数調	49

V 関係法規

1. 松山市立埋蔵文化財センター条例	68
2. 松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則	70

挿図・写真目次

I 平成 27 年度 松山市埋蔵文化財調査概要

衣山東組遺跡	3
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 遺構検出状況 (北西より)
	写真 2 柱穴半截状況 (東より)
南吉田南代遺跡	4
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 調査地全景 (南より)
	写真 2 SD1 検出状況 (東より)
朝美辻遺跡 3 次調査	5
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 1 区完掘状況 (北より)
	写真 2 2 区完掘状況 (西より)
余戸柳井田遺跡 2 次調査	6
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 調査地全景 (南東より)
	写真 2 足跡検出状況 (南より)
余戸柳井田遺跡 3 次調査	7
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 遺構検出状況 (北より)
	写真 2 土坑墓検出状況 (南より)
南江戸下沖遺跡	8
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 調査地全景 (北西より)
	写真 2 土坑内遺物出土状況 (北より)
南江戸上沖遺跡 1 次調査	9
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 土器溜まり 1 (北西より)
	写真 2 調査区全景 (南西より)

松山城本丸7跡次調査	10
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 調査区及び乾門東続櫓・乾門・乾櫓 (北東より)
	写真2 切土斜面及び盛土、柱穴 (東より)
松山城三之丸跡18次調査	11
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 遺構完掘状況 (東より)
	写真2 馬場土手と並行する南北溝 (北より)
松山城本丸跡8次調査	12
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 1区南部完掘状況 (南より)
	写真2 2区完掘状況 (北西より)
土居窪遺跡4次調査	13
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 1区完掘状況 (南東より)
	写真2 SR1遺物出土状況 (西より)
余戸中の孝遺跡4次調査	14
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 D区遺構完掘状況 (北より)
	写真2 井戸半截状況 (南より)
余戸中の孝遺跡5次調査	15
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 SB1検出状況 (南西より)
	写真2 SB1遺物出土状況 (南より)
余土中学校構内遺跡	16
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 遺構完掘状況 (北東より)
	写真2 溝内から出土した礫 (南より)
持田本村遺跡	17
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 1・2区遺構検出状況 (北より)
	写真2 3・4区遺構検出状況 (西より)
枝松遺跡12次調査	18
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 完掘状況 (西より)
	写真2 SK2完掘状況 (南より)
福音小学校構内遺跡2次調査	19
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 遺構完掘状況 (東より)
	写真2 竪穴建物の完掘状況 (南より)
北久米遺跡9次調査	20
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 完掘状況 (南より)
	写真2 SD6遺物出土状況 (南より)
恵原新張遺跡1次調査	21
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 1区から3区全景写真 (南より)
	写真2 3区完掘状況 (南東より)
恵原新張遺跡2次調査	22
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 6～8区調査地全景 (西より)

	写真 2	2号墳完掘状況（北より）	
平井遺跡 10次調査		23
図 1	調査地位置図（縮尺 1：25,000）	写真 1	SR1 遺物出土状況（南西より）
		写真 2	SR1 完掘状況（北より）
古市遺跡 3次調査		24
図 1	調査地位置図（縮尺 1：25,000）	写真 1	検出した弥生時代の土坑（西より）
		写真 2	検出した古墳時代の土坑（東より）
II 平成 27 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料			
図 1	平成 27 年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図（縮尺 1：80,000）	38
IV 平成 27 年度 普及啓発事業			
写真 1	「考古館・楽しかった 2014 展」	60
写真 2	発掘へんろ展「四国の黎明」	60
写真 3	展示会「掘ったぞな松山 2015」	60
写真 4	展示会「いにしへのえひめ」	60
写真 5	特別展「あつまれ！古代のかお」	60
写真 6	発掘情報展「東山古墳公園」	60
写真 7	「松山市考古館写真展」（松山市役所ロビー）	60
写真 8	講演会「発掘へんろ」	60
写真 9	講演会「特別展 あつまれ！古代のかお」	61
写真 10	考古館ロビー 箏コンサート	61
写真 11	「わかりやすい考古学講座」（6 月）	61
写真 12	「わかりやすい考古学講座」（10 月）	61
写真 13	「地域のたから再発見」（雄郡公民館）	61
写真 14	石勾玉を作ろう①	61
写真 15	石勾玉を作ろう②	61
写真 16	古代体験まつり	61
写真 17	染物体験（藍染め）	62
写真 18	染物体験（茜染め）	62
写真 19	火おこし体験	62
写真 20	歴史バスツアー	62
写真 21	団体来館（館内案内）	62
写真 22	出前考古学教室 1,000 回達成（味酒小学校）	62
写真 23	大連古代蓮	62
寄贈資料の報告		65・66
図 1	寄贈青銅鏡実測図（縮尺 1：1）	写真 1	寄贈青銅鏡（保存処理後）

表 目 次

II	平成 27 年度	松山市埋蔵文化財調査関係資料	
	表 1	平成 26 年度 松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧	27
	表 2	平成 27 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧 (1) ~ (8)	27 ~ 34
	表 3	平成 27 年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧 (1) (2)	35 ~ 36
III	平成 27 年度	出土物整理・保存処理事業	
	1.	出土物整理	
	表 1	遺物接合・復元作業一覧 (1) (2)	40 ~ 41
	表 2	遺物実測・製図・収蔵・図面整理作業一覧	41
	表 3	遺物写真・現像・整理作業一覧	42
	2.	保存処理	
	表 1	金属製品保存処理遺跡一覧	43
	表 2	平成 27 年度調査出土金属・木製・動植物遺体一覧	44
IV	平成 27 年度	普及啓発事業	
	1.	展示活動	
	表 1	展示会一覧 (1) (2)	49 ~ 50
	2.	教育普及活動	
	表 2	教育普及活動一覧 (考古学講座・講演会等)	50
	表 3	教育普及活動一覧 (古代体験教室) (1) (2) (3)	51 ~ 53
	表 4	教育普及活動一覧 (遺跡見学会)	53
	表 5	教育普及活動一覧 (体験学習・団体来館) (1) (2) (3)	53 ~ 55
	表 6	教育普及活動一覧 (現地説明会)	55
	表 7	教育普及活動一覧 (職場体験)	55
	表 8	教育普及活動一覧 (館外・出前考古学教室) (1) (2) (3)	55 ~ 57
	表 9	教育普及活動一覧 (職員研修・会議)	57
	4.	出版活動	
	表 10	考古館印刷物一覧 (ポスター・チラシ等)	57
	表 11	出版物一覧	58
	5.	資料の貸出・調査	
	表 12	資料の貸出一覧 (1) (2)	58 ~ 59
	表 13	資料の調査一覧	59
	6.	広報活動	
	表 14	広報活動	59
	7.	考古館月別入館者数調	
	表 15	平成 27 年度 考古館月別入館者数調 (平成 27 年 4 月~平成 28 年 3 月)	59

I 平成 27 年度

松山市埋蔵文化財調査概要

平成 27 年度 松山市埋蔵文化財調査概要

概要 平成 27 年度の埋蔵文化財調査事業は、発掘調査 23 件（確認調査 1 件含む）、試掘調査 261 件、年報・報告書刊行 9 件、出土物整理・保存処理を実施した。

〔発掘調査〕 発掘調査は公共事業 10 件、民間事業 7 件、国庫補助事業 5 件、確認調査 1 件である。

公共事業（10 件）：松山外環状道路空港線（余戸北吉田線整備事業）では南吉田南代遺跡、余戸柳井田遺跡（2・3 次）、余戸中の孝遺跡（4・5 次）で調査を実施し、弥生時代～中世の集落遺跡（水田含む）を確認する。南吉田南代遺跡は海岸線から数 100 m の地点で、遺構面の標高が 2.1 m であり、市内の遺跡調査では最も標高の低い地域での調査であった。余戸中の孝遺跡（5 次）では古墳時代中期の非陶器系須恵器である「市場系須恵器」も数多く出土し、古墳時代中期の集落及び流通の資料が得られた。また、余土地区では余土中学校の建設に伴い発掘調査（余土中学校構内遺跡）を実施し、弥生時代の集落跡を確認している。一方、松山駅周辺土地区画整地事業では J R 松山駅西側の南江戸上沖遺跡 1 次調査で、方形区画の可能性が高い中世集落跡を確認し、発掘調査の少ない市内南部の恵原地区では農地整備事業通作条件整備に伴い恵原新張遺跡の調査（1・2 次）を実施し、弥生時代～古墳時代の集落跡と古墳 1 基を検出している。

民間事業（7 件）：市内の中央部や東部で調査を実施した。持田本村遺跡では縄文時代の土坑から大分県姫島産黒曜石、弥生時代の土壙墓からは副葬品の小型壺、江戸時代の溝からは完形品を含む唐津焼の碗・皿が出土している。南江戸下沖遺跡では古墳時代の祭祀遺構が検出され、須恵器の坏身・坏蓋等が 2 地点からまとまって出土し、須恵器の坏身の中に小石が入れられていたものもあった。平井遺跡では古墳時代の流路跡から焼成不良の須恵器が多く出土した。以上の資料は、いずれも市内では数少ない資料であり、貴重な資料が得られている。

国庫補助事業（5 件）：松山城三之丸跡では継続的に保存整備に伴う確認調査を実施しており、今年度は 18 次調査になる。北御門広場の南端にあった南北・東西の溝と道路、馬場土手、土塀基礎等を確認し、溝からは瓦類や多量の陶磁器（砥部焼・瀬戸焼等）が出土した。松山城本丸跡では防災設備等の整備事業に伴う調査を 2 件（7・8 次）実施し、7 次調査では江戸時代の整地土、切土斜面、盛土を検出し、構築方法に関わる重要な資料が確認され、8 次調査では絵図にない遺構が検出され、貴重な資料が得られている。一方、個人住宅建設に伴う調査では、祝谷 2 丁目で土居窪遺跡の調査を行い、弥生時代中期の溝が検出され、線刻土器や分銅形土製品が出土している。

確認調査（1 件）：松山空港東側にある航空機有蓋掩体について、当時の地表状況等を把握することを目的に今年度初めて確認調査を実施した。（37 p）

なお、発掘調査では現地説明会を 4 箇所で行い、延べ 440 人の参加者があった。（55 p・表 6）

〔試掘調査〕 国庫補助事業として、市内一円における試掘調査を実施し埋蔵文化財の有無を確認している。試掘件数は 261 件で前年度（227）に比べ 34 件増加した。（27～34 p）

〔年報・報告書刊行〕 26 年度事業をまとめた『年報 27』と 6 冊の発掘調査報告書を作成した。調査報告書は過去の公共・民間開発に伴う発掘調査事業が 3 冊（10 遺跡）、国庫補助発掘調査事業が 3 冊（8 遺跡）である。

〔出土物整理・保存処理〕 報告書の刊行後には遺物・図面資料・写真資料を整理・分類した後、収蔵庫や写真整理室への収納作業を行い、27 年度に実施した発掘調査や 28 年度に刊行予定の出土品の復元作業、保存処理作業、実測・トレース作業、図面・写真資料の台帳作成等も行った。（40～46 p）

衣山東組遺跡

所在地	松山市衣山二丁目 326 番 4 の一部 (包蔵地 No.20)
期 間	平成 28 年 2 月 22 日～平成 28 年 3 月 18 日
面 積	75.47㎡
原 因	緊急調査
担 当	山本健一

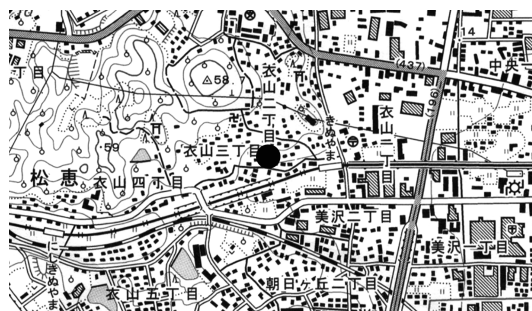


図 1 調査地位置図

概 要 調査地は、松山平野の西部、衣山の低位丘陵の標高約 19 m に立地し、松山市埋蔵文化財包蔵地「No.20 永塚古墳」内に位置する。周辺の遺跡としては、申請地の北側に前方後円墳である永塚古墳、衣山大塚北遺跡、衣山北組遺跡があり、西側には衣山西ノ岡遺跡のほか古代の窯跡の存在が確認されている。このうち調査地に近接する衣山大塚北遺跡では、弥生時代後期の竪穴建物や古墳時代の溝や土坑などが見つかり、付近一帯には弥生時代～古墳時代にかけての集落が広がっている事が確認されている。試掘調査では柱穴 4 基を検出し、遺物は弥生土器と考えられる土器片が出土した。これらの事により、弥生時代以降の集落の範囲や性格の確認を主目的として調査を行った。調査地は緩斜面上に立地しているため、標高の高い部分は切土が行われ削平されていた。また以前の建物による攪乱も受けていたが、調査の結果、柱穴 5 基を検出した。

検出された柱穴は、調査対象部分の南端に位置する。平面形は円形を呈し、規模は径 42～48cm、深さ 22～38cm を測る。埋土は主に黒褐色である。柱穴からの出土遺物は根詰石用に使用された瓦(布目)、また埋土中より弥生土器の小片が出土した。柱穴の時期については現在整理中で決定できないが、古代以降と考えられる。

まとめ 調査の結果、遺構が検出されたのは調査対象部分の南端であり、これより北部では検出されなかったため遺構が存在するのは南部方向と考えられる。また、今回検出された 5 基の柱穴は平面形態、規模、埋土、遺物の出土状況が似ており、掘立柱建物跡を構成するもので、柱穴には切り合いが見られるため、建物の建て替えが想定されるものである。また柱穴埋土から出土した弥生土器片から、調査地が削平を受ける以前は、弥生時代の包含層もしくは遺構等の存在が考えられる。



写真 1 遺構検出状況 (北西より)



写真 2 柱穴半截状況 (東より)

みなみよしだみなみしろ
南吉田南代遺跡

所在地 松山市南吉田町6番3、7番3及び8番3の各一部
(包蔵地外)
期 間 平成27年12月16日～平成28年1月29日
面 積 約380㎡
原 因 緊急調査
担 当 水本完児

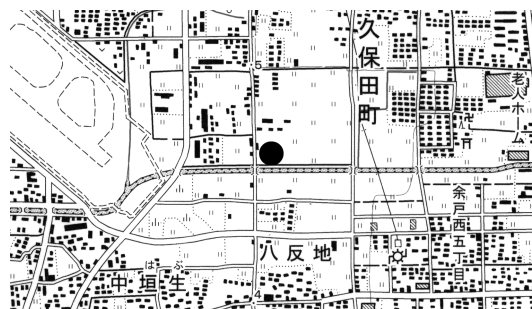


図1 調査地位置図

概要 本調査は、松山外環状道路（空港線）余戸西工区整備事業に伴い実施した埋蔵文化財の発掘調査である。調査地は工事対象地の北端部に位置し、現在の海岸線までは1km足らずの地点に所在しており、現況の標高は4.5m前後である。調査では、地表下2.4m（標高2.1m）の地点にて遺構と大量の遺物を含む包含層を確認した。検出した遺構は溝1条であるが、遺構検出面となる黒色粘質土（厚さ60cm）からは弥生時代前期から古墳時代までに使用された土器や石器が大量に出土している。SD1は幅35～70cm、深さ6～10cmの溝で、溝からは土器片のほかに板材や木杭、種子（モモ）などが出土した。出土遺物より、SD1は古墳時代初頭の溝と考えられる。溝の全容や用途は不明であるが、調査地や近隣地域には該期の集落が存在するものと思われる。また、SD1検出面では調査地全域から大量の土器が出土したが、溝以外には明確な遺構は検出されなかった。これらの土器は溝と同時期のものであり、この中には畿内地方や出雲地方から持ち込まれたと思われる土器（搬入品）が含まれている。これらは、当時の松山平野と他地域との交流が知れる貴重な資料である。なお、前述した黒色粘質土上層からは古墳時代後期、6世紀後半に時期比定される土師器や須恵器が出土したほか、下層からは弥生時代前期末から中期後半の土器が数多く出土している。

まとめ 今回の調査により、標高2m前後といった低地部に弥生時代から古墳時代集落の存在する可能性が高いことがわかった。海岸線に近い地域での発掘調査例は極めて少なく、今後、松山平野における海岸沿いの集落様相や変遷を解明するうえで重要な遺跡といえよう。



写真1 調査地全景（南より）



写真2 SD1 検出状況（東より）

あさみつじ
朝美辻遺跡 3 次調査

所在地 松山市朝美一丁目 1290 番 7 の一部
(包蔵地 No.34)

期 間 平成 28 年 2 月 8 日～平成 28 年 2 月 12 日

面 積 15.5m²

原 因 専用住宅の建築のための造成工事

担 当 山之内志郎

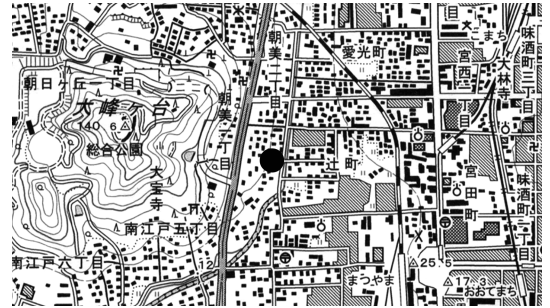


図 1 調査地位置図

概 要 調査は、専用住宅の建築のための造成工事に伴う発掘調査である。

調査地は、松山平野西部に位置する大峰ヶ台丘陵の東麓、標高約 15 m に立地する。調査地の北側では朝美辻遺跡 1 次調査や朝美澤遺跡 1・2 次調査が行われ、特に朝美辻遺跡 1 次調査では古墳時代後期の自然流路から高床建物の建築部材である「蹴放し」が出土している。西部では大峰ヶ台丘陵において大峰ヶ台遺跡 1～13 次調査が実施され、弥生時代中期の高地性集落や朝日谷 2 号墳をはじめとした数多くの古墳を確認している。そのほか、大峰ヶ台丘陵東麓の辻町遺跡 2 次調査では、古墳時代～飛鳥時代の集落を確認している。南部では、辻町遺跡や古照遺跡などで弥生時代から中近世の遺構や遺物を検出している。

調査では弥生時代から近世までの遺構と遺物を検出した。遺構は溝 3 条、土坑 6 基、柱穴 8 基を検出した。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、瓦、木製品が出土した。

まとめ 弥生時代 柱穴や弥生土器を検出したことにより弥生時代集落が大峰ヶ台丘陵から東方向に広がることを確認できた。

古墳時代 遺構では溝と土坑、柱穴を検出し、遺物では 6 世紀初頭の土師器と須恵器が出土した。調査地の西に位置する大峰ヶ台Ⅱ遺跡や朝美辻遺跡 2 次調査においても、同様の溝や同時期の遺物が出土している。特に、3 条の溝は形状や方向がほぼ同じで、埋土も同一であることから同時期に存在していたと推定され、古墳時代後期の集落が弥生時代と同様に東方向に広がることを確認できた。

近世 土坑 4 基を検出した。土坑は狭小な範囲の調査のため、形状や規模が不明瞭である。古墳時代の溝の用途、近世の土坑については、周辺の遺跡での関連を考えながら今後の課題としたい。



写真 1 1 区完掘状況 (北より)



写真 2 2 区完掘状況 (西より)

ようごやないだ
余戸柳井田遺跡 2 次調査

所在地 松山市余戸西四丁目 2407 番 5
(包蔵地外)
期 間 平成 27 年 9 月 24 日～平成 27 年 10 月 31 日
面 積 約 190m²
原 因 緊急調査
担 当 宮内慎一

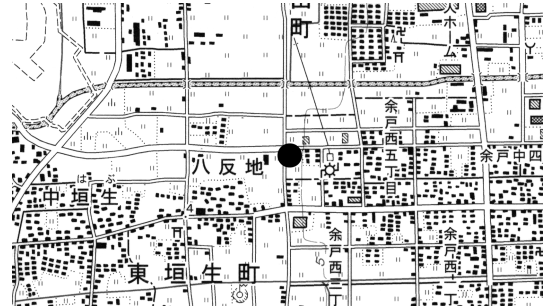


図 1 調査位置図

概 要 本調査は、松山外環状道路（空港線）余戸西工区整備事業に伴い実施した埋蔵文化財の発掘調査である。同整備事業に関連する発掘調査は平成 26 年度に始まり、これまでに余戸中の孝遺跡（1・2 次調査）、余戸柳井田遺跡（1 次調査）が実施されている。余戸中の孝遺跡からは、鎌倉時代の建物址や溝、土坑のほか、円形状に巡る溝を伴った土坑墓が検出されており、土坑墓からは埋葬された状態の人骨が出土している。一方、余戸柳井田遺跡では、室町時代の水田址などが発見されている。

調査地は松山平野西部、重信川下流域の扇状地上、標高 5.1 m 前後に立地しており、余戸柳井田遺跡 1 次調査地の西方、約 30 m の地点に所在する。調査では、鎌倉時代から室町時代までの遺構や遺物を確認した。鎌倉時代の遺構は、標高 3.5 m の地点にて溝 3 条と柱穴 12 基を検出した。溝は 13 世紀後半頃の遺構であり、埋土中に砂が含まれていることから水利に伴うものと考えられる。なお、柱穴内からは土師器や瓦器の破片が出土したが、建物を構成するまでには至らなかった。しかしながら、近隣地域には該期の建物が存在する可能性が高いと考えられる。一方、室町時代では標高 3.8 m の地点にて水田址を検出した。青灰色粘質土（水田層）上面にて、262 個の足跡が見つかり、足跡は調査地全域に分布しているが、畦畔は確認できなかった。足跡には人間と牛とがあり、各々が真北方向に直交する東西方向に向かって進んでいる。このことから、真北方向を指向した水田区画が存在したものと推測される。

まとめ 今回の調査では、室町時代の水田址を検出した。余戸柳井田遺跡 1 次調査においても同時期の水田址を検出しており、調査地周辺域には該期の水田が広範囲に展開しているものと考えられる。



写真 1 調査地全景（南東より）



写真 2 足跡検出状況（南より）

ようごやないだ
余戸柳井田遺跡 3次調査

所在地 松山市余戸西四丁目 2187 番 3、2188 番 3
(包蔵地外)
期 間 平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 2 月 20 日
面 積 約 450㎡
原 因 緊急調査
担 当 宮内慎一

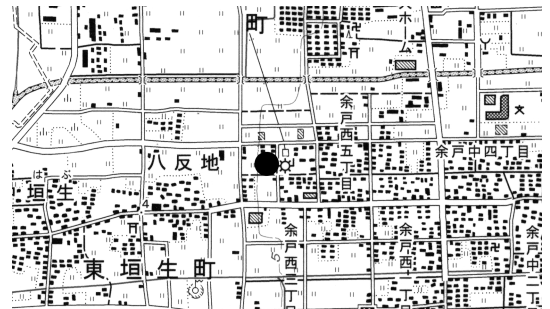


図 1 調査地位置図

概 要 本調査は、松山外環状道路（空港線）余戸西工区整備事業に伴い実施した埋蔵文化財の発掘調査である。調査地は余戸柳井田遺跡 1・2 次調査地の北側に隣接しており、調査では平安時代から室町時代の遺構や遺物を確認した。標高 3.2 m 前後の地点からは、掘立柱建物址 4 棟、溝 9 条、土坑 5 基、土坑墓 1 基、柱穴 235 基を検出した。建物址（鎌倉時代）は 1 間×1 間もしくは 1 間×2 間の小規模なもので、倉庫的として使用されたものと推測される。なお、9 基の建物柱穴からは、柱材の一部が遺存していた。また、調査では真北方向に掘削された幅 1～2 m、深さ 30～50cm の溝（平安時代後期～鎌倉時代）が検出されているが、調査地南方にある余戸柳井田遺跡 4 次調査（愛媛県が調査を担当）では東西方向にのびる同規模の溝が検出されており、両者が同一の溝とすれば何らかの施設を取り巻く区画溝の可能性はある。溝からは土師器や須恵器、瓦器のほか、植物の葉が描かれた板状の木製品や種子（モモ）などが出土している。このほか、土坑墓（13 世紀後半）からは屈葬状態の人骨と棺の一部が出土している。次に、標高 4 m 前後の地点からは水田耕作に伴う足跡を検出した。足跡には人間と牛とがあり、牛の足跡は 2,077 個あり、足跡総数は 3,000 個以上である。足跡は各々が真北方向に直交、または平行に進んでいることから、真北方向を指向した水田区画が存在したものと推測される。なお、検出層位や出土遺物より、本調査検出の水田址は余戸柳井田遺跡 1・2 次調査で検出した水田址と同時期のものと考えられる。

まとめ 今回の調査では、調査地や周辺地域には平安時代から鎌倉時代にかけて集落に関連する何らかの施設が存在し、その後、室町時代には水田や畑などを営むようになったものと考えられる。今後は整理・研究を進め、水田の形状や規模、範囲などを解明し、当時の水田を復元する必要がある。



写真 1 遺構検出状況（北より）



写真 2 土坑墓検出状況（南より）

みなみえどしもおき
南江戸下沖遺跡

所在地 松山市南江戸二丁目 681 番 1、681 番 2、
681 番・682 番合併 3、681 番・682 番合併 4、
681 番・682 番合併 5 の一部（包蔵地 No.37）
期 間 平成 27 年 9 月 7 日～平成 27 年 10 月 8 日
面 積 140.06㎡
原 因 緊急調査
担 当 河野史知



図 1 調査地位置図

概 要 調査地は、松山平野西部に位置し、旧石手川の氾濫・堆積によって形成された沖積低地の標高約 10 m に立地している。調査地周辺では、西約 500m の古照遺跡から日本でも有数の古墳時代前期の農業灌漑用施設『堰』が発見されている。また、北西約 400m には辻町遺跡があり、古墳時代の竪穴建物や祭祀遺構のほか、中世の集落関連遺構を数多く検出している。さらには、調査地の北西約 1km にある大峰ヶ台丘陵には弥生時代の集落のほか、古墳時代前期の朝日谷 2 号墳をはじめ客谷古墳、大池東古墳など数多くの古墳が分布している。今回の調査において、古墳時代と鎌倉時代から室町時代にかけての溝 6 条、土坑 8 基、柱穴 73 基、鋤跡 15 条、性格不明遺構 3 基を検出した。古墳時代の土坑内には土器に混じり焼土の小塊が散在しているが、壁面や基底面に焼成を受けた痕跡や炭化材が含まれていないことから、この焼土は土坑内に廃棄されたものと考えられる。この土坑の検出により、周辺に古墳時代の集落が展開することが窺える。柱穴は調査区全域で検出しており、調査区外に展開する掘立柱建物の存在が想定される。調査区東端で検出した性格不明遺構は、西壁が直線的に延びて、その内側には周壁溝状の掘り込みを伴っており、竪穴建物の様相を呈する。この遺構内から出土した遺物や埋土などから、中世の竪穴構造建物の可能性をもつ。南北方向を指向する鋤跡は土坑に切られていることから、集落以前には畑地であったことが想定できる。

まとめ 南江戸地区は、県下でも有数の中世村落の構造が復元できる遺跡が数多くあり、今回の調査において、その村落がさらに南東域に広がることが確認出来た。今後は、検出した遺構と周辺遺跡との関連を明確にすることが整理する上での課題である。



写真 1 調査地全景（北西より）



写真 2 土坑内遺物出土状況（北より）

南江戸上沖遺跡 1 次調査

所在地	松山市南江戸一丁目 507 番 1 ～ 520 番 1・2 市道及び農道部 (包蔵地外)
期 間	平成 27 年 8 月 24 日～平成 28 年 1 月 29 日
面 積	約 1,900㎡
原 因	松山駅周辺土地区画整理事業 (駅西地区)
担 当	高尾和長



図 1 調査地位置図

概 要 調査は、松山駅周辺土地区画整理事業 (駅西地区) に伴う埋蔵文化財発掘調査である。

調査地の位置する南江戸周辺では、北西部の大峰ヶ台丘陵とその周辺に数多くの発掘調査が行われている。弥生時代では朝美澤遺跡 1 次・2 次調査、大峰ヶ台遺跡 4 次調査などがある。古墳時代では前期古墳の朝日谷 2 号墳、後期古墳の朝日谷 1 号墳、客谷古墳、大池東古墳など数多くの古墳が分布している。集落では、古照遺跡から灌漑用の堰、辻町遺跡からは祭祀遺構が報告されている。中世では松環古照遺跡と南斎院土居北遺跡から一辺 50m の方形館が確認されている。

調査では古墳時代の土器溜まり 2 基、鎌倉時代の溝 14 条、土坑 9 基、井戸 10 基、柱穴 1,200 基以上、近・現代の井戸 12 基、土坑 11 基、柱穴 50 基以上を検出した。

まとめ 古墳時代後期には、祭祀を行ったと思われる土器溜まりが 2 箇所で見つかった。この土器溜まりは、調査地の北に位置する辻町遺跡 1 次・2 次調査から 8 基見つかり、祭祀遺構とされている。辻町遺跡の祭祀遺構とは出土遺物の器種構成に違いが見られるが、掘方のない場所に遺物が据え置かれたという出土状況は同じ様相である。とくに本調査では、坏身・坏蓋がセットで出土し、小石が入られていた。坏身の中に小石を入れる行為は、祭祀を意図したものである。須恵器の坏内から小石が出土する例は、松山平野では北井門遺跡 1 次調査と樽味四反地遺跡 6 次調査に出土例がある。

中世では、東西方向の溝を複数検出している。この溝は松環古照遺跡や南斎院土居北遺跡で一辺 50m の区画溝が見つかり、東西方向の溝は両遺跡と同様の集落を区画する溝と思われる。

これら検出した遺構より、古墳時代と中世の集落が大峰ヶ台丘陵の南側から本調査地がある南江戸の東側まで大きく広がることが判明した。今後、更に周辺の詳細な調査を続け、古墳時代と中世における集落の様相や構造等について解明していく予定である。



写真 1 土器溜まり 1 (北西より)



写真 2 調査区全景 (南西より)

まつやまじょうほんまるあと
松山城本丸跡 7次調査

所在地 松山市丸之内1
(包蔵地 No.74)
期 間 平成27年5月11日～平成27年6月19日
面 積 約145㎡
原 因 史跡整備に伴う確認調査
担 当 楠寛輝・西村直人(文化財課)

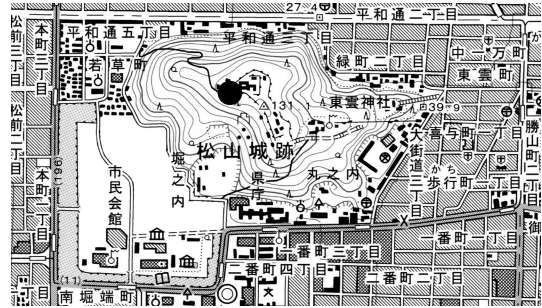


図1 調査地位位置図

概 要 本調査は、松山城本丸防災設備等整備事業に係る確認調査である。調査は、本丸跡の北部、乾門東続櫓の北東において防災用の地下ポンプ室及び水槽の埋設範囲を対象として実施した。調査の結果、江戸時代の整地土、切土斜面及び盛土、柱穴1基並びに小穴13基を確認した。

整地土は、北部は後世の攪乱によって多くが失われていたものの、標高の低い南部に比較的多く残存しており、土中からは19世紀の砥部焼が出土した。調査区南端部で確認した切土斜面及び盛土は、地山を北から南に削り込んだ上に土を積んだもので、盛土は乾門東続櫓続東折曲り堀下の石垣の裏込土でもある。切土痕は東西に伸び、東の延長は本壇南隅櫓台石垣下に潜る可能性が高く、このことは過去の調査結果とともに、本壇石垣の南西部が盛土上に構築されていることを強く推測させるものである。盛土中から構築時期を示す遺物は出土していない。また、柱穴は切土斜面内で検出しており、埋土が盛土に近似していることから、盛土工事に関係するものと考えられる。小穴はうち7基が南北にはほぼ等間隔に並ぶ。埋土に焼土や漆喰片が含まれること及び土層観察から、廃棄時期は本壇西部が焼失した昭和8年以降と判断し得るものの、構築時期は不明である。

なお、基盤層(地山)の地質である砂岩、礫岩及び花崗閃緑岩のうち、礫岩と砂岩の境界を確認した。
まとめ 今回の調査では、本丸の構築方法に関わる重要な遺構を確認した。そのため、地下ポンプ室及び水槽の設置位置を変更し、同遺構を保存した上で工事を実施することとした。(西村)



写真1 調査区及び乾門東続櫓・乾門・乾櫓(北東より)



写真2 切土斜面及び盛土、柱穴(東より)

まつやまじょうさんのまるあと
松山城三之丸跡 18次調査

所在地 松山市堀之内 10
(包蔵地 No.74)
期 間 平成 27 年 11 月 16 日～平成 27 年 12 月 28 日
面 積 約 54㎡
原 因 史跡松山城保存整備に伴う埋蔵文化財確認調査
担 当 河野史知



図 1 調査地位置図

概 要 国史跡「松山城跡」は、松山平野北部の独立丘陵、勝山を中心に構築された近世城郭である。松山市では「城山公園（堀之内地区）整備計画」を基に城山公園堀之内地区の整備を進めており、基礎資料の取得と遺構の保護を目的に平成 13 年度から確認調査を実施している。今回の調査では、北御門広場南端を区画する東西溝の西端と南北溝、馬場土手、南北方向道路、土堀基礎を確認した。東西溝は、三之丸御殿側の東端と同じ規模を維持したまま西端まで延びていた。溝内からは多量の陶磁器類に混じり炭化物が出土していることから、三之丸御殿焼失後、当地周辺まで掻き出し埋めた可能性をもつ。溝内から出土した遺物は、御殿側の 17 次調査では焼土に混じって多量の瓦が出土しており、陶磁器類は少量であるのに対し、18 次調査の東西溝西端付近は、瓦よりも多量の陶磁器類が出土した。これらのことから、焼失した三之丸御殿の瓦など重いものを近くに埋めて、食器や貯蔵容器などの小物類が当地周辺に埋められたことが考えられる。南北溝は、東西溝に接続しているが、絵図によると元禄時代から文久時代の間は両溝の交差点が T 字状を呈しており、両溝が埋められる以前に南北溝の北側を石で塞ぎ、L 字状を呈していたことが分かった。馬場土手は、馬場端に黄色粘土を断面半円形状に盛り上げた構造である。南北方向道路は、固く締まっており、その東端の土堀基礎は、外側に平らな面を呈した角石が並べられていた。

まとめ 東西溝から出土した多量の陶磁器類は一括性があり、当時の生活や流通などを解明できる資料となり、年代測定の判断材料となる。今回の調査において北御門広場南端を区画する東西溝の西端付近の様相が分かる資料を確認でき、史跡整備において貴重な資料となり得るものである。



写真 1 遺構完掘状況（東より）



写真 2 馬場土手と並行する南北溝（北より）

まつやまじょうほんまるあと
松山城本丸跡 8次調査

所在地 松山市丸之内 1
(包蔵地 No.74)
期 間 平成 27 年 11 月 16 日～平成 28 年 1 月 29 日
面 積 約 230m²
原 因 史跡整備に伴う確認調査
担 当 山本健一

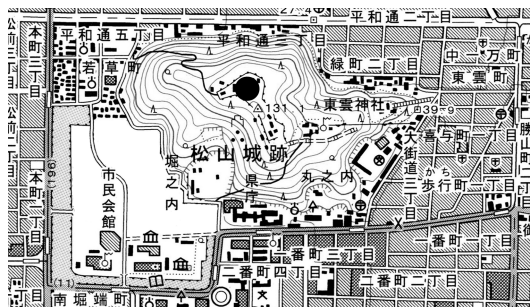


図 1 調査位置図

概 要 本調査は「松山城本丸跡防災設備等整備事業」に伴う確認調査である。今回の調査は、本丸内の防火用水槽改修および消火栓配管埋設予定箇所を対象とした。天守広場の配管埋設予定部分を 1 区、天神櫓前の 1 号水槽改修部分を 2 区、本丸基壇の 3 号水槽改修部分を 3 区と地区設定し、遺構の検出、また内容把握等を目的として調査を行った。今回の調査で検出した遺構は、1 区より溝 1 条、切土法面及び地業、2 区より土坑 1 基、溝 1 条、柱穴 9 基である。1 区検出の溝は、検出長 100cm、上場幅 72～95cm、下場幅 40cm、深さ 40cm を測り方位は東西方向と思われる。切土法面及び地業は調査区南部寄りで検出した。法面は調査区南端より手前 3m より岩盤を南下がりに掘削している。埋め戻された土砂は版築状に叩き締められていた。遺物はこれらの整地層より瓦片が出土した。2 区検出の遺構中、柱穴は規模より 4 種類に分類された。

まとめ 今回の調査では、1 区、2 区において近世の遺構を確認することができた。1 区で検出された溝は、トレンチの為僅かな長さの調査であり、溝の性格等については明確にできなかったが、溝の方向については、松山城本丸跡 6 次調査で確認された池跡方向を指していると考えられる。2 区で検出した柱穴群の埋土からは天守基壇石垣に使用している花崗岩の碎片が出土していることや、深さ 68～101cm の規模の柱穴 (6 基) は、柱間が 2.4 m、3 m の 2 種類の間隔を測るが、東西、南北方向に一直線上に並んでおり、ほぼ天守基壇石垣と並行していることなどから、石垣構築時には機能していたものと考えられるが想像の域は越えない。3 区において遺構は検出されなかった。絵図を確認してもこの位置する部分には建物等は描きこまれていない。遺構が検出されなかったことも一つの成果となった。



写真 1 1 区南部完掘状況 (南より)



写真 2 2 区完掘状況 (北西より)

どいくぼ 土居窪遺跡 4 次調査

所在地 松山市祝谷二丁目 335 番 1、335 番 2 の各一部
(包蔵地 No.57)

期 間 平成 27 年 11 月 16 日～平成 27 年 12 月 25 日

面 積 約 151.22㎡

原 因 個人住宅建設

担 当 小笠原善治



図 1 調査地位置図

概 要 調査地は、松山神社南西の緩傾斜面の標高 39.8～41.9m に立地し、調査地は宅地として利用されていた。調査地周辺には土居窪遺跡 2 次調査、土居窪Ⅲ遺跡、また調査地の北西に祝谷畑中遺跡 2 次調査、祝谷畑中遺跡 3 次調査など、弥生時代前期～古墳時代初頭にかけての集落関連遺跡が見つかっており、特に弥生時代前期末～中期中葉の環濠が検出されたことから松山平野でも特に注目されている地域である。

今回は、調査対象範囲の都合により調査区を A 区・B 区とし、調査地内 2ヶ所での調査となった。A 区の調査では、弥生時代の竪穴建物 1 棟、柱穴 10 基、性格不明遺構 1 基などの集落関連遺構が見つかった。弥生時代中期以降の隅丸方形の竪穴建物 (SB1) では、埋土中に焼土、炭化材が部分的にみられ、遺物は弥生土器片が出土している。B 区は、調査地の南部に位置する。調査では、第Ⅷ層 (地山相当) 上面にて遺構を検出した。遺構は大規模な溝 1 条、柵列 1 条、柱穴 7 基、性格不明遺構 2 基である。遺物は柵列、柱穴と大規模な溝より主に弥生土器片が多量に出土した。

まとめ 今回の調査により土居窪遺跡周辺には弥生時代～古代にかけての集落関連遺構が存在する事が明らかとなった。特に今回は弥生時代中期から後期の集落関連施設の検出と B 区における大溝の検出および多量遺物の出土したことは、今まで周辺地域では調査事例の少ないことから、貴重な調査事例といえ、土居窪周辺における弥生時代の集落様相を解明する資料を得ることができたことは、大きな成果といえる。



写真 1 1 区完掘状況 (南東より)

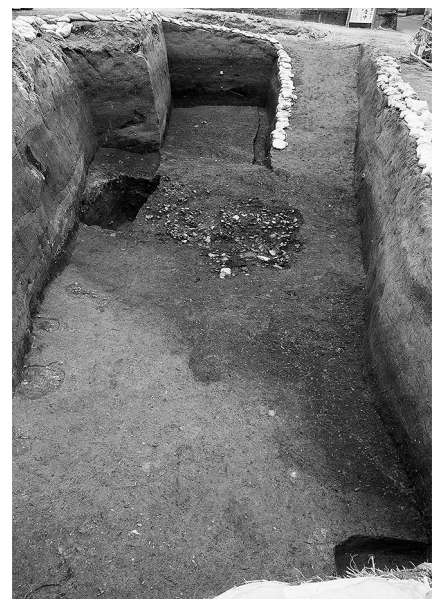


写真 2 SR1 遺物出土状況 (西より)

ようごなか こう 余戸中の孝遺跡 4 次調査

所在地 松山市余戸西三丁目 2484 番 6、2484 番 7、
2493 番 4、2485 番 4、2486 番 4
(包蔵地外)

期 間 平成 28 年 1 月 5 日～平成 28 年 2 月 29 日
面 積 約 803㎡
原 因 緊急調査
担 当 河野史知

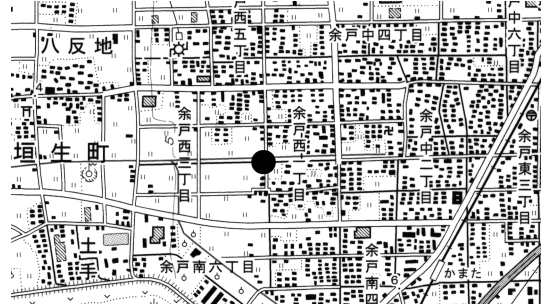


図 1 調査地位置図

概 要 調査地は、松山平野西部に位置し、現在の重信川河口から約 3km 上流の右岸に立地する。旧重信川の氾濫原上の標高 4.6 ～ 5.2 m を測る。調査地周辺の余戸中の孝遺跡 1 ～ 3 次調査や余戸柳井田遺跡 1 ～ 4 次調査、南吉田南代遺跡などの調査により、弥生時代から古墳時代、平安時代後期から室町時代の集落や水田・畑が形成されていたことが確認されている。今回の調査において、主に鎌倉時代の集落関連遺構や遺物を確認した。調査は 4 地区 (A ～ D 区) に分け実施し、掘立柱建物 1 棟、溝 15 条、土坑 3 基、井戸 1 基、柱穴 31 基などを検出した。掘立柱建物は 2 間 × 1 間で支柱穴も小径であることから小屋や倉庫などの施設と考えられる。井戸は素掘りで 2 段掘り状を呈し、下部に曲物が伴う構造をもち、掘方は粘土層下の微砂層に最下段の曲物を据えて地下水を取水する構造である。溝 SD7 は東側が性格不明遺構に切られており全容は不明であるが、区画に伴う溝の西南角部の可能性をもち東端や北端は更に延びることが想定され、区画内には掘立柱建物や井戸などを伴う集落構造が窺える。溝 SD15 は規模や形状から基幹水路と考えられ、調査地から西側には耕作地が広がることを想定される。遺構内からは集落内で使用されていた土師器の坏や皿、土鍋、土釜、瓦器碗、須恵器の捏ね鉢、陶器の鉢などの遺物が出土した。土師器などの在地で生産されたものに加え、瓦器や須恵器、陶器などの畿内や山陽地方で生産されたものなどが含まれており、調査地周辺の集落では流通品も使っていたことが分かった。

まとめ 今回の調査により中世集落を検出したことは、余戸中の孝遺跡 1 次～ 3 次調査から約 270 m 西北部にも集落が広がることを示すものであり、沖積低地における集落構造を解明する上で貴重な資料である。



写真 1 D 区遺構完掘状況 (北より)

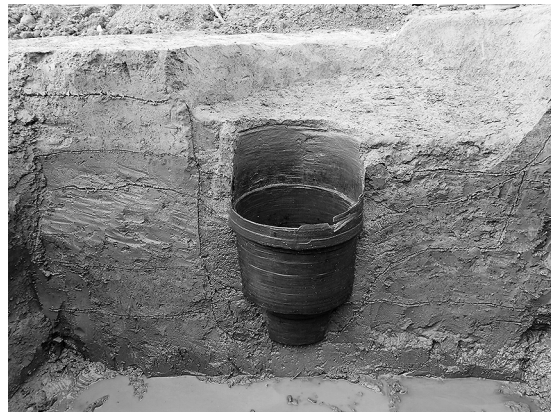


写真 2 井戸半截状況 (南より)

ようごなか こう 余戸中の孝遺跡 5 次調査

所在地 松山市余戸西一丁目 1981 番 1、1982 番 3、
1983 番 1、1983 番 6 の各一部
余戸西二丁目 2331 番 5・6
(包蔵地外)

期 間 平成 28 年 1 月 5 日～平成 28 年 2 月 29 日

面 積 約 250㎡

原 因 緊急調査

担 当 宮内慎一

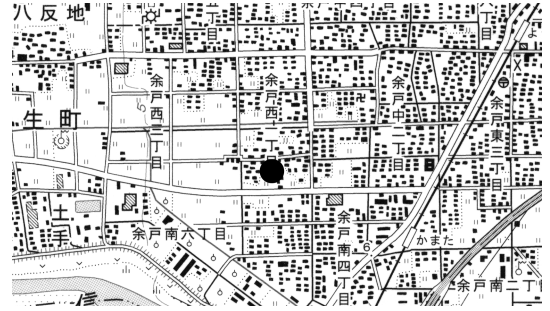


図 1 調査地位置図

概 要 本調査は、松山外環状道路（空港線）余戸西工区整備事業に伴い実施した埋蔵文化財の発掘調査である。調査地は工事対象地の南端部に位置し、地表下 2.3 m（標高 3.3 m）の地点にて古墳時代の遺構や遺物を確認した。検出した遺構は堅穴建物 1 棟、溝 1 条、柱穴 11 基である。調査は 3 つの地区（A・B・C 区）に分けて実施した。A 区検出の SB1 は古墳時代中期中頃の方形堅穴建物で、建物内からは土師器高坏（坏部・脚部の完形）や甕、鉢などのほか松山平野南部、伊予市市場南組窯址で制作されたと思われる『市場系須恵器』（壺・高坏・甗）が数多く出土している。これらの須恵器は平野内での出土例が極めて少なく、土器編年や流過程などを解明するうえで貴重な資料といえる。B 区からは古墳時代後期、6 世紀後半の溝を検出した。南北方向にのびる溝で、溝内には砂や礫などの堆積が見られないことから水利に伴うものではなく、集落を区画するための地割り溝として機能していたものと推測される。このほか、A・B・C 区からは合わせて 11 基の柱穴を検出した。柱穴内からは、古墳時代後期に使用された土師器や須恵器の破片が出土している。

まとめ これまでの調査では工事対象地である松山市余戸地区において、古代から中世、平安時代後期から室町時代において、広範囲に遺跡の存在が証明されている。狭小範囲の調査であったため堅穴建物や溝の全容は定かでないが、今回の調査により調査地や周辺地域における古墳時代集落の存在が確実視されることになった。このことは、松山市余戸地区における集落様相や変遷を解明するうえで重要な成果といえよう。



写真 1 SB1 検出状況（南西より）



写真 2 SB1 遺物出土状況（南より）

よどちゅうがっこうこない 余土中学校構内遺跡

所在地 松山市保免西四丁目 820 番 1 の一部
(包蔵地外)

期 間 平成 27 年 3 月 16 日～平成 27 年 4 月 17 日

面 積 200㎡

原 因 緊急調査

担 当 河野史知



図 1 調査地位置図

概 要 調査地は、松山平野西側の石手川と重信川の合流点に近く、現在の重信川河口から約 4km 上流の右岸に立地する。調査地周辺は旧重信川の氾濫原と考えられ、標高約 10 m を測る。調査以前は中学校のグラウンドとして利用されていた。調査地周辺では、西約 900 m に余戸弘川遺跡があり、弥生時代後期の墓域と中世の集落が見つかり、多数の遺物が出土している。今回の調査において、弥生時代前期から後期末の溝 4 条、自然流路 1 条、土坑 15 基、柱穴 42 基などを検出した。溝は調査区の地形がやや低い南側に集中して東西方向に延びており、自然流路は地形の低い南端を東西方向に延びている。溝 SD1 は、上場幅 50cm、深さ 20cm 程の小規模な溝であるが、埋土上位から溝床にかけて弥生土器に混じり、緑色片岩の未成品が多数出土したことは、集落内で石器製作が行われていた可能性が考えられる。また、SD2 からは砂礫に混じり弥生時代前期から後期末までの土器片が多数出土しており、自然流路から北側の地形がやや高い部分に継続的に集落が形成されたことが窺える。土坑は地形のやや高い北側に集中しており、長軸が約 1m と約 2 m の規模のものが検出されている。SK11 は円形を呈しており、規模や形状から小型の竪穴建物も考えられるが、建物を構成する痕跡は未検出であった。

まとめ 今回の調査により弥生時代前期中葉から後期末にかけての集落関連遺構を検出した。これは、今まで調査地周辺には遺跡が確認されておらず、周辺に集落の存在を示唆するものである。近年の発掘調査により重信川下流域右岸で弥生時代から中世にかけての集落跡が確認されており、余戸弘川遺跡のやや上流にある当地においても継続的に集落を形成していたことが考えられる。この集落は遺構の密度や地形などから範囲はさらに北側へ広がるものと想定され、沖積低地における集落構造を解明する上で貴重な資料となる。

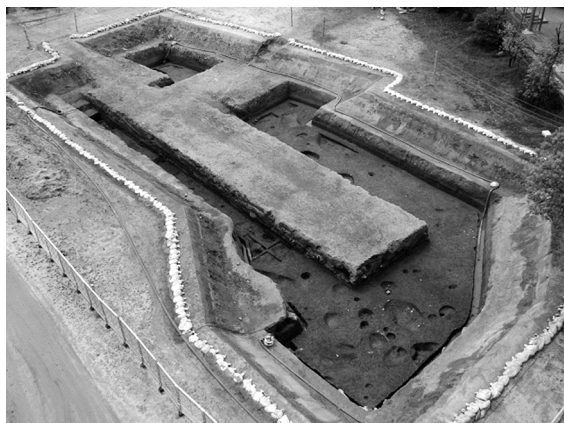


写真 1 遺構完掘状況 (北東より)



写真 2 溝内から出土した礫 (南より)

もちだほんむら 持田本村遺跡

所在地 松山市南町一丁目 837 番 1 の一部
(包蔵地外)

期 間 平成 27 年 4 月 16 日～平成 27 年 6 月 30 日

面 積 約 380㎡

原 因 緊急調査

担 当 宮内慎一

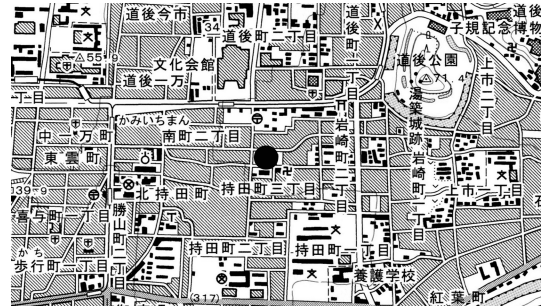


図 1 調査地位置図

概 要 持田本村遺跡は、民間業者による分譲マンション建設工事に伴い実施した埋蔵文化財の発掘調査である。調査地は、道後城北地区と呼ばれる松山市内でも有数の遺跡地帯東部にあたり、旧石手川の氾濫等により形成された扇状地上、標高約 36 m前後に立地する。調査は 4 つの地区 (1～4 区) に分けて実施し、縄文時代から近世までの遺構や遺物を確認した。検出した遺構は、竪穴建物 6 棟 (古墳時代)、溝 6 条 (弥生時代: 1 条、古墳時代: 3 条、江戸時代: 2 条)、自然流路 1 条 (弥生時代)、土坑 16 基 (縄文時代: 7 基、弥生時代: 1 基、古墳時代: 8 基)、土坑墓 1 基 (弥生時代)、柱穴 27 基 (古墳時代以降) である。縄文時代の遺構は、落とし穴や貯蔵穴と思われる晩期後半の土坑を検出した。土坑内からは土器片や石器 (剥片) が多数出土しており、最終的にはゴミ捨て穴として利用されたものと推測される。弥生時代では、溝や自然流路のほか土坑と土坑墓を検出した。このうち、土坑墓からは木葉文が描かれた完形の小型壺(前期後半)が出土した。古墳時代は遺構・遺物共に検出数が多く、竪穴建物は 5 世紀後半から 6 世紀後半の築造であり、古墳時代中期から後期にかけて集落が継続的に営まれていたことがわかる。なお、5 世紀後半の溝からは、口縁部の一部を故意に打ち欠いた土師器壺が出土している。古代から中世の遺構は未検出であるが、包含層中より奈良時代や平安時代に使用された土器片が少量出土した。江戸時代の遺構は、1・2 区にて真北方向を指向する最大幅 3.4 m、深さ 1.3 m の溝を検出した。溝からは江戸時代前期に使用された土師器や陶磁器が出土しており、この中には唐津焼の碗や皿などが含まれている。なお、これらの土器は破損品であるが、復元すると完形品になるものもあり、溝を廃棄する際に投棄されたものと考えられる。

まとめ 今回の調査で見つかった江戸時代の溝は調査地周辺では検出例がなく、形状や用途等については今後の研究課題となる。



写真 1 1・2 区遺構検出状況 (北より)

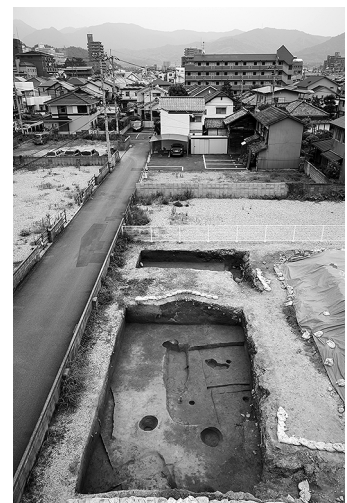


写真 2 3・4 区遺構検出状況 (西より)

えだまつ
枝松遺跡 12 次調査

所在地 松山市枝松三丁目 293 番 3、293 番 5、
293 番 6 の各一部
(包蔵地 No.82)

期 間 平成 27 年 10 月 23 日～平成 27 年 11 月 11 日

面 積 59.8㎡

原 因 賃貸マンションの建築

担 当 水本完児

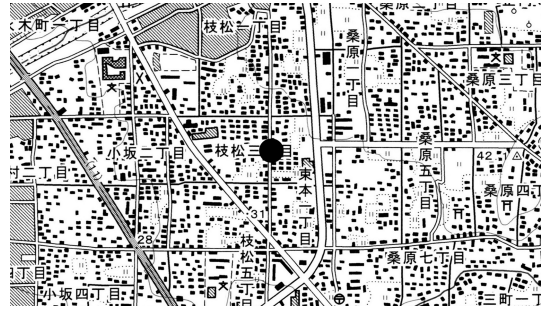


図 1 調査地位置図

概 要 調査地は石手川中流域南岸の微高地上、標高 40.0～40.3 m に位置する。調査地周辺では枝松遺跡として 11 回の調査が行われており、弥生時代では、枝松遺跡 6 次・8 次調査から土坑、枝松遺跡 3 次・5 次・8 次・11 次調査からは竪穴建物、枝松遺跡 5 次・8 次調査からは円形周溝状遺構、枝松遺跡 8 次・10 次調査からは溝を検出している。古墳時代では、枝松遺跡 7 次調査において溝と土坑 2 基を検出している。中世では、枝松遺跡 4 次調査から土坑 1 基を検出し、土坑内からは松山平野では検出例の少ないほぼ完形品の茶釜が出土し、枝松遺跡 7 次・9 次・11 次調査からも土坑や柱穴を検出している。本調査では、弥生時代と近世の遺構と、弥生時代から近世までの遺物を確認した。検出した遺構は溝 2 条、土坑 2 基、柱穴 6 基である。弥生時代の遺構は土坑 2 基を検出した。SK1・2 の平面形態は楕円形で、時期は弥生時代後期後半から末に時期比定される。SK1 の規模は長径 0.60 m、短径 0.55 m、深さ 19cm、SK2 は長径 1.25 m、短径 0.54 m 以上、深さ 16cm を測る。また、近世の遺構は溝 2 条を検出した。SD1 は東西方向の溝で、規模は幅 30cm、深さ 7cm を測る。溝からは近世、江戸時代に時期比定される土師器片や瓦が出土した。

まとめ 今回の調査では、弥生時代と近世の遺構と弥生時代から近世までの遺物を確認した。本調査における土坑の検出は、調査地周辺に展開する弥生後期集落の広がりを知るうえで、貴重な資料といえよう。近世の遺構は溝 2 条を検出した。本調査検出の 2 本の溝は、農耕に伴う鋤跡あるいは畝溝の可能性があり、調査地周辺には江戸時代において広範囲に水田や畑が営まれていたものと推測される。



写真 1 完掘状況 (西より)



写真 2 SK2 完掘状況 (南より)

ふくおんしょうがっこうこうない
福音小学校構内遺跡 2次調査

所在地 松山市福音寺町 355 番 1 の一部
(包蔵地 No.116)

期 間 平成 27 年 6 月 27 日～平成 27 年 7 月 10 日

面 積 42.25㎡

原 因 緊急調査

担 当 河野史知

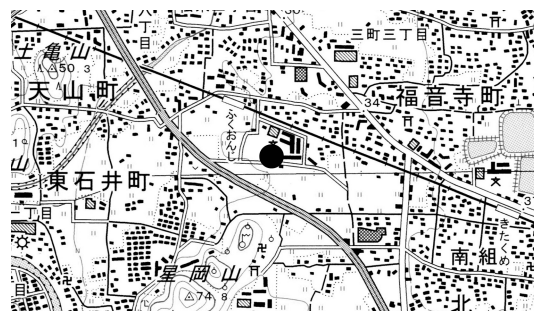


図 1 調査地位置図

概 要 調査地は、松山平野の中央部に位置し、川附川や小野川、堀越川などの大小河川に挟まれた微高地上の標高約 31 m に立地する。周辺では福音小学校構内遺跡や筋違 A～O 遺跡、乃万の裏遺跡など数多くの発掘調査が実施されており、弥生時代から古墳時代を主体とする集落の存在が明らかになりつつある。特に福音小学校構内遺跡 1 次調査では、弥生時代、古墳時代の竪穴建物や掘立柱建物・溝・土坑などで構成される大規模集落跡を確認している。今回の調査範囲は狭小ではあるが、弥生時代から古墳時代の遺構や遺物を確認した。遺構は、竪穴建物址 1 棟、溝 1 条、柱穴 9 基、性格不明遺構 1 基である。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、石製品が出土した。調査区に隣接する 1 次調査 3b 区は竪穴建物や掘立柱建物が高密度で展開しているが、北東方向に近接する 1 次調査 2a 区の西端部や北西方向に近接する 1 次調査 2b 区では遺構が低密度であり、集落構造を考える上で重要な場所である。弥生時代の竪穴建物は西北角部だけの検出であり、全容は不明であるが、隅丸方形の 4 本柱構造であることが推測できる。また、建物の床面は、礫が混じっており凹凸があるが、平坦にするために貼り床としている。この建物の南側は 1 次調査 3b 区に延びており、位置関係から SB106 の西北角部である可能性が高い。古墳時代の溝 SD1 は東西方向を指向しており、さらに西側は調査区外へ延びる様相を呈した小溝である。柱穴 SP1・2・4 は規模や埋土がほぼ同一であり、調査区外に展開する掘立柱建物の一部と考えられる。1 次調査 3b 区に密集する掘立柱建物群がさらに北側に展開していく様相を示すものである。SX1 は現代坑に切られ全容は不明であるが、残存形状から方形の周壁溝を伴う竪穴建物の南西角部の可能性がある。

まとめ 今回の調査で検出した遺構は、1 次調査 3b 区の集落構造を補足する貴重な資料である。



写真 1 遺構完掘状況 (東より)



写真 2 竪穴建物の完掘状況 (南より)

きたくめ 北久米遺跡 9 次調査

所在地 松山市北久米町 718 番の一部
(包蔵地 No.124)

期 間 平成 28 年 2 月 22 日～平成 28 年 3 月 17 日

面 積 約 85㎡

原 因 宅地造成

担 当 水本完児

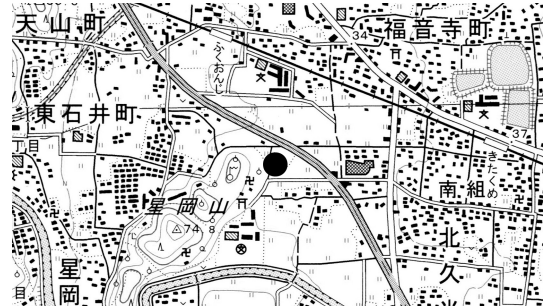


図 1 調査地位置図

概 要 調査地は松山平野南東部、標高 29.50 m に位置する。北久米遺跡として 8 回の調査が行われ、弥生時代から中世の集落関連遺構が確認されている。弥生時代では、北久米遺跡 6 次調査より後期の竪穴建物 1 棟、北久米遺跡 2 次調査からは後期中葉の竪穴建物 1 棟が検出されている。古墳時代では、同 2 次調査より古墳時代中期後半の掘立柱建物 1 棟、同 6 次調査からは 6 世紀初頭の古墳（二つ塚古墳は松山平野最大級の前方後円古墳である）の一部が検出され、北久米遺跡 3 次調査からは 6 世紀前半の土坑 2 基と 6 世紀中頃の土坑 2 基、同 2 次調査からは 6 世紀後期後半の竪穴建物 1 棟が検出された。古代では、北久米遺跡 3 次調査より 7～8 世紀代の溝 3 条を検出した。中世では、北久米遺跡 3 次調査より 13～14 世紀の土坑 2 基、同 2 次調査からは 13 世紀代の溝 1 条、同 8 次調査からは 14～15 世紀の溝 1 条を検出し、土地の区割りを示す溝と考えられている。

今回の調査では、弥生時代の溝と土坑を検出した。SD6 は幅 0.76 m、深さ 32cm の溝で、溝内には弥生土器の甕が投棄された状態で出土した。また、SK1 は円形状をなす土坑で、土坑内からは土器片が散在して出土した。壁体の一部が袋状をなすことから、SK1 は本来、貯蔵穴として機能していたものと推測される。ただし、遺物の出土状況より、最終的には割れた土器などの廃棄場として利用されたものと考えられる。なお、両者は出土遺物の特徴より、弥生時代中期後半の遺構と考えられる。古墳時代の遺構は未検出であるが、土師器や須恵器の破片が数点出土した。

まとめ 今回の調査では、弥生時代の溝や土坑のほか、古墳時代の遺物を確認した。調査地東方に展開する弥生時代や古墳時代の集落域が、国道 11 号線以西にも広がっていることが判明した。さらに、古代や中世の遺構・遺物の検出は、該期間の集落が調査地近隣に存在することを物語る貴重な資料といえる。



写真 1 完掘状況（南より）



写真 2 SD6 遺物出土状況（南より）

えばらにばり 恵原新張遺跡 1 次調査

所在地 松山市恵原町甲 1460 番 4 外 5 筆
(包蔵地外)

期 間 平成 27 年 5 月 11 日～平成 27 年 9 月 18 日

面 積 1,361㎡

原 因 農地整備事業（通作条件整備）
松山南部 3 期地区農道工事

担 当 水本完児・山之内志郎

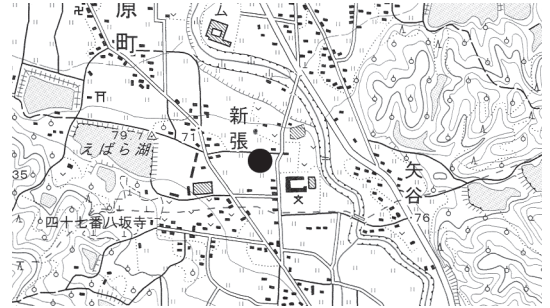


図 1 調査地位置図

概 要 本調査は、愛媛県中予地方局が農地整備事業（通作条件整備）松山南部 3 期地区農道工事に伴い実施したもので、調査以前は水田として利用されており、現況の標高は、70.50～70.80 m である。調査は 4 区画（1～4 区）に分区して実地され、遺構は竪穴建物 5 棟、掘立柱建物 2 棟、溝 8 条、土坑 33 基、古墳 1 基、柱穴 86 基を検出し、遺物は弥生土器や土師器、須恵器、石器、白玉が出土した。本調査では、弥生時代から近現代までの遺構や遺物を確認した。弥生時代では、2 区検出の SB201 は推定直径 6 m の円形建物で、弥生時代後期初頭から前半の土器片が出土した。古墳時代では、1 区検出の SB101 は一辺 6 m の方形建物で、古墳時代中期後半、5 世紀後半の土師器や須恵器が出土した。SB101 内からは炭化物や焼土が比較的大量に検出され、火災を受けた消失住居と考えられる。3 区では、2 棟の竪穴建物を検出した。SB301 は一辺 6.3 m の方形建物で、古墳時代後期中葉（6 世紀中葉）の土器が出土し、SB302 は一辺 6.1 m の方形建物で、古墳時代後期前半（6 世紀前半）の土器が出土した。SB101 と SB301 は造り付けのカマドが残存しており、当時の厨房施設の状況が知れる貴重な資料といえる。4 区では、古墳 1 基を検出した。遺存状況が悪く、古墳の形状や規模等は不明であるが、埋葬施設は横穴式石室である。調査では玄室の一部を検出し、開口方向や外郭施設等は定かではない。石室内からは遺物の出土はなく、石室周辺に残存する墳丘構築に伴う盛土の一部からは古墳時代後期後半から末に時期比定される土器が出土し、確実に存在していた古墳と考えられる。調査地内には弥生時代中期から後期、古墳時代中期から後期にかけて、確実に集落が営まれていたが判明した。

まとめ 今回の調査成果は、恵原町一带を含む松山平野南部地域における弥生時代や古墳時代の集落様相や変遷を解明するうえで貴重な資料といえる。



写真 1 1 区から 3 区全景写真（南より）



写真 2 3 区完掘状況（南東より）

えばらにばり 恵原新張遺跡 2 次調査

所在地 松山市恵原町甲 1423 番 6、1433 番 2、
1432 番 2、1434 番 2 (包蔵地外)
期 間 平成 27 年 8 月 10 日～平成 27 年 10 月 9 日
面 積 826㎡
原 因 農地整備事業 (通作条件整備)
松山南部 3 期地区農道工事
担 当 水本完児

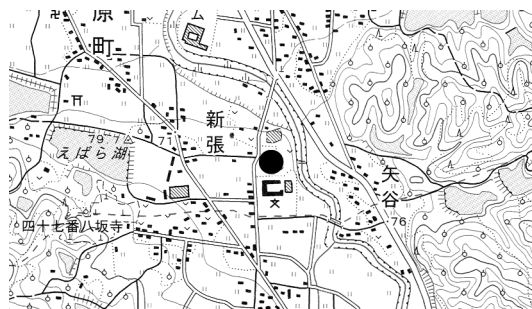


図 1 調査地位置図

概 要 本調査は、愛媛県中予地方局が農地整備事業 (通作条件整備) 松山南部 3 期地区農道工事に
伴い実施したもので、調査以前は水田として利用されており、現況の標高は、70.50～70.80 mである。

調査地内を全 8 区画 (1～8 区) に分区し、これまでに 4 区画 (1～4 区) を『恵原新張遺跡 1 次調査』
として平成 27 年 5 月から 9 月までの間に実施し、今回は 3 区画 (6～8 区) を行い、残り 5 区は
平成 28 年度調査予定である。今回の調査では、弥生時代から古代までの竪穴建物 5 棟、掘立柱建物 1 棟、
溝 5 条、土坑 2 基、古墳 1 基 (2 号墳)、柱穴 23 基 (掘立柱建物柱穴 7 基を含む)、倒木址 2 基を検出
し、遺物は弥生土器、土師器、須恵器、石器が出土した。弥生時代の 8 区検出の SB801 は推定直径 7.3
m 以上の円形建物で、恵原新張遺跡 1 次調査の 4 区で検出した SB401 と同一の建物である。SB801 から
は壁体に沿って周壁溝を検出したが、一部重複する箇所があり、建て替えが施された建物と思われる。
SB801 の廃棄・埋没時期は弥生時代末と考えられる。古墳時代では、6 区からは竪穴建物 3 棟と 7 区か
らは古墳 1 基 (2 号墳) を検出した。古墳時代後期では 6 区で検出した竪穴建物 3 棟があり、平面形態
は隅丸方形をなし、SB603 と SB604 は後期中葉、SB601 は後期後半の建物である。このうち、SB601
からは厨房施設であるカマドと思われる焼土塊を検出した。また、2 号墳は後世の削平が著しいため、
墳丘は遺存しておらず、埋葬施設である石室の一部を検出した。北西方向に開口部をもつ横穴式石室
と考えられ、側壁と奥壁に使用した基底石のみが遺存している状況であった。石室内からは遺物の出
土はなく、石室の形状等より 1 号墳と同様、古墳時代末頃の築造と推測される。

まとめ 調査地内には弥生時代中期後半期から終末、古墳時代後期から末、古代にかけて確実に集落
が営まれていたことが判明した。



写真 1 6～8 区調査地全景 (西より)



写真 2 2 号墳完掘状況 (北より)

ひらい 平井遺跡 10 次調査

所在地 松山市平井町甲 2335 番、甲 2336 番 1、
甲 2337 番の各一部
(包蔵地 No.152)

期 間 平成 27 年 8 月 17 日～平成 27 年 9 月 16 日

面 積 142.23㎡

原 因 分譲宅地工事

担 当 小笠原善治



図 1 調査地位置図

概 要 調査地は、松山平野東部を西流する小野川と堀越川によって形成された扇状地上の標高 58m に立地し、調査地は田圃として利用されていた。調査地周辺には東に平井遺跡 3 次、および南東には平井遺跡 5 次～7・9 次調査が行われており、弥生時代から中世に渡る遺構、遺物が見つかっており、当地周辺は窯業生産と自然流路を利用した流通にかかわる集落や集落の変遷を考えるうえで重要な地域となっている。

今回の調査では、6 世紀後半以降の遺構を確認した。遺構は掘立建物 2 棟、溝 2 条、土坑 1 基、柱穴 9 基、性格不明遺構 1 基である。遺物は縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、鉄製品、石製品が出土した。

古墳時代の建物や柱穴は、自然流路 SR1 南北の両岸に見られ、中世段階の建物は、自然流路上に構築される。おそらく、古墳時代後半の段階で自然流路の両岸に集落が形成され、自然流路も集落の一部として利用されていたと考えられる。この自然流路は幅約 13 m 程の大規模なもので、特に出土した遺物には須恵器の焼成不良なものが目立って採取されている。また、近隣遺跡の下荇谷屋遺跡では、須恵器生産地と消費地を結ぶ間接的な集落の存在が指摘されていることから、本遺跡もその関連を想定しておく必要がある。その外に、この自然流路から弥生時代中期後半と考えられる土器群が出土しており、検出した遺構の時期は古墳時代後半～中世であるが、周辺には弥生時代中期の集落が営まれていた可能性が高い。

まとめ 今回の調査により古墳時代後半から中世にかけての集落関連遺構を検出したことは、今まで調査地周辺で行われた、平井遺跡の関連調査の結果を追認する事となった。また、小野・平井地区における弥生時代から中近世までの集落様相を解明する、貴重な調査成果を得る事が出来た。



写真 1 SR1 遺物出土状況 (南西より)



写真 2 SR1 完掘状況 (北より)

ふるいち 古市遺跡 3 次調査

所在地 松山市平井町甲 1722 番 1、甲 1726 番 1、
甲 1727 番 1、甲 1730 番 1 の各一部
(包蔵地 No.90)

期 間 平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日

面 積 約 120㎡

原 因 店舗建設に伴う緊急調査

担 当 山本健一

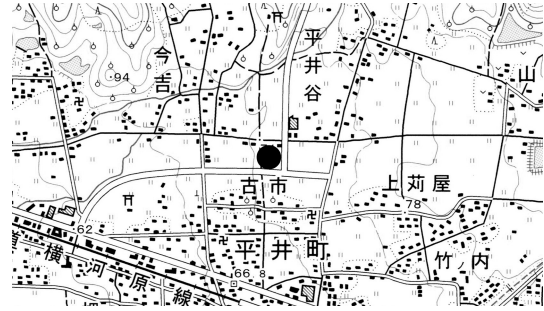


図 1 調査地位置図

概 要 調査地は松山平野東部を西流する小野川と堀越川によって形成された扇状地上の標高 71 m に立地し、松山市埋蔵文化財包蔵地「No.90 苺屋遺跡群」内に位置する。調査地に接する松山市道「平井・水尻線」、「平井・食場線」新設工事による事前調査では弥生時代前期から古墳時代頃まで機能していた川幅 70 m を測る大規模な自然流路を検出した古市遺跡をはじめ、弥生時代前期末から中期初頭の土坑群、古墳時代の建物址等を検出した古市遺跡 2 次調査、五楽遺跡、上苺屋遺跡、下苺屋遺跡があり、集落関連遺構の存在が確認されている地域である。試掘調査では、弥生時代から古墳時代の土坑 2 基、柱穴 15 基が確認された。これらのことにより弥生時代から古墳時代の集落の範囲や性格の確認を主目的とし、開発工事により地下の遺構に影響する部分の調査を行った。検出した遺構は、土坑 7 基、柱穴 22 基である。遺物はこれらの遺構内外より弥生土器、須恵器、古代瓦、石製品が出土した。弥生時代の主な遺構は土坑 2 基、柱穴 6 基がある。土坑からは弥生土器の小片が少量と砂岩製の摺り石が出土した。古墳時代の主な遺構は土坑 5 基、柱穴 16 基がある。土坑では、遺構内より須恵器の破片、焼土、炭化物、拳大の円礫石が混在して出土したものや、断面形状が弥生時代の貯蔵穴に似た袋状を呈したものが検出された。

まとめ 弥生時代の遺構は、海拔 71.60 m より高い位置で検出された。このことは古市遺跡 2 次調査と同様であり、調査地より北東方向に展開すると予想される弥生時代前期末～中期初頭の集落の南西端が確認できたと思われる。古墳時代では、掘立柱建物跡及び土坑を検出し、集落の一部が確認できた。

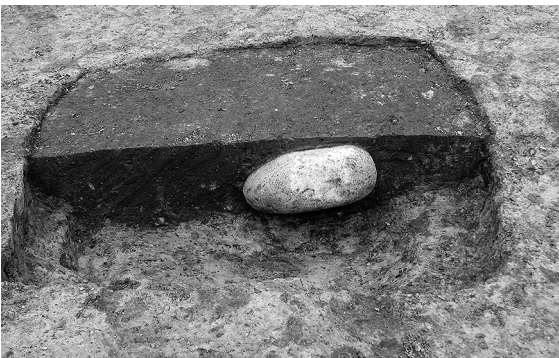


写真 1 検出した弥生時代の土坑（西より）



写真 2 検出した古墳時代の土坑（東より）

Ⅱ 平成 27 年度

松山市埋蔵文化財調査関係資料

平成 27 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料

例 言

1. 本編は、松山市教育委員会事務局文化財課・（公財）松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査及び本発掘調査資料である。
2. 埋蔵文化財確認調査は平成 27 年度（申請番号 1～261 号）、平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日受付迄の資料を取り扱う。なお、平成 27 年度以前の資料については、『松山市埋蔵文化財調査年報 I～X（昭和 60～平成 9 年度）、同年報 11～27（平成 10～26 年度）』を参照されたい。
3. 資料作成（一覧表・付録図）は、相原浩二の指導のもと浅井茂之、岡崎政信、武智洋明、山邊進也が行った。
4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認願の申請番号と同一のものである。また、本発掘調査については、平成 27 年度に行った調査を取り扱う。
5. 付録図は、国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図（伊予北条・三津浜・松山北部・郡中・松山南部）を使用し、8 万分の 1 の縮尺で記載した。
6. 一覧の略記について
 - ①標高：地表面での測定値。
 - ②調査目的：公＝施主公共団体、民＝施主一般。
 - ③調査方法：空白は未調査等。
 - ④緊急：記録保存を目的とした調査。国補：国庫補助事業調査。

埋蔵文化財の保護について

文化財は、わが国の歴史・文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであり、かつ将来の文化の向上、発展の基礎をなすものです。それら文化財の保存・活用による国民の文化的向上を目的として昭和 25 年に制定された文化財保護法には、国民の心構えとして、「政府及び地方公共団体がこの目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない」こと、「文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに、その文化的活用に努めなければならない」ことが記されています。また同時に政府及び地方公共団体は、関係者の所有権その他の財産権を尊重しなければならないこととなっています。

●周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出および確認調査について

埋蔵文化財包蔵地とは、貝塚、古墳、城跡等のもとより、土師器片等の地表面での散布が認められる場所（散布地）、並びに土中での包含が認められる場所（包含地）をいいます。

埋蔵文化財は、建造物等の他の文化財と違って主に地下に存在するため、土木工事等による破壊を免れない場合があります。そのため、地図（註 1）に示された「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事等を行なう場合は、60 日前までに愛媛県教育委員会への届出が義務付けられています。また、その届出に伴い埋蔵文化財の有無を確認するための調査（踏査、試掘等）を行いますので、土木工事等の計画がある場合は事前に松山市教育委員会文化財課へご相談ください。

註 1. 地図（松山市埋蔵文化財包蔵地図）は、市教委文化財課にて配布しているほか、市教委文化財課ホームページでも閲覧が可能となっております。

松山市埋蔵文化財調査関係資料

●周知の埋蔵文化財包蔵地の変更について

平成 26 年度は以下の 21 件の埋蔵文化財包蔵地に関する見直しが報告されました。

表 1 平成 26 年度 松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧

包蔵地番号	包蔵地名称	種 類	時 代	見直し結果
12	安城寺井関遺跡	集落跡	弥生	平成 27 年 3 月 12 日修正
72	持田本村遺跡	集落跡・墳墓	縄文～古墳	平成 27 年 3 月 12 日修正
83	枝松遺跡	集落跡	弥生・中世	平成 27 年 3 月 12 日新規
93	鷹子古墳群	古墳	弥生・古墳	平成 27 年 3 月 12 日修正
95	桧山峠古墳群・観音山古墳	古墳	古墳	平成 27 年 3 月 12 日修正
97	かいなご古墳群	古墳	古墳・古代	平成 27 年 3 月 12 日修正
99	平井谷古墳群	古墳	古墳	平成 27 年 3 月 12 日修正
104	土居溜池古墳群	古墳	古墳	平成 27 年 3 月 12 日修正
106	明神ヶ鼻古墳群	古墳	古墳	平成 27 年 3 月 12 日修正
114	新居田遺跡	集落跡	古墳	平成 27 年 3 月 12 日修正
115	土亀山遺跡	散布地	弥生・古墳	平成 27 年 3 月 12 日修正
116	筋違・星岡遺跡群	集落跡・墳墓	旧石器・弥生～近世	平成 27 年 3 月 12 日修正
122	星ノ岡古墳群・星ノ岡城跡	古墳・城館跡	古墳・中世	平成 27 年 3 月 12 日修正
124	北久米遺跡	集落跡・墳墓	弥生～中世	平成 27 年 3 月 12 日修正
158	北土居墳墓	墳 墓	その他（不明）	平成 27 年 3 月 12 日修正
160	山越遺跡	集落跡	弥生・古墳・中世	平成 26 年 9 月 9 日修正
162	伝中村廃寺	散布地	古代	平成 27 年 3 月 12 日修正

※ 94・96・9 は包蔵地統合に伴う欠番。159 宮田町遺物包含地は包蔵地の廃止による欠番（平成 27 年 3 月 12 日修正）

表 2 平成 27 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(1)

No.	所 在 地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	公共・民間	調査方法	遺有・跡無	遺 構	遺 物	備 考
1	山田町	293.11	69.30	No. 55	民	試掘	無	—	—	
2	東本一丁目	1,734.40	34.30	No. 82	民	意見書	—	—	—	H26-130 試掘調査済 (有) 意見書対応
3	来住町	1,019.45	40.80	No. 127	民	試掘	有	柱穴・土抗	弥生土器 土師器	松山南署
4	持田町一丁目	4.09	35.60	No. 209	民	意見書	—	—	—	意見書対応
5	山越三丁目	359.00	19.50	No. 168	民	試掘	無	—	—	
6	北井門一丁目	187.08	24.00	No. 121	民	試掘	無	—	—	
7	福音寺町	4.98	23.00	No. 112	公	意見書	—	—	—	H21-173 試掘調査済(有) H26-117 試掘調査済(無) 意見書対応
8	小坂二丁目	8.79	29.40	No. 83	公	意見書	—	—	—	意見書対応
9	南江戸四丁目	238.00	13.00	No. 35	民	試掘	有	柱穴	土師器・瓦器	松山東署
10	祝谷五丁目	900.00	46.20	No. 56	民	試掘	無	—	土師器 須恵器	松山東署
11	小坂五丁目	5.92	23.40	No. 111	公	意見書	—	—	—	意見書対応
12	来住町	4.70	39.90	No. 127	公	意見書	—	—	—	H26-203 試掘調査済 (有) 意見書対応
13	西石井五丁目	3.04	20.20	No. 119	公	意見書	—	—	—	H26-217 試掘調査済 (無) 意見書対応
14	平井町	1,475.00	57.90	No. 152	民	試掘	有	柱穴・溝	弥生土器 土師器・須恵器 石包丁	松山南署
15	北土居五丁目	675.30	23.90	No. 120	民	試掘	無	—	弥生土器	松山南署
16	今在家二丁目	133.23	32.20	No. 125	民	意見書	—	—	—	H26-151 試掘調査済 (有) 意見書対応
17	浅海原	102.40	6.80	包蔵地外	公	試掘	無	—	弥生土器 土師器 須恵器・石錘	松山西署
18	福音寺町	33.18	29.30	No. 116	公	意見書	—	—	—	意見書対応

松山市埋藏文化財調査関係資料

平成 27 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(2)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	公共・民間	調査方法	遺有・跡無	遺構	遺物	備考
19	南久米町	45.18	31.10	No.126 - 1	公	意見書	—	—	—	H7-123 試掘調査済(無) H18-90 試掘調査済(無) 意見書対応
20	久米窪田町	499.43	45.70	No.129	民	試掘	無	—	—	
21	中村二丁目	899.17	27.90	No.161	民	試掘	無	—	弥生土器 土師器 瓦器・須恵器	松山東署
22	平井町	536.62	71.60	No.90	民	試掘	無	—	—	
23	文京町	4.00	25.60	No.67	民	意見書	—	—	—	意見書対応
24	南江戸四丁目	261.77	12.20	No.35	民	試掘	無	—	白磁碗・三足鍋 須恵器・土師器	松山東署
25	山越一丁目	1,158.45	18.00	No.160	民	試掘	無	—	須恵器 土師器	松山東署
26	平井町	240.94	57.10	No.152	民	意見書	—	—	—	H26-155 試掘調査済 (有) 意見書対応
27	南江戸一丁目	1,975.08	14.80	包蔵地外	公	意見書	—	—	—	H21-196 ③④⑥ 試掘調査済(有) 意見書対応
28	平井町	997.97	71.10 71.40	No.90	民	試掘	有	柱穴・土抗	弥生土器 須恵器・土師器	松山南署
29	来住町	1,332.78	36.00	No.127	民	試掘	有	溝・柱穴	弥生土器 焙烙鍋・陶器片 瓦片	松山南署
30	南久米町	2,342.36	39.60	No.127	民	意見書	—	—	—	H26-192 試掘調査済 (有) 意見書対応
31	来住町	2,451.52	36.30	No.127	民	意見書	—	—	—	H25-137 試掘調査済 (有) 意見書対応
32	東方町	187.78	55.60	No.143	民	意見書	—	—	—	H26-189 試掘調査済 (無) 意見書対応
33	南江戸四丁目	87.85	13.40	No.35	民	試掘	無	—	弥生土器 土師器	松山東署
34	南江戸四丁目	190.89	13.40	No.35	民	試掘	無	—	弥生土器 土師器	松山東署
35	吉藤五丁目	7,790.00	70.00 57.60	No.41	民	試掘	無	—	—	
36	今在家一丁目	1,373.00	32.10	No.125	民	試掘	有	溝・柱穴 土抗	弥生土器 土師器	松山南署
37	南久米町	416.70	38.90	No.127	民	試掘	有	溝・柱穴 土抗	弥生土器 土師器・須恵器	松山南署
38	祝谷二丁目	260.23	42.30	No.57	民	試掘	有	溝	弥生土器 土師器・須恵器	松山東署
39	来住町	20.21	36.00	No.127	公	意見書	—	—	—	H26-44 試掘調査済 (有) 意見書対応
40	持田町一丁目	0.93	35.60	No.209	民	意見書	—	—	—	意見書対応
41	持田町一丁目	14.16	35.60	No.209	民	意見書	—	—	—	意見書対応
42	鷹子町	181.20	46.50	No.128	民	試掘	無	—	—	
43	上野町	30.60	61.28	No.135	公	意見書	—	—	—	H5-206 試掘調査済 (無) 意見書対応
44	南久米町	2,342.36	39.60	No.127	民	意見書	—	—	—	H26-192 試掘調査済 (有) 意見書対応
45	今在家一丁目	12.90	31.50	No.125	公	意見書	—	—	—	H26-150 試掘調査済 (無) 意見書対応
46	祝谷東町	486.90	97.00	No.58	民	試掘	無	—	—	
47	丸之内	28,000.00	112.80 120.20	No.74	公	試掘	有	整地層	弥生土器 磁器・鉄釘	松山東署
48	北井門三丁目	135.46	21.50	No.121	民	意見書	—	—	—	H26-71 試掘調査済 (有) 意見書対応
49	桑原四丁目	242.11	39.30	No.85	民	試掘	無	—	瓦器	松山東署
50	山田町	319.77	69.30	No.55	民	意見書	—	—	—	H27-1 試掘調査済 (無) 意見書対応
51	三町一丁目	141.93	32.10	包蔵地外	民	意見書	—	—	—	H20-221 試掘調査済 (有) 意見書対応
52	南久米町	2.74	41.00	No.127	公	意見書	—	—	—	H5-156 試掘調査済(無) H3-127 試掘調査済(無) 意見書対応
53	北井門三丁目	115.98	22.30	No.121	民	試掘	無	—	—	

松山市埋蔵文化財調査関係資料

平成 27 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(3)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	公共・民間	調査方法	遺有・跡無	遺構	遺物	備考
54	北井門三丁目	507.02	22.60	No.121	民	試掘	無	—	—	
55	船ヶ谷町	396.70	7.80	No.16	民	試掘	無	—	弥生土器 流木片	松山西署
56	枝松三丁目	604.20	32.10	No.82	民	試掘	有	竪穴建物 柱穴	弥生土器	松山東署
57	久万ノ台	170.89	28.50	No.20	民	試掘	有	溝・柱穴	弥生土器	松山西署
58	道後北代	102.11	32.60	No.219	民	試掘	無	—	縄文土器	松山東署
59	平和通二丁目	258.36	28.80	No.67	民	試掘	有	竪穴建物 柱穴・溝	弥生土器 須恵器	松山東署
60	南江戸三丁目	444.00	14.40	No.35	民	試掘	無	—	土師器	松山東署
61	高岡町	206.25	7.90	No.26	民	意見書	—	—	—	H24-177 試掘調査済 (無) 意見書対応
62	平井町	762.00	48.00	No.152	民	立会	—	溝・柱穴 土坑	須恵器 土師器	H26-177 試掘調査済 (有) 意見書対応 松山南署
63	久谷町	95.75	115.80	No.171	公	意見書	—	—	—	意見書対応
64	祝谷四丁目	397.71	43.90	No.55	民	試掘	無	—	弥生土器 須恵器	松山東署
65	祝谷四丁目 祝谷六丁目	9,549.00	55.00	No.55	民	意見書	—	—	—	H19-256 試掘調査済 (有) 意見書対応
66	北井門三丁目	507.02	22.60	No.121	民	意見書	—	—	—	H27-54 試掘調査済 (無) 意見書対応
67	南江戸二丁目	1,491.65	14.00	No.37	民	試掘	有	溝・柱穴 土坑	弥生土器 土師器・青磁 陶器・須恵器	松山東署
68	平井町	213.22	75.60	No.90	民	試掘	無	—	—	
69	文京町	5.27	25.60	No.67	民	意見書	—	—	—	意見書対応
70	久万ノ台	23.00	15.40	No.167	公	意見書	—	—	—	H11-442 試掘調査済(無) H23-108 試掘調査済(無) 意見書対応
71	中村一丁目	139.36	29.40	No.108	民	意見書	—	—	—	H20-181 試掘調査済 (有) 意見書対応
72	平井町	254.80	68.30	No.90	民	試掘	無	—	—	
73	道後緑台	253.28	36.00	No.57	民	試掘	無	—	弥生土器	松山東署
74	山越一丁目	329.69	17.90	No.160	民	試掘	無	—	—	
75	西石井二丁目	1,879.41	19.80	No.119	民	試掘	有	竪穴建物 溝・柱穴	弥生土器	松山南署
76	東石井五丁目	1,448.00	21.80	No.119	民	試掘	無	—	弥生土器 土師器	松山南署
77	来住町	16.50	36.30	No.127	公	意見書	—	—	—	H25-137 試掘調査済 (有) 意見書対応
78	道後今市	158.42	33.20	No.68	民	試掘	無	—	弥生土器	松山東署
79	持田町一丁目	10.47	35.60	No.209	民	意見書	—	—	—	意見書対応
80	朝美一丁目	360.33	29.30	No.33	民	試掘	無	—	—	
81	南江戸五丁目	16.40	14.00	No.35	公	意見書	—	—	—	H19-138 試掘調査済(無) H21-219 試掘調査済(有) 意見書対応
82	東方町	302.58	56.40	No.143	民	試掘	無	—	—	
83①	道後湯之町	454.06	43.00	包蔵地外	公	試掘	無	—	須恵器・磁器 陶器・土師器 古銭	松山東署
83②	道後湯之町	227.08	39.02	包蔵地外	公	試掘	有	溝・柱穴 土坑	縄文土器 弥生土器 土師器	松山東署
83③	道後湯之町	207.81	39.02	包蔵地外	公	試掘	無	—	—	
84	祝谷二丁目	240.85	42.30	No.57	民	意見書	—	—	—	H27-38 試掘調査済 (有) 意見書対応
85	祝谷二丁目	172.22	42.30	No.57	民	意見書	—	—	—	H27-38 試掘調査済 (有) 意見書対応
86	新浜町	166.00	3.00	No.11	民	試掘	無	—	—	

松山市埋藏文化財調査関係資料

平成 27 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(4)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	公共・民間	調査方法	遺有・跡無	遺構	遺物	備考
87	千舟町八丁目	620.00	16.60	包蔵地外	公	試掘	無	—	—	
88	南久米町	310.88	31.80	No.126-1	民	試掘	無	—	—	
89	港山町	2,400.00	50.00	No.178	民	試掘	有	柱穴・溝 土抗 性格不明遺構	土師器・陶磁器 青磁・古銭 備前・鉄製品	松山西署
90	来住町	6.00	36.30	No.127	公	意見書	—	—	—	H14-51 試掘調査済 (無) 意見書対応
91	北久米町	184.96	32.40	No.126 - 1	民	試掘	有	柱穴・溝	土師器 須恵器・瓦器 陶器・瓦	松山南署
92	樽味四丁目	311.93	37.50	No.81	民	試掘	有	柱穴・土抗	弥生土器	松山東署
93	久米窪田町	128.84	45.70	No.129	民	意見書	—	—	—	H27-20 試掘調査済 (無) 意見書対応
94	久米窪田町	129.11	45.70	No.129	民	意見書	—	—	—	H27-20 試掘調査済 (無) 意見書対応
95	道後北代	165.45	31.90	No.219	民	意見書	—	—	—	H25-26 試掘調査済 (有) 意見書対応
96	居相一丁目	268.39	22.60	No.119	民	試掘	無	—	—	
97	来住町	162.19	39.90	No.127	民	意見書	—	—	—	H26-203 試掘調査済 (有) 意見書対応
98	南江戸二丁目	183.38	14.00	No.37	民	試掘	有	柱穴	弥生土器 土師器 須恵器・青磁	松山東署
99	天山一丁目	330.59	21.70	No.112	民	試掘	無	—	流木	松山南署
100	西石井二丁目	1,879.41	19.80	No.119	民	意見書	—	—	—	H27-75 試掘調査済 (有) 意見書対応
101	浄瑠璃町	120.48	85.80	包蔵地外	公	試掘	無	—	—	
102	東方町	166.14	55.60	No.143	民	試掘	無	—	—	
103	東方町	147.04	55.60	No.143	民	試掘	有	—	縄文土器 土師器 瓦質土器	松山南署
104	平和通五丁目	169.93	23.50	No.212	民	意見書	—	—	—	H25-124 試掘調査済 (有) 意見書対応
105	祝谷五丁目	829.27	46.20	No.56	民	意見書	—	—	—	H27-10 試掘調査済 (無) 意見書対応
106	福音寺町	301.00	30.10	No.116	民	試掘	無	—	—	
107	南久米町	149.77	36.70	No.126 - 1	民	意見書	—	—	—	H24-163 試掘調査済 (無) 意見書対応
108	来住町	3.80	37.70	No.127	公	意見書	—	—	—	H7-336 試掘調査済(無) H11-375 試掘調査済(無) 意見書対応
109	平和通五丁目	106.01	23.50	No.212	民	意見書	—	—	—	
110	清水町三丁目	122.63	23.20	No.67	民	試掘	有	柱穴	弥生土器 土師器 須恵器・布目瓦	松山東署
111	常竹	4,733.00	33.00 ~ 69.00	包蔵地外 北条No.25	公	試掘踏査	無	—	—	
112	久米窪田町	634.54	52.60	No.129	民	試掘	有	柱穴	弥生土器 須恵器	松山南署
113	久谷町	83.00	118.60	No.171	公	意見書	—	—	—	意見書対応
114	今在家一丁目	2.47	32.10	No.125	公	意見書	—	—	—	H27-36 試掘調査済 (有) 意見書対応
115	平井町	312.15	82.10	No.90	民	試掘	有	溝・柱穴 土抗	土師器 須恵器	松山南署
116	山越一丁目	1,743.41	18.00	No.160	民	意見書	—	—	—	H27-25 試掘調査済 (無) 意見書対応
117	福音寺町	570.49	25.50	No.114	民	試掘	有	溝・柱穴	土師器 須恵器	松山南署
118	北井門三丁目	432.89	22.40	No.121	民	試掘	無	—	—	
119	文京町	968.30	25.60	No.67	民	意見書	—	—	—	意見書対応
120	姫原一丁目	604.46	21.50	No.168	民	試掘	無	—	弥生土器	松山東署
121	来住町	259.55	36.00	No.127	民	意見書	—	—	—	H27-29 試掘調査済 (有) 意見書対応

松山市埋藏文化財調査関係資料

平成 27 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(5)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	公共・民間	調査方法	遺有・跡無	遺構	遺物	備考
122	道後北代	40.42	33.40	No.57	公	意見書	—	—	—	H3-140 試掘調査済(無) H11-7 試掘調査済(無) H13-19 試掘調査済(無) 意見書対応
123	平井町	998.02	71.10	No.90	民	意見書	—	—	—	H27-28 試掘調査済 (有) 意見書対応
124	船ヶ谷町	683.41	9.10	No.16	民	試掘	無	—	—	
125	樟味四丁目	124.19	40.50	No.81	民	試掘	有	柱穴	弥生土器 土師器・須恵器 瓦器・獣骨	松山東署
126	南江戸二丁目	3.02	14.00	No.37	公	意見書	—	—	—	H27-67 試掘調査済 (有) 意見書対応
127	久米窪田町	138.00	45.20	No.131	民	試掘	無	—	—	
128	久米窪田町	1,777.00	45.20	No.131	民	試掘	無	—	弥生土器 土師器・陶器片	松山南署
129	久米窪田町	1,071.00	44.90	No.131	民	試掘	有	柱穴・土抗 性格不明遺構	炭化木片 縄文土器	松山南署
130	久米窪田町	2,066.00	44.50	No.131	民	試掘	無	—	—	
131	衣山二丁目	165.28	19.20	No.20	民	試掘	有	柱穴	弥生土器	松山東署
132	樟味四丁目	733.96	37.80	No.81	民	意見書	—	—	—	H24-203 試掘調査済 (有) 意見書対応
133	東垣生町	487.99	4.80	包蔵地外	公	試掘	有	溝・柱穴 井戸	土師器 須恵器・瓦器 青磁・木片	松山西署
134	祝谷五丁目	102.50	42.33	No.56	公	意見書	—	—	—	H23-202 試掘調査済 (無) 意見書対応
135	平井町	330.86	75.40	No.90	民	試掘	無	—	—	
136①	竹原町	247.52	16.20	包蔵地外	公	試掘	無	—	—	
136②	竹原町	212.97	15.40	包蔵地外	公	試掘	無	—	土師器片 陶磁器・鉄製品	松山東署
137	道後今市	158.42	33.20	No.68	民	意見書	—	—	—	H27-78 試掘調査済 (無) 意見書対応
138	小坂三丁目	198.26	27.90	No.110	民	意見書	—	—	—	H24-65 試掘調査済 (有) 意見書対応
139	樟味四丁目	719.00	41.00	No.81	民	試掘	有	溝・柱穴 堅穴建物	弥生土器・獣骨 土師器・須恵器	松山東署
140	南江戸二丁目	1.28	14.00	No.37	公	意見書	—	—	—	H27-98 試掘調査済 (有) 意見書対応
141	衣山二丁目	159.28	24.70	No.20	民	試掘	無	—	—	
142	新浜町	166.00	3.00	No.11	民	意見書	—	—	—	H27-86 試掘調査済 (無) 意見書対応
143	北斎院町	159.40	7.80	No.27	民	試掘	無	—	—	
144	船ヶ谷町	142.32	12.40	No.17	民	試掘	無	—	—	
145	南江戸二丁目	2.18	14.00	No.37	公	意見書	—	—	—	H27-98 試掘調査済 (有) 意見書対応
146	南江戸三丁目	358.27	12.50	No.35	民	試掘	無	—	土師器 須恵器	松山東署
147	星岡一丁目	885.00	29.40	No.116	民	試掘	無	—	弥生土器	松山南署
148	北梅本町	1,200.00	290.90 ~ 335.80	No.103	民	試掘	無	—	—	
149	北井門二丁目	294.80	23.50	No.121 No.222	公	意見書	—	—	—	H7-340 試掘調査済(無) H14-231 試掘調査済(無) 意見書対応
150	清水町一丁目	360.85	24.50	No.220	民	試掘	有	柱穴	弥生土器	松山東署
151	樟味三丁目	132.09	42.50	No.81	民	意見書	—	—	—	意見書対応
152	南久米町	1,024.00	34.50	No.126 - 1	民	試掘	有	柱穴・溝 土抗	弥生土器 土師器・須恵器	松山南署
153	来住町	874.92	35.70	No.127	民	試掘	有	堅穴建物 柱穴・土坑	弥生土器 須恵器	松山南署
154	居相一丁目	268.39	22.60	No.119	民	意見書	—	—	—	H27-96 試掘調査済 (無) 意見書対応
155	常光寺町	311.65	66.00	No.62	民	試掘	無	—	—	

松山市埋藏文化財調査関係資料

平成 27 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(6)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	公共・民間	調査方法	遺有・跡無	遺構	遺物	備考
156	平田町	1,038.40	50.00	No.40	公	踏査	無	—	—	
157	久万ノ台	377.53	16.40	No.167	民	試掘	有	土坑	弥生土器 土師器・須恵器	松山西署
158	北久米町	522.00	29.30	No.124	民	意見書	—	—	—	H26-147 試掘調査済 (有) 意見書対応
159	畑寺町	5,193.00	59.00 ~ 87.00	No.88	民	試掘	有	石室	土師器 須恵器・鉄	松山東署
160	今在家二丁目	123.73	31.00	No.125	民	意見書	—	—	—	H25-111 試掘調査済 (有) 意見書対応
161	鷹子町	130.92	41.80	No.128	公	試掘	無	—	—	
162	船ヶ谷町	0.50	8.40	No.16	公	意見書	—	—	—	H5-111 試掘調査済 (無) 意見書対応
163	東石井五丁目	783.00	21.80	No.119	民	意見書	—	—	—	H27-76 試掘調査済 (無) 意見書対応
164	畑寺町	133.80	54.70	No.172	民	意見書	—	—	—	H19-192 試掘調査済 (無) 意見書対応
165	南久米町	110.80	33.80	No.126 - 1	公	意見書	—	—	—	H8-455 試掘調査済(無) H10-266 試掘調査済(無) 意見書対応
166	道後北代	82.99	32.60	No.219	民	意見書	—	—	—	H27-58 試掘調査済 (無) 意見書対応
167	南吉田町	9.14	4.00	包蔵地外	公	意見書	—	—	—	意見書対応
168	南江戸四丁目	129.29	12.60	No.35	民	試掘	無	—	—	
169	南吉田町	380.00	4.00	包蔵地外	公	意見書	—	—	—	意見書対応
170	東石井五丁目	421.87	20.80	No.119	民	試掘	無	—	—	
171	来住町	2.60	41.30	No.127	公	意見書	—	—	—	H10-93 試掘調査済(無) H14-245 試掘調査済(無) 意見書対応
172	小坂四丁目	105.82	24.40	No.110	民	意見書	—	—	—	H25-32 試掘調査済 (無) 意見書対応
173	朝美一丁目	157.02	14.30	No.33	民	試掘	有	溝・柱穴	土師器 須恵器	松山東署
174	鷹子町	351.70	49.80	No.128	民	意見書	—	—	—	H25-217 試掘調査済 (有) 意見書対応
175	樟味二丁目	281.00	39.60	No.81	民	試掘	有	溝・柱穴	弥生土器 土師器・須恵器	松山東署
176	南吉田町	89.00	5.00	包蔵地外	公	意見書	—	—	—	意見書対応
177	樟味四丁目	3.79	37.50	No.81	公	意見書	—	—	—	H27-92 試掘調査済 (有) 意見書対応
178	桜谷町	1,558.89	77.00 ~ 89.00	No.58	民	試掘	無	—	弥生土器 土師器・陶磁器	松山東署
179	桑原五丁目	167.22	34.60	No.82	民	試掘	無	—	—	
180	善応寺	374.00	55.60	包蔵地外	公	試掘	有	井戸	土師器・漆器 瓦・獣骨	松山西署
181	北井門四丁目	441.67	22.90	No.121	民	試掘	有	土坑	縄文土器 土師器・須恵器	松山南署
182	東野四丁目	4.78	60.30	No.79	公	意見書	—	—	—	H8-64 試掘調査済(無) H24-166 試掘調査済(無) 意見書対応
183	北斎院町	452.00	9.50	No.210	民	試掘	無	—	—	
184	北斎院町	862.29	9.40	No.210	民	試掘	無	—	—	
185	樟味四丁目	831.55	41.00	No.81	民	意見書	—	—	—	H27-139 試掘調査済 (有) 意見書対応
186	南久米町	10.99	45.00	No.127	公	意見書	—	—	—	S63-144 試掘調査済 (有) 意見書対応
187	文京町	0.92	25.60	No.67	民	意見書	—	—	—	意見書対応
188	余戸西三丁目	31.44	5.00	包蔵地外	公	意見書	—	—	—	H26-9 ③試掘調査済 (有) 意見書対応
189										廃案
190										廃案
191	道後今市	204.71	33.20	No.68	民	試掘	有	溝・柱穴 土坑	弥生土器	松山東署

松山市埋藏文化財調査関係資料

平成 27 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(7)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	公共・民間	調査方法	遺跡・跡無	遺構	遺物	備考
192	来住町	162.20	39.90	No.127	民	意見書	—	—	—	H26-203 試掘調査済(有) 意見書対応
193	小坂四丁目	129.01	24.40	No.110	民	意見書	—	—	—	H22-156 試掘調査済(有) 意見書対応
194	北土居五丁目	73.12	23.70	No.120	民	意見書	—	—	—	H20-12 試掘調査済(無) 意見書対応
195	久万ノ台	166.66	28.50	No.20	民	試掘	無	—	土師器 陶磁器・碁石	松山西署
196	小坂二丁目	0.96	28.90	No.110	民	意見書	—	—	—	H22-260 試掘調査済(無) 意見書対応
197	北久米町	698.50	30.40	No.116	民	意見書	—	—	—	H26-212 試掘調査済(有) 意見書対応
198	北久米町	2,575.76	30.40	No.116	民	意見書	—	—	—	H26-212 試掘調査済(有) 意見書対応
199①	道後湯之町	202.17	39.02	包蔵地外	公	試掘	有	土坑	弥生土器 土師器・白磁	松山東署
199②	道後湯之町	107.39	39.02	包蔵地外	公	試掘	無	—	—	
200	朝美一丁目	152.415	14.30	No.34	民	意見書	—	—	—	H27-173 試掘調査済(有) 意見書対応
201	御幸一丁目	509.00	26.00	No.46	民	試掘	無	—	土師器 須恵器・釘	松山東署
202	北斎院町	280.00	8.90	No.156	民	試掘	無	—	—	
203	南久米町	174.23	34.80	No.126 - 1	民	試掘	無	—	土師器 須恵器	松山南署
204	枝松六丁目	134.07	27.10	No.113	民	試掘	無	—	—	
205	来住町	162.21	39.90	No.127	民	意見書	—	—	—	H26-203 試掘調査済(有) 意見書対応
206	星岡一丁目	311.26	29.00	No.116	民	試掘	無	—	—	
207	西石井四丁目	1,287.95	18.80	No.119	民	試掘	有	柱穴・土坑 竪穴住居	弥生土器・石器 土師器・須恵器	松山南署
208	南久米町	400.76	39.80	No.127	民	試掘	無	—	—	
209	平井町	133.30	58.00	No.152	民	意見書	—	—	—	H26-177 試掘調査済(有) 意見書対応
210	南江戸一丁目	2,279.39	15.02	No.37	公	意見書	—	—	—	H21-196 ④試掘調査済(有) H11-142 試掘調査済(無) 意見書対応
211	朝美二丁目	119.00	16.30	No.34	民	試掘	無	—	—	
212	安城寺町	159.31	8.50	No.154	民	試掘	無	—	—	
213	文京町	6.24	25.60	No.67	民	意見書	—	—	—	意見書対応
214	鉄砲町	164.56	27.10	No.67	民	試掘	無	—	—	
215	津吉町	311.73	78.20	No.148	民	試掘	無	—	—	
216	福音寺町	5.57	30.10	No.116	公	意見書	—	—	—	H27-106 試掘調査済(無) 意見書対応
217	桑原四丁目	149.79	38.30	No.85	民	試掘	無	—	—	
218	道後今市	205.15	33.20	No.68	民	意見書	—	—	—	H27-191 試掘調査済(有) 意見書対応
219	星岡一丁目	235.83	25.60	No.116	民	試掘	無	—	弥生土器	松山南署
220	鷹子町	1,911.00	44.30	No.128	民	試掘	無	—	—	
221	福音寺町	207.33	25.40	No.116	民	試掘	有	溝	土師器・須恵器 布目瓦	松山南署
222	西石井六丁目	3.66	21.20	No.119	公	意見書	—	—	—	H17-58 試掘調査済(無) H20-189 試掘調査済(無) 意見書対応
223	南江戸二丁目	209.73	14.40	No.37	民	試掘	無	—	—	
224	北斎院町	862.29	9.40	No.210	民	意見書	—	—	—	H27-184 試掘調査済(無) 意見書対応
225	余戸南五丁目	20.90	5.00	包蔵地外	公	意見書	—	—	—	意見書対応
226	平井町	101.00	57.90	No.152	民	意見書	—	—	—	H27-14 試掘調査済(有) 意見書対応

松山市埋藏文化財調査関係資料

平成 27 年度 松山市埋藏文化財確認調査一覧

(8)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	公共・民間	調査方法	遺有・跡無	遺構	遺物	備考
227										廃案
228	枝松五丁目	8.94	27.00	No.113	公	意見書	—	—	—	H9-198 試掘調査済(無) H23-110 試掘調査済(無) 意見書対応
229	南久米町	165.30	32.50	No.126 - 1	民	試掘	有	溝	土師器・土釜	松山南署
230	平井町	178.49	57.90	No.152	民	意見書	—	—	—	H27-14 試掘調査済 (有) 意見書対応
231	平井町	330.85	78.60	No.90	民	試掘	無	—	—	
232	山越一丁目	124.41	18.10	No.160	民	試掘	無	—	木器	松山東署
233	南久米町	1.27	39.80	No.127	公	意見書	—	—	—	H27-208 試掘調査済 (無) 意見書対応
234	朝美二丁目	165.38	14.70	No.34	民	試掘	無	—	弥生土器	松山東署
235	朝美二丁目	166.60	14.90	No.34	民	試掘	有	溝・柱穴	弥生土器 土師器・須恵器	松山東署
236	小坂五丁目	892.00	23.10	No.111	民	試掘	無	—	—	
237	東山町	261.00	53.00	No.17	公	試掘	無	土坑	弥生土器	松山西署
238	一番町三丁目	0.20	35.90	No.74	民	意見書	—	—	—	H22-69 試掘調査済 (有) 意見書対応
239										廃案
240	山越三丁目	535.00	19.40	No.168	民	試掘	無	—	弥生土器	松山東署
241	北斎院町	876.00	10.00 ~ 14.20	No.26	民	試掘	有	溝 土坑	弥生土器 土師器 須恵器・砥石	松山西署
242	東石井六丁目	507.10	23.80	No.119	民	試掘	無	—	土師器	松山南署
243	東石井六丁目	187.12	23.80	No.119	民	試掘	無	—	—	
244	西石井五丁目	480.84	20.30	No.119	民	試掘	無	—	弥生土器	松山南署
245	平和通二丁目~ 文京町	279.70	28.80	No.67	公	意見書	—	—	—	H24-70 試掘調査済(有) H27-59 試掘調査済(有) 意見書対応
246	南久米町	399.45	35.60	No.127	民	試掘	有	土坑	土器片	松山南署
247	平和通四丁目	175.63	23.60	No.212	民	試掘	無	—	—	
248	榊味四丁目	139.06	41.00	No.81	民	意見書	—	—	—	H27-139 試掘調査済 (有) 意見書対応
249	祝谷四丁目 祝谷六丁目	9,954.60	55.00	No.55	民	意見書	—	—	—	H19-256 試掘調査済 (有) 意見書対応
250	太山寺町	199.39	3.60	No.173	民	試掘	無	—	—	
251	平井町	104.00	57.90	No.152	民	試掘	有	溝・柱穴	弥生土器 土師器・須恵器	松山南署
252	南久米町	145.62	39.60	No.127	民	意見書	—	—	—	H26-192 試掘調査済 (有) 意見書対応
253	榊味四丁目	1,272.00	39.30	No.81	民	試掘	有	竪穴建物 土坑・柱穴 石積遺構	弥生土器 土師器・須恵器 羽釜・土師皿片	松山東署
254	榊味四丁目	934.00	39.70	No.81	民	試掘	有	竪穴建物 土坑・柱穴 溝	弥生土器 土師器 須恵器・鉄滓	松山東署
255	権現町	164.03	25.80	No.170-3	民	意見書	—	—	—	H20-292 試掘調査済 (無) 意見書対応
256	今在家二丁目	128.55	31.00	No.125	民	意見書	—	—	—	H25-111 試掘調査済 (有) 意見書対応
257	今在家二丁目	123.90	31.00	No.125	民	意見書	—	—	—	H25-111 試掘調査済 (有) 意見書対応
258	下伊台町	297.42	144.70	No.169	民	試掘	無	—	—	
259	南久米町	163.98	39.60	No.127	民	意見書	—	—	—	H26-197 試掘調査済 (有) 意見書対応
260	高砂町一丁目	249.79	22.80	No.220	民	試掘	無	—	弥生土器 土師器・須恵器	松山東署
261	久米窪田町	5,453.18	44.90	No.131	民	意見書	—	—	—	H27-127/128 試掘調査済(無) H27-129 試掘調査済(有) 意見書対応

(1)

表3 平成27年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧

遺跡番号	遺跡名	所在地	時代	主な遺構・遺物等	本格対象面積(m ²)	屋外調査期間	遺跡番号
588	余土中学校構内遺跡	松山市保免西四丁目820番1の一部	弥生	溝、土坑、柱穴 弥生土器、土師器、石製品	200	H27.3.16～H27.4.17	588
589	持田本村遺跡	松山市南町一丁目887番1の一部	縄文～江戸	竪穴建物、溝、土坑、土坑墓、柱穴、自然流路 縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、石製品	約380	H27.4.16～H27.6.30	589
590	松山城本丸7次調査	松山市丸之内1	近世	柱穴、盛土 瓦、鉄釘、陶磁器、弥生土器	約145	H27.5.11～H27.6.19	590
591	恵原新張遺跡1次調査	1区…松山市恵原町甲1460-4の一部、 甲1459-2 2区…松山市恵原町1460-4の一部 3区…松山市恵原町甲1454-6及び1455-3 4区…松山市恵原町甲1423-1・6の各一部	弥生～古代	竪穴建物、土坑、溝、掘立柱建物、古墳 弥生土器、須恵器、石製品	1区…254 2区…349 3区…406 4区…352 計…1,361	H27.5.11～H27.9.18	591
592	福音小学校構内遺跡2次調査	松山市福音寺町355番1の一部	弥生	竪穴建物、溝、柱穴、性格不明遺構 弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、石製品	42.25	H27.6.27～H27.7.10	592
593	古市遺跡3次調査	松山市平井甲1722番1、甲1726番1、 甲1727番1、甲1730番1の各一部	弥生、古墳	土坑、柱穴 弥生土器、土師器、須恵器、瓦	約120	H27.7.1～H27.7.31	593
594	恵原新張遺跡2次調査	松山市恵原町甲1425番6、1433番2、1432番2、 1434番2	弥生～古代	竪穴建物、溝、土坑、掘立柱建物、古墳 弥生土器、須恵器	826	H27.8.10～H27.10.9	594
595	平井遺跡10次調査	松山市平井町甲2335番、甲2336番1、 甲2337番の各一部	古墳～中世	掘立柱建物、土坑、溝、自然流路、性格不明遺構、柱穴 弥生土器、須恵器、瓦製品、鉄製品	142.23	H27.8.17～H27.9.16	595
596	南江戸上沖遺跡1次調査	松山市南江戸一丁目507番1・3、508番1・3・4、 510番1、511番2・3、516番1・2・6・7・8・9、 519番1・4、520番1・2市道及び農道部	古墳、中世、近 現代	土器溜り、溝、土坑、井戸、柱穴 弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、装飾品	約1,900	H27.8.24～H28.1.29	596
597	南江戸下沖遺跡	松山市南江戸二丁目681番1、681番2、 681番・682番合併3、681番・682番合併4、 681番・682番合併5の各一部	古墳～中世	溝、土坑、柱穴、銅跡、性格不明遺構 弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、瓦	140.06	H27.9.7～H27.10.8	597
598	余戸柳井田遺跡2次調査	松山市余戸西四丁目2407番5	中世	溝、柱穴、水田址 土師器、須恵器、陶磁器、石器	約190	H27.9.24～H27.10.31	598
599	枝松遺跡12次調査	松山市枝松三丁目293番3、293番5、 293番6の各一部	弥生～中世	溝、土坑、柱穴 弥生土器、土師器、須恵器、石器	59.8	H27.10.23～H27.11.11	599
600	余戸柳井田遺跡3次調査	松山市余戸西四丁目2187番3、2188番3	古代～中世	掘立柱建物、溝、土坑、墓、柱穴、水田址 土師器、須恵器、陶磁器、石器、木器、骨、種子	約450	H27.11.1～H28.2.20	600
601	土居窪遺跡4次調査	松山市祝谷二丁目335番1、335番2の各一部	弥生～古代	土坑、柱穴、溝、竪穴建物 弥生土器、須恵器、石器	151.22	H27.11.16～H27.12.25	601

表3 平成27年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧

(2)

遺跡番号	遺跡名	所在地	時代	主な遺構・遺物等	本格対象面積(m)	屋外調査期間	遺跡番号
602	松山城三之丸跡18次調査	松山市堀之内10	近世	溝、馬場土手、南北方向道路、土塀基礎	約54	H27.11.16～H28.12.28	602
603	松山城本丸8次調査	松山市丸之内1	近世	柱穴、溝、切土瓦、鉄釘	230	H27.11.16～H28.1.29	603
604	南吉田南代遺跡	松山市南吉田町6番3、7番3及び8番3の各一部	弥生～中世	溝、水田址 弥生土器、土師器、須恵器、木器、種子	約380	H27.12.16～H28.1.29	604
605	余戸中の孝遺跡4次調査	松山市余戸西三丁目2484番6・7、2485番4、2486番4、2493番4	中世	溝、土坑、柱穴、鋤跡、井戸土師器、須恵器、陶磁器、曲物	約803	H28.1.5～H28.2.29	605
606	余戸中の孝遺跡5次調査	松山市余戸西一丁目1981番1、1982番3、1983番1・1983番6の各一部、余戸西二丁目2331番5・6	古墳	竪穴建物、溝、柱穴 弥生土器、土師器、須恵器、石器	約250	H28.1.5～H28.2.29	606
608	朝美辻遺跡3次調査	松山市朝美一丁目1290番7の一部	弥生・古墳	溝、土坑、柱穴 弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、瓦、木製品	15.5	H28.2.8～H28.2.12	608
609	衣山東組遺跡	松山市衣山二丁目326番4の一部	古代	柱穴 瓦、須恵器	75.47	H28.2.22～H28.3.18	609
610	北久米遺跡9次調査	松山市北久米町718番の一部	弥生～中世	溝、土坑、柱穴 弥生土器、土師器、須恵器、瓦、石器	約85	H28.2.22～H28.3.17	610
H27 確認-①	航空機有蓋掩体確認調査	松山市南吉田町1021番1の一部、1020番4	現代	—	—	H28.1.25～H28.1.26	H27 確認-①

こうくうきゆうがいえんたい
航空機有蓋掩体確認調査

所在地 松山市南吉田町 1021 番 1 の一部、1020 番 4
(包蔵地外)
期 間 平成 28 年 1 月 25 日～平成 28 年 1 月 26 日
原 因 保存整備
担 当 相原浩二

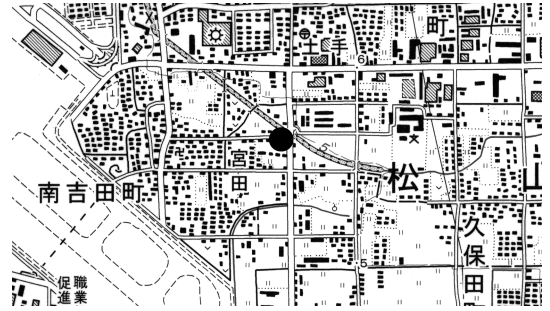


図 1 調査地位置図

概 要 調査は、松山市教育委員会文化財課の委託を受け松山市南吉田町 1021 番 1 の一部、1020 番 4 に在る太平洋戦争末期に造られた航空機有蓋掩体の内外において、当時の地表状況等を把握することを目的に実施したものである。

調査対象の掩体は、松山空港東側の標高約 4.5 m に立地し、周囲は耕作地や宅地となっている。松山空港の前身は松山海軍航空基地で、戦時中には滑走路周辺にコンクリート製、土製のものを含め 63 基の掩体が造られたといわれている。敗戦後、多くの掩体が壊され現存するのはコンクリート製の 3 基のみとなっている。調査を実施する掩体は、このなかでも遺存状態が良好なもので、現在は倉庫として使用されている。試掘調査用トレンチは、掩体の中に 1 カ所と外側前面の 2 カ所の計 3 ヶ所を設定し、重機により掘削をおこなった。

まとめ 調査の結果、掩体内部のトレンチでは、深さ 6～8cm で当時の地表面と考えられる固く締まった層を検出したが、掩体の外部トレンチでは、人工的に敷き詰められた層や固くしまった層は検出なかった。このことから、掩体周辺では現代の耕作などによって当時の地表面はほぼ消失しているものと考えられた。

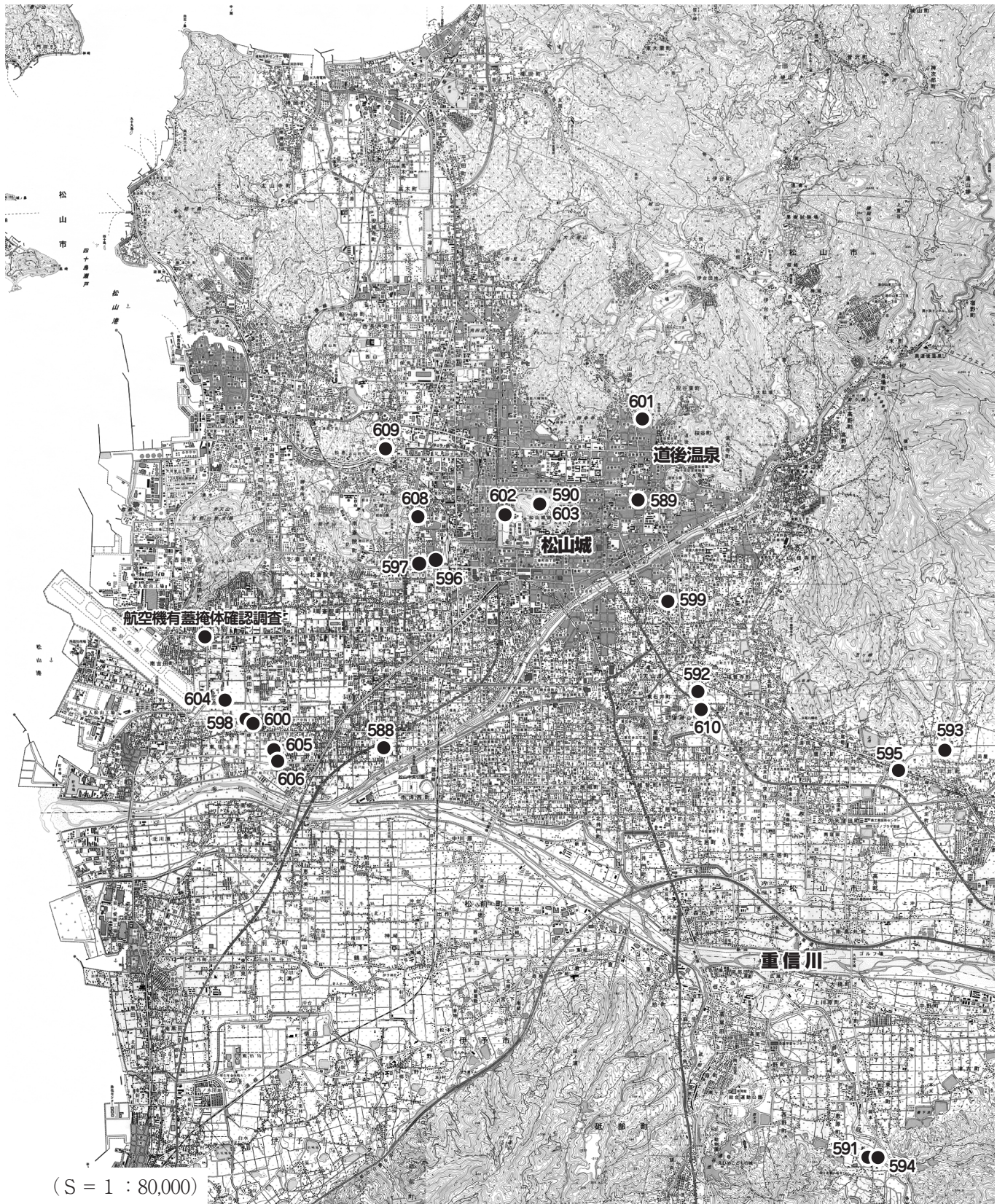


写真 1 航空機有蓋掩体全景 (南西より)



写真 2 掩体内部のトレンチ掘削状況 (東より)

平成 27 年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図



Ⅲ 平成 27 年度
出土物整理・保存処理事業

平成 27 年度 出土物整理・保存処理事業

1. 出土物整理

当センターでは、近年実施された発掘調査の整理作業と並行して、過去の調査に関する資料の再整理をおこなっている。

報告書作成に向けて作業を進めている遺跡の出土品については、必要に応じて注記・接合・復元作業を拡充した上で、実測作業と写真撮影をおこなっている。報告書が刊行された遺跡の出土品については、掲載順に配列したうえで当センター収蔵庫と別棟の松山市文化財情報館のいずれかに収納するほか、胴部の小片等については市内北吉田町の収蔵庫にて保管している。また、重要遺物については、温湿度管理がなされ、自動消火システムが設置されているセンターの特別収蔵庫にて厳重に保管している。いずれの収蔵場所においても収蔵台帳を作成し、資料調査の依頼等に迅速に対応できる体制をとっている。なお、遺構・遺物の実測図・作業日誌・写真のネガ・ポジフィルム等は、センターの所定の場所に保管しつつ、必要に応じて再整理を実施することによって、省スペース化を目指している。

(1) 遺物洗浄・注記・接合・復元作業

石膏による土器の復元作業は、報告書掲載写真の撮影と展示目的に加え、遺物の補強のためにおこなう場合もある。近年は、過去に復元済みの遺物について、経年劣化による破損個所の修復をおこなうこともある。作業に際しては、対象遺物を厳選するなどして業務量の適正化に努めている。

表 1 遺物接合・復元作業一覧

(1)

遺跡 No	遺 跡	点数	天箱数	調査年度	刊 行 物	備 考
114	大峰ヶ台遺跡 4 次調査	1		昭和 64 年	松山市文化財調査報告書 第 48 集	
344	北斎院地内遺跡 4 次調査	1		平成 10 年	松山市文化財調査報告書 第 80 集	
208	東山古墳群 4 次調査	1		平成 2 年	松山市文化財調査報告書 第 41 集	
588	余戸中学校構内	3	1	平成 26 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
400	樽味高木遺跡 5 次調査	4		平成 14 年	松山市文化財調査報告書 第 184 集	
589	持田本村遺跡	12	2	平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
306	岩崎遺跡	3		平成 8 年	松山市文化財調査報告書 第 71 集	
434	谷町遺跡 2 次調査	1		平成 16 年	松山市文化財調査報告書 第 183 集	
591	恵原新張遺跡 1 次調査	1	22	平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
594	恵原新張遺跡 2 次調査		11	平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
272	来住町遺跡 5 次調査	1		平成 6 年	松山市文化財調査報告書 第 176 集	
421	久米高畑遺跡 58 次調査	5		平成 15 年	松山市文化財調査報告書 第 182 集	
423	久米高畑遺跡 60 次調査	3		平成 15 年	松山市文化財調査報告書 第 182 集	
428	久米高畑遺跡 61 次調査	4		平成 16 年	松山市文化財調査報告書 第 182 集	
565	桑原遺跡 6 次調査	8		平成 25 年	松山市文化財調査報告書 第 181 集	
521	桑原東稲葉遺跡 1 次調査	4		平成 20 年	松山市文化財調査報告書 第 181 集	
550	桑原東稲葉遺跡 2 次調査	2		平成 23 年	松山市文化財調査報告書 第 181 集	
581	船ヶ谷遺跡 5 次調査	4		平成 26 年	松山市埋蔵文化財調査年報 27	
361	釜ノ口遺跡 9 次調査	1		平成 11 年	松山市文化財調査報告書 第 174 集	
587	衣山西ノ岡古墳	20		平成 22 年	松山市文化財調査報告書 第 185 集	展示用
123	樽味四反地遺跡範囲確認調査	1	1	平成 15 年	松山市文化財調査報告書 第 184 集	展示用

出土物整理

遺物接合・復元作業一覧

(2)

遺跡 No	遺 跡	点数	天箱数	調査年度	刊 行 物	備 考
	樽味地区重要遺跡確認調査	4		平成 21 年		
597	南江戸下沖遺跡	1		平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
509	南江戸上沖遺跡 1 次調査	1		平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
605	余戸中の孝遺跡 4 次調査	1		平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
581	船ヶ谷遺跡 5 次調査	4		平成 26 年	松山市埋蔵文化財調査年報 27	
308	久米高畑遺跡 30 次調査		1	平成 8 年	松山市埋蔵文化財調査年報 9	
325	久米高畑遺跡 37 次調査		5	平成 9 年	松山市埋蔵文化財調査年報 10	
602	松山城三之丸遺跡 18 次調査	1		平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
600	余戸柳井田遺跡 3 次調査	2		平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
551	樽味四反地遺跡 23 次調査	3		平成 23 年	松山市埋蔵文化財調査年報 24	
68	文京遺跡 3 次調査	1		昭和 56 年	松山市文化財調査報告書 第 28 集	

(2) 遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業

出土品は報告書刊行計画にしたがって分類し、必要なものについて実測図の作成やトレース作業を行っている。近年はデジタルトレースに完全に移行している。遺構測量図等についても同様である。

以下、作業を実施した遺跡について概要を記す。

表 2 遺物実測・製図・収蔵・図面整理作業一覧（平成 28 年度刊行予定報告書）

遺跡 No	遺跡（調査回数）	報 告 書	備 考
418	辻遺跡 5 次調査	宮前川流域の遺跡Ⅲ	
544	辻町遺跡 3 次調査		
509	朝美辻遺跡		
558	朝美辻遺跡 2 次調査		
551	樽味四反地遺跡 23 次調査	樽味四反地遺跡 23 次調査	
546	東本遺跡 7 次調査	東本遺跡 7 次調査	
407	姫原遺跡 2 次調査	姫原遺跡 2 次調査	国庫補助
567	大峰ヶ台遺跡 13 次調査	大峰ヶ台遺跡 13 次調査	国庫補助
341	道後今市遺跡 13 次調査	道後今市遺跡 13 次調査	

(3) 遺物写真撮影・現像・整理作業

平成 27 年度に報告書を刊行した遺跡について、掲載遺物の写真撮影、黑白フィルムの現像と焼き付け、組版を行った。また、過去の調査のネガの整理、台帳作成のほか、リバーサルフィルムの再収納を実施することによって収納スペースの確保に努めた。なお、これらの作業のうち、過去に国からの補助を受けて発掘調査を行った遺跡の整理の際には、国庫補助を受けて実施したものもある。

遺跡と遺物の写真撮影に関しては、文化庁の基準に従って、原則としてフィルムカメラによることとしているが、教育普及活動の記録写真や試掘調査の工程写真等について、近年は D X フォーマット機ないしコンパクトカメラを用いたデジタル撮影を行っている。平成 25 年度以降、遺跡における遺構の撮影に際しても F X フォーマット機 1 台を導入し、大判・中判のフィルムカメラを補う試みも始めている。なお、所蔵写真の提供依頼に対しては、当財団が松山市から受諾している指定管理業務の一環として対応している。そのほとんどについてデータ化するなどして要望に応じた対応を行っている。

平成 27 度に写真関係の作業を実施した遺跡や遺物は、以下の刊行物に掲載している。

出土物整理

表3 遺物写真・現像・整理作業一覧

報告書 No	報 告 書	所収遺跡数	備 考
	年報 27	15	27 年度刊行
180	文京遺跡 - 53 次・54 次調査 -	2	27 年度刊行
181	桑原地区の遺跡 V	6	27 年度刊行
182	久米高畑遺跡 - 58 次・60 次・61 次調査 -	3	27 年度刊行
183	衣山北組遺跡 谷町遺跡 2 次調査	2	27 年度刊行
184	樽味立添遺跡 2 次調査 樽味高木遺跡 5 次調査 樽味四反地遺範囲確認調査	3	27 年度刊行
185	衣山西ノ岡古墳 衣山大塚北遺跡	2	27 年度刊行

2. 保存処理

I. 保存処理の概要

保存処理室では主に木製品（PEG含浸処理）、金属製品（減圧樹脂含浸）の保存処理を行っており、必要に応じて現場に出向き、遺構・遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り作業も行っている。

金属製遺物：保存処理は基本的に当センターで行なうが、特殊な資料やX線撮影は外部委託している。今年度は、青銅鏡（寄贈品）1点、若草町遺跡出土の銭貨12点の保存処理を株式会社葵文化に委託した。

木製・植物性遺物：保存処理は当センターで行なうが、重要な資料や自然科学分析は外部委託している。今年度は、釜ノ口遺跡11次調査より出土した木製遺物21点の樹種同定及び保存処理を株式会社葵文化に委託した。

動物遺骸体：洗浄や保護処理は当センターで行い、人骨の鑑定、獣種同定、保存処理は外部委託している。今年度は、余戸中の孝遺跡土壙墓出土人骨の鑑定、保存処理をNPO法人人類学研究機構に委託した。

II. 保存処理実務

1. 木製品の保存処理

PEG（ポリエチレングリコール）含浸処理を行っている。このPEG含浸法は、木製品中の水分をPEGに置き換える方法で、20%の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていき最終段階では100%濃度のPEG溶液をしみこませることになる。この処理は1～1.5年位を要する。平成28年度を処理完了予定とし、久米窪田森元遺跡4次調査、釜ノ口遺跡11次調査他出土198点を含浸処理中である。

2. 金属製品の保存処理

前処理（脱水・脱塩・安定化処理）を行い、順次クリーニング（付着しているゴミ・土壌・サビ等の除去）、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した遺物は、収納システム（三菱ガス科学・RPシステム）により収納後、特別収蔵庫に保管している。以下、処理を行った点数を下表に記す。

表1 金属製品保存処理遺跡一覧

遺跡 No.	遺 跡 名	点数	器 種	刊 行 物
14	福音寺遺跡 筋違 A 地区	1	処理済・処理室保管	埋蔵文化財調査報告書 17 集
474	高田遺跡	15	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書 第 177 集
563	祝谷大地ヶ田遺跡 3 次調査	37	処理済・処理室保管	松山市埋蔵文化財調査年報 25

3. 動物遺骸体の保存処理

人骨、獣骨とも大部分のものが、土とともに出土した状態で搬入される。処理室ではこの余分な土を、竹べら・竹串・針先・ピンセット・刷毛などを用いて骨の取り出し、クリーニングを行っている。

4. 遺構・遺物の取り上げ作業

発掘調査で検出される遺物は腐食し、脆弱化しているためそのまま取り上げることが困難なものがある。また、ほとんどの調査の場合、発掘した遺構を現場で保存できない。このような場合に遺構・遺物の取り上げを行う。遺物が小さい場合は簡易な方法で行い（骨を土ごと取り上げること、年報11, 保存処理事業Ⅰ－3参照）、遺物が大きく重量が増す場合は発泡ウレタン樹脂を用いて対象物全体を固めて取り上げる（年報X, 保存処理事業Ⅰ－3参照）。この発泡ウレタン樹脂での梱包は従来使用していた石膏やコンクリートでの梱包より軽く仕上がり、搬出、運搬の作業が軽減される。室内に搬入した後、時間をかけて精査することによって、発掘期間中に屋外で調査する以上の成果を期待できることも多い。

5. 土層の剥ぎ取り転写

転写面にエポキシ系樹脂を塗り、樹脂の補強のためガーゼなどで裏打ちを行い、樹脂が硬化後転写面より剥ぎ取る。剥ぎ取った土層は、パネル仕上げにして展示、保管する。この土層の剥ぎ取りは、発掘後も室内で実物をあらゆる角度から精査できる効果的な記録保存法ともなる。

参考文献： 1～5 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター『埋蔵文化財ニュース16・24・28・31』

6. 平成27年度調査出土遺物一覧（保存処理等必要遺物）

表2 平成27年度調査出土金属・木製・動植物遺体一覧

遺跡 No.	遺跡名	種類	遺物内容	数量
591	恵原新張遺跡	木製遺物	柱材	
595	平井遺跡10次調査	金属製遺物	鉄斧	1点
596	南江戸上沖遺跡	金属製遺物	焼夷弾、銭貨他	
600	余戸柳井田遺跡3次調査	木製遺物	仏具？	1点
		動物遺骸体	人骨	1体
601	土居窪遺跡4次調査	木製遺物	柱材	1点
603	松山城本丸8次調査	金属製遺物	鉄鑿、釘	24点
604	南吉田南代遺跡	木製遺物	板材、杭、薪	20点
		植物遺体	桃核、ウリ類	7点
605	余戸中の孝遺跡4次調査	木製遺物	井戸用曲げ物	2個体
608	朝美辻遺跡3次調査	木製遺物	桶棺材	1個体
	H27 - 180 善応寺試掘・立会	木製遺物	容器、仏具？	5点
	H27 - 232 山越	木製遺物	板材	1個体

IV 平成 27 年度
普及啓発事業

平成 27 年度の普及啓発事業

埋蔵文化財センターは、松山市内における遺跡の発掘調査を行うとともに、出土遺物や記録資料などを整理・保管している。発掘調査終了後は、随時現地説明会を開催し、発掘調査報告書を刊行することにより、広く一般に公開している。

また、附属の考古館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置されたものであり、展示会・講演会・体験学習を開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を支援しながら、埋蔵文化財保護思想の普及啓発に努めている。平成 27 年度は下記の各種事業を実施した。

1. 展示活動
2. 教育普及活動
3. 収集・保管・育成活動
4. 出版活動
5. 資料の貸出・調査
6. 広報

一方、埋蔵文化財センターに隣接して設置されている文化財情報館は、松山市内で出土した文化財資料を整理・保管し、その活用を図るとともに市民に開かれた歴史学習の場としての充実を図り、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって埋蔵文化財保護施設として有機的な活用を図ることを目的としている。

1. 展示活動

常設展示室は、「海を媒介とした文化交流の中継地点としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解明し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとした立体的な展示を心がけている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約 500 点である。

常設展示室に隣接した特別展示室では、期間を限定し開催する展示会として（1）巡回展「発掘へんろ展」、（2）県市連携事業『古代いよ発掘まつり』『掘ったぞな松山 2015』『いにしへのえひめ』、（3）特別展『あつまれ！古代のかお』、（4）「地域のたから再発見・古代史セミナー」を開催した。（5）考古館のロビーで、埋蔵文化財センター事業報告展「考古館・楽しかった 2014 展」、その他のロビー展を 13 回開催し、（6）特別展示室で実施している展示会（1～3）を紹介する写真展を松山市役所で 6 回開催した。

（1）第 1 回 四国地区埋蔵文化財センター

発掘へんろ展「四国の黎明」（表 1 - 1、写真 2）

四国内の埋蔵文化財センター 5 団体が合同で開催する巡回展で、平成 27 年度から 4 ヶ年計画で実施するもので、平成 27 年度は 1 年目にあたる。参加の 5 団体が発掘調査して出土した遺物を持ち寄り、今までに蓄積された情報を提供・交換することによって、観覧者に埋蔵文化財の重要性を認識してもらうというものである。今年度は「四国の黎明」をテーマに展示した。

（2）愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』（表 1 - 2、写真 3・4）

展示会・「掘ったぞな松山 2015」（前期展・後期展）「いにしへのえひめ」

前年度（平成 26 年度）に発掘調査した遺跡やその出土品、作成した報告書の成果をいち早く市民に紹介することを通じて、古代史や埋蔵文化財への興味と関心を深める機会提供を目的に、愛媛県と松山市が連携して主催した。

展示会「掘ったぞな松山 2015」は前期展と後期展の2回に分けて実施した。前期展では、出土品等約 50 点の展示会と、発掘担当調査員による発掘状況を詳しく説明する報告会を実施し、後期展では、遺跡からの出土品等約 50 点の展示会と報告会、さらには遺跡や出土品を詳しく知るために、専門研究者による講演会を実施した。

(3) 特別展「あつまれ！古代のかお」(表1-3、写真5)

考古館最大の事業であり、県内外の貴重な遺物を借用し、系統的に紹介するもので、当年度は松山を代表する出土品のひとつで考古館のキャラクターのもとにもなった弥生時代の分銅形土製品を深く知ってもらうため、縄文時代～古墳時代の顔に関する各種資料について紹介・展示した。展示品は、奈良県桜井市纏向遺跡出土の木製仮面や徳島県徳島市矢野遺跡出土の日本最古の土製仮面(徳島県指定文化財)等で、県内外の考古資料等約 50 点を展示した。会期中には、展示品を詳しく解説する展示解説会1回と講演会2回を実施した。

(4) 「地域のたから再発見・古代史セミナー」(表1-10、写真13)

地域の宝である遺跡や発掘出土品を知ることで、「誇れる」地域の歴史や文化を伝え・育むことを目的としている。地域の活性化にも寄与するために、公民館等で該当地域の遺跡等について、その地域からの出土品の展示と対話型の勉強会を5ヶ年計画で実施するもので、当年度が2年目にあたる。当年度は、雄郡公民館・清水公民館等で展示会・解説会(懇談会)などを実施した。

(5) 松山市考古館ロビー展(表1-4～9、写真1・6)

考古館のロビーにて、埋蔵文化財センター事業報告展「考古館・楽しかった2014展」(1回)、「発掘情報展」(8回)、「干支と考古学」「大連古代蓮展」「イラストで訪ねる松山の歴史」各1回を開催した。

(6) 松山市考古館写真展(表1-11、写真7)

考古館で開催する各展示会の案内を兼ねて、松山市役所1階ロビーにおいて展示会のポスターや展示品に関する写真パネル等を展示し、展示会への関心を高める機会を提供するものである。当年度は6回開催した。

2. 教育普及活動

教育普及活動として、市民を対象に生涯学習者を支援し、地域文化の発展を図るとともに、埋蔵文化財保護思想の啓発普及を目的とした講演会・体験学習・考古学講座などを開催した。また、職員の資質・技術向上を目的とした研修等も実施した。

(1) 講演会・展示解説会・考古学講座・演奏会(表2、写真8～13)

展示会に伴い、展示解説会・報告会・講演会をあわせて13回実施した。また、演奏会として、考古館ロビーにて箏コンサートを計12回開催し好評を得た(延べ187人)。

(2) わかりやすい考古学講座(表2-5、写真11・12)

考古学や松山の歴史に興味と関心をもってもらうために実施する事業で、今年度は特に「地域のたから再発見・古代史セミナー」事業と連携し、伊台地区と城西・城北地区の主要な遺跡をテーマに掲げ、埋蔵文化財センター職員・市教育委員会職員がスライドや実物で詳しく解説した。講座は6月以降、各月ごとに計10回実施し、延べ484人の参加を得た。

(3) 古代体験教室（表3、写真14～19）

古代のものの作りを体験することで、古代人の苦労や知恵を学ぶことを目的として「石勾玉を作ろう」、「ガラス勾玉を作ろう」、「古代の技術を学ぼう～合金編～」、「古代の技術を学ぼう～石こ編～」、「ふんどう君ペンダント作り」、「染物体験」、「火おこし体験」を実施した。年間で123回実施し、5,327人の参加を得た。中でも「まつやまこども週間」の8月7日に実施した複数の体験ができる「古代体験まつり」では延べ798人の参加があった。

(4) 遺跡見学会（表4、写真20）

県市連携事業で歴史バスツアー3回、親子考古学講座1回、わかりやすい考古学講座で2回、地域のたから再発見で1回実施し、延べ228人の参加を得た。

(5) 体験学習（団体来館）（表5、写真21）

当年度には100団体、3,954人が来館し、常設展示や収蔵庫、復元室等の施設見学や、火おこし体験や古代衣装の着付け体験などを通して、地域の歴史や古代史をより身近に感じながら歴史を学習した。

(6) 現地説明会（表6）

発掘調査中の遺跡の見学を通して、市民が埋蔵文化財に対する興味や関心をより一層持つってもらうために開催するものである。当年度は、持田本村遺跡、恵原新張遺跡、松山城三之丸跡（18次調査）、南江戸上沖遺跡の計4ヶ所の発掘調査において現地説明会を実施し、440人の参加者を得た。

(7) 職場体験（表7）

埋蔵文化財センターでは、中学校・高等学校・大学等で教育の一環として実施している「職場体験学習」や「インターンシップ」を受託している。当年度は中学校3校、計15人の生徒・学生を受け入れ、考古館の普及啓発業務を体験した。

(8) 出前考古学教室（表8、写真22）

「総合的な学習の時間」、「選択教科社会科の授業」、「文化祭」等における各学校からの要請を受けて、小・中・高等学校や公民館に赴き出前考古学教室を実施している（42団体78件4,983人）。また、館外での主催事業も13件909人の参加者があり、当年度の館外・出前教室は計91回実施し、5,892人が受講した。なお、10月には平成13年よりの通算で1,000回を達成した。

(9) 職員研修・会議（表9）

九州国立博物館主催の「ミュージアムIPM研修（基礎編）」をはじめとして、愛媛県博物館協会等の研修会や会議に参加するとともに、専門研究者を招聘して調査方法や整理方法の指導、出土品の分析に伴う講義等の所内研修を実施し、職員の資質ならびに技術の向上による業務の円滑な推進を図っている。

3. 収集・保管・育成活動

(1) 大連古代蓮（表1-8、写真23）

平成10年4月に松山市農業指導センターから古代蓮の株を分けてもらい、育成をしている。この古代蓮は、平成8年1月に中国大連市の観光訪問団が松山を訪れた際に、大連市観光局局長の張宏安氏から大連市で出土した千年前の蓮の種子を松山市に寄贈されたもので、農業指導セン

普及啓発事業

ターが育成していたものである。当年度は114輪開花した。

(2) 古代米 (表1-9)

考古館の玄関前で赤米を育成している。

4. 出版活動 (表10・11)

考古館主催の展示会・講演会などを開催するに先立ち、多くの観覧者を募るために展示会4件でポスター・チラシ、展示会の解説書パンフレット2冊を作成した。また、発掘調査の成果を公開する松山市埋蔵文化財調査年報1冊と発掘調査報告書5冊を刊行した。

5. 資料の貸出・調査 (表12・13)

各博物館や教育委員会主催事業への出展や、研究者からの資料調査の要望などに応じ、貸出31件と調査21件に協力した。

6. 広報活動 (表14)

展示活動や教育普及活動等の広報活動を通じて、施設のPRと利用推進の充実を図っている。当館のイメージキャラクター「ふんどう君」の出演依頼に応じて、1件の協力を行った。

7. 考古館月別入館者数調 (表15)

表1 展示会一覧

(1)

No.	展示会名	期 間	会 場	観客動員数	
1	第1回四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「四国の黎明」	平成27年4月25日(土)～7月12日(日)	特別展示室 ロビー	3,789	
2	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」	① 「掘ったぞな松山2015」前期展 平成27年7月18日(土)～8月30日(日)	特別展示室 ロビー	2,402	5,349
		② 「掘ったぞな松山2015」後期展 平成27年9月5日(土)～10月25日(日)		1,490	
		③ 「いにしへのえひめ」 平成27年10月31日(土)～12月27日(日)		1,457	
3	特別展「あつまれ! 古代のかお」	平成28年1月30日(土)～3月21日(月)	特別展示室 常設展示室一部	2,347	
4	ロビー展「考古館・楽しかった2014展」	平成27年4月1日(水)～4月19日(日)	特別展示室	856	
5	ロビー展「発掘情報展」	① 北条地区の遺跡② 平成27年4月1日(水)～4月29日(水)	ロビー	1,352	11,356
		② 東山古墳公園 平成27年5月28日(木)～8月2日(日)		3,059	
		③ 恵原新張遺跡 平成27年8月4日(火)～9月6日(日)		1,094	
		④ 持田本村遺跡 平成27年9月8日(火)～10月4日(日)		678	
		⑤ 余土中学校構内遺跡 平成27年10月6日(火)～11月8日(日)		1,225	
		⑥ 古市遺跡 平成27年11月10日(火)～12月6日(日)		586	
		⑦ 平井遺跡10次調査 平成27年12月8日(火)～12月27日(日)		429	
		⑧ 松山城三之丸跡18次調査① 平成28年1月5日(火)～3月31日(木)		2,933	
6	ロビー展「干支と考古学」	平成28年1月6日(水)～1月24日(日)	特別展示室	306	
7	ロビー展「イラストで訪ねる松山の歴史」①	平成28年3月26日(土)～3月31日(木)	特別展示室	255	
8	ロビー展「大連古代蓮の育成と展示会」	① 育 成：平成27年4月1日(水)～平成28年3月31日(木)	考古館玄関前	—	9,911
		② 展示会：平成27年6月5日(金)～平成28年3月31日(木)	ロビー	9,911	

普及啓発事業

展示会一覧

(2)

No.	展示会名	期 間	会 場	観客動員数
9	ロビー展 「古代米の育成」	平成 27 年 5 月 22 日 (木) ～ 10 月 27 日 (火)	考古館玄関前	—
10	「地域のたから再発見」	① 「城西・古代史セミナー」 平成 27 年 5 月 21 日 (木)	雄郡公民館 (土居田分館)	79
		② 「城西・古代史セミナー」 5 月 22 日 (金)	雄郡公民館	26
		③ 「城北・古代史セミナー」 6 月 18 日 (木)	清水公民館	50
		④ 「城北・古代史セミナー」 7 月 10 日 (金)	味酒公民館	90
		⑤ 「城北・古代史セミナー」 平成 28 年 1 月 16 日 (土)	伊台公民館	110
11	松山市役所本庁ロビー写真展	① 平成 27 年 5 月 12 日 (火) ～ 5 月 22 日 (金)	松山市役所本庁	—
		② 6 月 16 日 (火) ～ 6 月 26 日 (金)		
		③ 7 月 22 日 (水) ～ 7 月 31 日 (金)		
		④ 9 月 8 日 (火) ～ 9 月 18 日 (金)		
		⑤ 11 月 25 日 (水) ～ 12 月 4 日 (金)		
		⑥ 平成 28 年 1 月 26 日 (火) ～ 2 月 5 日 (金)		
合計				34,524

表 2 教育普及活動一覧 (考古学講座・講演会等)

No.	事業名	日 時	会 場	講師・報告者 (敬称略)	聴講者数 (人)
1	第 1 回四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国の黎明」	解説会 平成 27 年 4 月 25 日 (土)	講堂	愛媛県埋蔵文化財センター調査係長 多田仁	25
		① 講演会 5 月 16 日 (土)		愛媛県埋蔵文化財センター調査員 沖野実	59
		② 講演会 6 月 21 日 (日)		愛媛県歴史文化博物館専門学芸員 兵頭勲	78
2	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」 「掘ったぞな松山 2015」	前期展	講堂	当センター主査 山之内志郎	40
		① 報告会 7 月 18 日 (土)		当センター主任調査員 相原浩二	
		親子考古学講座 7 月 25 日 (土)		愛媛県埋蔵文化財センター調査課長 中野良一	
	後期展	講堂	② 講演会 8 月 22 日 (土)	愛媛県教育委員会専門学芸員 富田尚夫	56
			③ 報告会 9 月 12 日 (土)	当センター主任調査員 高尾和長	43
			④ 報告会 10 月 17 日 (土)	当センター主査 橋本雄一	47
愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」 「いにしへのえひめ」	報告会 10 月 31 日 (土)	愛媛県埋蔵文化財センター調査員 藤本清志	31		
	講演会 12 月 12 日 (土)	愛媛大学埋蔵文化財調査室准教授 柴田昌児	75		
3	特別展「あつまれ！古代のかお」	平成 28 年 1 月 30 日 (土)	講堂	当センター主任学芸員 吉岡和哉	37
		① 講演会 2 月 28 日 (日)		桜井市教育委員会文化財課 福辻淳	49
		② 講演会 3 月 12 日 (土)		考古イラストレーター 早川和子	33
4	箏コンサート	① 平成 27 年 4 月 4 日 (土)	エントランス	前谷雅貴 (正派邦楽会 大師範)	20
		② 5 月 16 日 (土)		武田沙也加 (松山市立たちばな小学校 5 年生)	19
		③ 6 月 6 日 (土)		笹岡雅楽隆 (正派邦楽会 准師範)	13
		④ 7 月 18 日 (土)		前谷雅貴 (正派邦楽会 大師範) ほか 3 名	26
		⑤ 8 月 22 日 (土)		内島雅千穂 (正派邦楽会 師範) ほか 2 名	19
		⑥ 9 月 12 日 (土)		前谷雅貴 (正派邦楽会 大師範)	12
		⑦ 10 月 18 日 (日)		松澤都翠 (正派邦楽会 准師範)	5
		⑧ 11 月 29 日 (日)		内島雅千穂 (正派邦楽会 師範)	9
		⑨ 12 月 6 日 (日)		笹岡雅楽隆 (正派邦楽会 准師範)	12
		⑩ 平成 28 年 1 月 9 日 (土)		前谷雅貴 (正派邦楽会 大師範) ほか 2 名	20
		⑪ 2 月 28 日 (日)		内島雅千穂 (正派邦楽会 師範)	17
		⑫ 3 月 12 日 (土)		松澤都翠 (正派邦楽会 准師範)	15
5	わかりやすい考古学講座「発掘 松山の遺跡Ⅴ」	① 平成 27 年 6 月 6 日 (土)	講堂	当センター主査 梅本謙一	55
		② 7 月 4 日 (土)		当センター主任学芸員 小玉亜紀子	54
		③ 8 月 1 日 (土)		当センター主査 山之内志郎	51
		④ 9 月 5 日 (土)	当センター主任調査員 小笠原善治	57	
		⑤ 10 月 3 日 (土)	松山市教育委員会文化財課 新原佑典	40	
		⑥ 11 月 7 日 (土)	講堂	当センター主任調査員 山本健一	47
		⑦ 12 月 5 日 (土)	余戸柳井田	当センター主任調査員 宮内慎一	41
		⑧ 平成 28 年 1 月 9 日 (土)	講堂	当センター主任調査員 宮内慎一	46
		⑨ 2 月 6 日 (土)	講堂	当センター調査員 栗田茂敏	46
		⑩ 3 月 5 日 (土)	講堂	当センター主任調査員 相原浩二	47
6	「地域のたから再発見」	① 平成 27 年 5 月 21 日 (木)	雄郡公民館	「城西・古代史セミナー」	79
		② 5 月 22 日 (金)	雄郡公民館	「城西・古代史セミナー」	26
		③ 6 月 18 日 (木)	清水公民館	「城北・古代史セミナー」	50
		④ 7 月 10 日 (金)	味酒公民館	「城北・古代史セミナー」	90
		⑤ 平成 27 年 1 月 16 日 (土)	伊台公民館	「城北・古代史セミナー」	110
合計 40 回					1,611

普及啓発事業

表3 教育普及活動一覧（古代体験教室）

(1)

No.	事業名		日時		会場・団体名	参加者数 (人)	
1	石勾玉を作ろう	来館	①	平成27年4月15日(水)	9:00～14:30	松山市立味生小学校	116
			②	4月16日(木)	10:00～13:00	愛媛県立松山聾学校	13
			③	4月24日(金)	9:30～13:00	私立済美平成中等教育学校	124
			④	5月8日(金)	10:40～14:30	愛媛県立松山盲学校	10
			⑤	5月9日(土)	10:00～11:00	松山市立桑原中学校	4
			⑥	5月13日(水)	10:00～14:00	東温市立南吉井小学校	117
			⑦	7月23日(木)	13:30～15:30	久枝放課後子ども教室	23
			⑧	8月7日(金)	10:00～16:00	古代体験まつり	157
			⑨	8月20日(木)	10:00～11:30		21
			⑩	8月20日(木)	13:30～15:00	考古館 講堂	17
			⑪	9月15日(火)	11:00～12:30	大江子どもクラブ	15
			⑫	9月25日(金)	9:30～15:30	私立新田青雲中等教育学校	60
			⑬	11月19日(木)	11:00～14:00	松山市視覚障害者協会	10
	出前	①	平成27年4月3日(金)	13:30～15:00	さくら児童クラブ	28	
		②	5月8日(金)	13:30～15:30	いきいきサロン湯山	16	
		③	5月21日(木)	14:00～15:30	西側いきいきサロン	22	
		④	5月30日(土)	13:30～15:00	祓川2丁目子供会	16	
		⑤	6月11日(木)	15:05～15:50	松山市立みどり小学校	20	
		⑥	6月22日(月)	15:10～15:55	松山市立立岩小学校	13	
		⑦	7月10日(金)	13:00～16:30	松山市立東中学校	28	
		⑧	7月19日(日)	9:00～11:00	松山市立栗井小学校PTA2年	72	
		⑨	8月18日(火)	13:30～15:00	たちばな児童クラブ	42	
		⑩	11月1日(日)	9:00～10:30	松山市立鴨川中学校	26	
⑪		11月1日(日)	9:00～11:20	松山市立城西中学校	20		
⑫		11月3日(火)	8:30～11:00	松山市立久谷中学校	21		
	再生琥珀	来館		7月10日(金)	9:00～13:30	味生公民館	20
2	ガラス勾玉を作ろう	来館	①	11月13日(金)	10:00～14:30		8
			②	11月14日(土)	10:00～14:30	考古館講堂	3
3	古代の技術を学ぼう ～合金編～	来館	①	7月24日(金)	13:00～16:00	アロハエンジェルスクール	14
			②	8月7日(金)	10:00～16:00	古代体験まつり	108
			③	平成28年3月10日(土)	14:50～17:00	国東市歴史体験学習館	10
		出前	①	平成27年7月9日(木)	10:50～11:40	私立新田高等学校	33
			②	7月9日(木)	15:30～16:20	私立新田高等学校	7
			③	7月24日(金)	10:30～12:00	窪田児童クラブ	38
			④	7月29日(水)	14:00～15:00	みどり児童クラブ	29
			⑤	8月11日(火)	10:00～12:00	味生第二児童クラブ	60
			⑥	8月18日(火)	13:30～15:00	たちばな児童クラブ	14
		銅鏡作り	⑦	12月13日(日)	10:00～15:00	風早にぎわいまつり	20
			⑧	平成28年1月16日(土)	9:30～11:30	古代史セミナー(伊台公民館)	47
			⑨	2月28日(日)	10:00～15:30	ふれあいフェスタ2016	50
			銅鏡作り	来館		平成27年8月7日(金)	10:00～16:00
ミニ銅鐸作り	来館					20	
4	古代の技術を学ぼう ～石こう編～	ミニ銅鐸作り					38
		銅鏡作り	来館	8月7日(金)	10:00～16:00	古代体験まつり	23
		分銅形土製品作り					9
		ミニ銅鐸作り	出前	11月26日(木)	15:05～15:50	松山市立みどり小学校	20
		分銅形土製品作り	出前	平成28年1月28日(木)	15:05～15:50	松山市立みどり小学校	20
		分銅形土製品作り	来館	①	2月21日(日)	9:00～17:00	
		②	3月19日(土)	9:00～17:00	考古館エントランス	1	
5	ふんどう君 ペンダント作り	来館	個人	①	平成27年4月		36
			②	5月		60	
			③	6月		38	
			④	7月	9:00～17:00	考古館エントランス・講堂	36
			⑤	8月 (8月7日古代体験まつり33人)		64	

普及啓発事業

教育普及活動一覧（古代体験教室）

(2)

No.	事業名		日 時		会場・団体名	参加者数 (人)		
	ふんどう君 ペンダント作り	来館	個人	⑥ 9月	9:00～17:00	考古館エントランス・講堂	2	296
				⑦ 10月			10	
				⑧ 11月			7	
				⑨ 12月			8	
				⑩ 平成28年1月			14	
				⑪ 2月			6	
	⑫ 3月	15						
		出前	団体	① 平成27年9月22日(火)	11:30～13:00	ボーイスカウト松山第36団		11
				① 7月28日(火)	14:00～15:00	みどり児童クラブ	31	145
				② 7月29日(水)	14:00～15:00		17	
				③ 平成28年1月16日(土)	9:30～11:30	古代史セミナー(伊台公民館)	47	
	④ 2月28日(日)	10:00～15:30	ふれあいフェスタ2016	50				
6	染物体験	西	来館	① 平成27年8月26日(水)	10:00～12:00	考古館 講堂	22	37
				② 平成28年2月17日(水)	10:00～12:00		15	
		藍	出前	① 平成27年8月27日(木)	10:00～11:30	立岩放課後子ども教室	23	23
				来館	② 8月28日(金)	10:00～12:00	考古館 講堂	25
③ 平成28年2月19日(金)	10:00～12:00		9					
7	火おこし体験	来館	個人	① 4月(12件)		考古館 屋外	39	321
				② 5月(9件)			27	
				③ 6月(7件)			26	
				④ 7月(2件)			5	
				⑤ 8月(古代体験まつ59件165人外11件43人)			208	
				⑥ 9月(0件)			0	
				⑦ 10月(0件)			0	
				⑧ 11月(0件)			0	
				⑨ 12月(0件)			0	
				⑩ 平成28年1月(3件)			7	
				⑪ 2月(0件)			0	
				⑫ 3月(2件)			9	
		来館	団体	① 平成27年4月14日(火)	9:00～11:30	松山市立新玉小学校	96	2,096
				② 4月15日(水)	9:00～14:30	松山市立味生小学校	116	
				③ 4月16日(木)	8:30～11:00	松山市立味生第二小学校	116	
				④ 4月24日(金)	9:00～11:30	松山市立たちばな小学校	95	
				⑤ 4月24日(金)	9:30～13:00	私立済美平成中等教育学校	124	
				⑥ 5月1日(金)	9:30～11:30	松山市立粟井小学校	85	
				⑦ 5月13日(水)	10:00～14:00	東温市立南吉井小学校	120	
				⑧ 5月14日(木)	9:00～12:00	松山市立味酒小学校	169	
				⑨ 5月26日(火)	10:00～14:00	松山市立和気小学校	128	
				⑩ 6月12日(金)	10:00～11:30	愛媛県総合教育センター	5	
				⑪ 7月22日(水)	13:30～15:00	私立愛光学園(台湾留学生)	25	
				⑫ 9月25日(金)	9:30～15:30	私立新田青雲中等教育学校	68	
				⑬ 10月7日(水)	9:00～12:00	愛媛県立松山盲学校	6	
				⑭ 10月23日(金)	13:30～14:30	今治市立吉海小学校	28	
				⑮ 10月29日(木)	10:00～12:00	今治市立亀岡小学校	21	
				⑯ 10月30日(金)	10:00～12:30	今治市立菊間小学校	30	
				⑰ 11月4日(木)	10:00～12:00	東温市立拝志小学校	29	
				⑱ 11月19日(木)	11:00～14:00	松山市視覚障害者協会	6	
				⑲ 12月1日(火)	9:00～11:00	愛媛大学留学生(中国)	14	
				⑳ 平成28年2月25日(木)	10:00～11:30	東温市立北吉井小学校	85	
㉑ 3月2日(水)	9:30～12:00	松山市立三津浜小学校	76					
㉒ 3月3日(木)	9:00～12:00	松山市立さくら小学校	140					
㉓ 3月3日(木)	9:30～11:45	松山市立久枝小学校	112					
㉔ 3月4日(金)	10:00～11:30	東温市立川上小学校	88					
㉕ 3月6日(日)	13:30～15:30	都市環境学習センター	16					
㉖ 3月8日(火)	9:30～11:30	松山市立双葉小学校	120					
㉗ 3月10日(木)	10:00～12:30	松山市立北久米小学校	91					
㉘ 3月11日(金)	9:30～11:30	松山市立素鷺小学校	87					

普及啓発事業

教育普及活動一覧（古代体験教室）

(3)

No.	事業名			日時		会場・団体名	参加者数 (人)	
	火おこし体験	出前	団体	①	平成 27 年 4 月 14 日 (火)	14:00～15:40	松山市立正岡小学校	23
				②	4 月 17 日 (金)	9:00～11:30	松山市立雄郡小学校	90
				③	4 月 23 日 (木)	10:25～11:10	松山市立堀江小学校	101
				④	5 月 1 日 (金)	10:30～15:35	松山市立福音小学校	104
				⑤	5 月 11 日 (月)	13:50～15:35	伊予市立南山崎小学校	21
				⑥	5 月 13 日 (水)	10:30～11:15	砥部町立宮内小学校	71
				⑦	5 月 26 日 (火)	9:00～11:00	松山市立窪田小学校	51
				⑧	5 月 28 日 (木)	15:05～15:50	松山市立みどり小学校	20
				⑨	7 月 10 日 (金)	13:20～14:10	私立新田高等学校	7
				⑩	7 月 14 日 (火)	9:50～10:40	私立新田高等学校	7
				⑪	7 月 23 日 (木)	13:30～15:30	さくら児童クラブ	46
				⑫	7 月 25 日 (土)	15:00～16:00	風早自然学校ボレボレ	40
				⑬	8 月 9 日 (日)	9:00～14:00	松山市青年会議所	86
				⑭	12 月 7 日 (月)	15:10～15:55	松山市立立岩小学校	14
				⑮	平成 28 年 1 月 16 日 (土)	9:30～11:30	古代史セミナー（伊台公民館）	47
合計 123 回							5,327	

表 4 教育普及活動一覧（遺跡見学会）

No.	事業名	日時		内容（見学地）	参加者数 (人)	
1	愛媛県・松山市連携事業 「掘ったぞな松山 2015」	平成 27 年 7 月 25 日 (土)	10:00～12:00	・親子考古学講座（湯築城跡）	12	
2	愛媛県・松山市連携事業 「掘ったぞな松山 2015」 歴史バスツアー	①	7 月 30 日 (木)	9:00～17:00	・考古館・北条ふるさと館・大西藤山歴史資料館 ・今治市新谷赤田遺跡	37
3		②	10 月 10 日 (土)	9:00～17:00	・考古館・上黒岩岩陰遺跡・道の駅天空の郷さんさん ・大下田古墳群	40
4		③	11 月 21 日 (土)	9:00～17:00	・考古館・上黒岩岩陰遺跡・道の駅天空の郷さんさん ・大下田古墳群	37
5	わかいやすい考古学講座 「発掘松山の遺跡」現地見学会	①	10 月 3 日 (土)	10:00～11:30	・史跡松山城跡の建造物	40
6	「地域のたから再発見」 歴史バスツアー	②	12 月 5 日 (土)	10:00～11:30	・余戸柳井田遺跡 3 次調査	41
7		平成 28 年 3 月 20 日 (日)	13:00～17:00	・伊台公民館・考古館・葉在池古墳公園	21	
合計					228	

表 5 教育普及活動一覧（体験学習・団体来館）

(1)

No.	学校名・団体名	学 年	日 時	内 容	参加者数 (人)
1	デイサービス済生会	—	平成 27 年 4 月 3 日 (金)	館内案内	25
2	デイサービス済生会	—	4 月 7 日 (火)	館内案内	19
3	愛媛大学 (ロシア)	—	4 月 9 日 (木)	館内案内・古代衣装	6
4	愛媛新聞カルチャースクール	—	4 月 11 日 (土)	館内案内	9
5	松山市立新玉小学校	6 年	4 月 14 日 (火)	館内案内・火おこし・古代衣装	96
6	松山市立味生小学校	6 年	4 月 15 日 (水)	館内案内・火おこし・石勾玉作り 客谷古墳群見学・古代衣装	116
7	松山市立味生第二小学校	6 年	4 月 16 日 (木)	館内案内・火おこし・古代衣装	116
8	愛媛県立松山聾学校	中1～3年	4 月 16 日 (木)	館内案内・石勾玉作り	13
9	松山市立たちばな小学校	6 年	4 月 24 日 (金)	館内案内・火おこし・古代衣装	95
10	私立済美平成中等教育学校	高 1 年	4 月 24 日 (金)	館内案内・火おこし・古代衣装・石勾玉作り	124
11	松山市立栗井小学校	6 年	5 月 1 日 (金)	館内案内・火おこし・古代衣装	85
12	愛媛県立松山盲学校	高1・3年	5 月 8 日 (金)	館内案内・古代衣装・石勾玉作り (10 人)	11
13	愛媛新聞カルチャースクール	—	5 月 9 日 (土)	館内案内	10
14	東温市立南吉井小学校	6 年	5 月 13 日 (水)	館内案内・火おこし・石勾玉作り (117 人)	120
15	松山市立味酒小学校	6 年	5 月 14 日 (木)	館内案内・火おこし	169
16	三之丸句会	—	5 月 14 日 (木)	館内案内	20
17	NTTOB えひめ歩こう会	—	5 月 21 日 (木)	館内案内	16
18	文化財めぐり (湯の山友遊会)	—	5 月 22 日 (金)	館内案内	32
19	桑原みらいクラブ	—	5 月 24 日 (日)	館内案内・古代衣装	24
20	松山市立和気小学校	6 年	5 月 26 日 (火)	館内案内・火おこし・古代衣装・客谷 古墳群見学	128

普及啓発事業

教育普及活動一覧（体験学習・団体来館）

(2)

No.	学校名・団体名	学 年	日 時	内 容	参加者数（人）
21	愛媛県総合教育センター	中1～3年	6月12日（金）	館内案内・火おこし	5
22	小規模多機能ホーム つよし	—	6月12日（金）	館内案内	10
23	愛媛新聞カルチャースクール	—	6月13日（土）	館内案内	10
24	愛媛県立松山盲学校	6年	6月16日（火）	館内案内	4
25	デイサービスみかん	—	6月23日（火）	館内案内	7
26	デイサービスこころ	—	6月24日（水）	館内案内	9
27	湯山公民館	—	7月1日（水）	館内案内	52
28	万緑の会	—	7月3日（金）	館内案内	20
29	味生公民館	—	7月10日（金）	館内案内・勾玉作り（琥珀）	20
30	にぎたつ旬会	—	7月12日（日）	館内案内	9
31	媛旬会	—	7月12日（日）	館内案内	7
32	味生公民館	—	7月15日（水）	館内案内	20
33	私立愛光学園（中・高台湾留学生含む）	中・高	7月22日（水）	館内案内・火おこし	25
34	久枝放課後子ども教室	—	7月23日（木）	館内案内・石勾玉作り（23人）	32
35	小中学校事務主任会	—	7月24日（金）	館内案内	80
36	アロハエンジェルズスクール	—	7月24日（金）	館内案内・銅銭作り（合金14人）	19
37	花信俳句の会	—	7月26日（日）	館内案内	48
38	小学校社会科主任会夏季研修会	—	7月27日（月）	館内案内	46
39	松山市教育研究協議会	—	7月30日（木）	館内案内	90
40	松山市環境モデル都市推進課	—	8月2日（日）	館内案内・エコキッズスクール	74
41	松山市環境モデル都市推進課	—	8月2日（日）	館内案内・エコキッズスクール	73
42	西条市考古歴史館	—	8月7日（金）	館内案内・古代体験まつり視察	2
43	愛媛新聞カルチャースクール	—	8月8日（土）	館内案内	10
44	愛媛新聞カルチャースクール	—	9月12日（土）	館内案内	10
45	あまやま天赦苑	—	9月12日（土）	館内案内	7
46	松山福祉園	—	9月12日（土）	館内案内	7
47	松山市立桑原中学校	中2年	9月15日（火）	職場体験	3
48	大江子どもクラブ	—	9月15日（火）	館内案内・石勾玉作り	15
49	松山市立桑原中学校	中2年	9月16日（水）	職場体験	3
50	ボーイスカウト松山第36団	—	9月22日（火）	館内案内・ふんどう君ペンダント作り（11人）	12
51	私立新田青雲中等教育学校	中1年	9月25日（金）	館内案内・火おこし・石勾玉作り（60人）・客谷古墳見学・古代衣装	68
52	はたちの会	—	9月29日（火）	館内案内	9
53	松山市立城西中学校	中2年	10月1日（木）	職場体験	3
54			10月2日（金）	職場体験	3
55	愛媛県立松山盲学校	中1年	10月7日（水）	館内案内・火おこし	6
56	松前町立岡田中学校	中2年	10月8日（木）	職場体験	2
57			10月9日（金）	職場体験	1
58	松山市立味酒小学校	5年	10月14日（水）	館内案内	13
59	デイサービスセンター和泉	—	10月21日（水）	館内案内	45
60	河野地区社会福祉協議会	—	10月22日（木）	館内案内	34
61	今治市立吉海小学校	6年	10月23日（金）	館内案内・古代衣装・火おこし	28
62	文化財めぐり（文化財課）	—	10月25日（日）	館内案内	21
63	松山市立新玉小学校	1～6年	10月27日（火）	館内案内	187
64	愛媛県高齢者大学校	—	10月28日（水）	館内案内	17
65	大阪府深津会	—	10月29日（木）	館内案内	9
66	今治市立亀岡小学校	6年	10月29日（木）	館内案内・火おこし	21
67	今治市立菊間小学校	6年	10月30日（金）	館内案内・火おこし	30
68	東温市立拝志小学校	5・6年	11月4日（水）	館内案内・古代衣装・火おこし	29
69	古代史教養講座	—	11月11日（水）	館内案内	34
70	愛媛大学留学生 （台湾・中国・モザンビーク・マレーシア・ ネパール・インドネシア・バングラディシュ ・フランス）	—	11月11日（水）	館内案内	17
71	愛媛新聞カルチャースクール	—	11月14日（土）	館内案内	10
72	松山市視覚障害者協会	—	11月19日（木）	館内案内・火おこし（6人）・古代衣装・石勾玉作り（10人）	19
73	愛媛大学留学生（中国）	—	12月1日（火）	館内案内・古代衣装・火おこし	14
74	愛媛新聞カルチャースクール	—	12月12日（土）	館内案内	10
75	弥生石器勉強会	—	12月19日（土）	館内案内・見学	10

普及啓発事業

教育普及活動一覧（体験学習・団体来館）

(3)

No.	学校名・団体名	学 年	日 時	内 容	参加者数（人）	
76	愛媛新聞カルチャースクール	—	平成28年1月9日（土）	館内案内	10	20
77	楓の会	—	1月11日（月）	館内案内	10	
78	たかなな旬会	—	2月9日（火）	館内案内	4	393
79	松山市小中合同学校事務主任会	—	2月10日（水）	館内案内	80	
80	愛媛新聞カルチャースクール	—	2月13日（土）	館内案内	10	
81	愛媛若葉	—	2月14日（日）	館内案内	22	
82	人間と性教育研究協議会愛媛サークル	—	2月20日（土）	館内案内	25	
83	東温市立北吉井小学校	5年	2月25日（木）	館内案内・火おこし・古代衣装	85	938
84	松山市立味酒小学校	5年	2月26日（金）	館内案内・古代衣装	167	
85	松山市立窪田小学校	5年	3月1日（火）	館内案内	54	
86	松山市立三津浜小学校	5・6年	3月2日（水）	館内案内・火おこし・古代衣装	76	
87	松山市立さくら小学校	5年	3月3日（木）	館内案内・火おこし・古代衣装	140	
88	松山市立久枝小学校	5年	3月3日（木）	館内案内・火おこし・古代衣装	112	
89	東温市立川上小学校	5年	3月4日（金）	館内案内・火おこし・古代衣装	88	
90	都市環境学習センター	—	3月6日（日）	館内案内・火おこし・古代衣装	16	
91	松山市立双葉小学校	5年	3月8日（火）	館内案内・火おこし・古代衣装	120	
92	奈良大学	—	3月8日（火）	館内案内	6	
93	松山市立北久米小学校	5年	3月10日（木）	館内案内・火おこし・古代衣装	91	
94	愛媛大学附属小学校	3年	3月10日（木）	館内案内・古代衣装	96	
95	国東市歴史体験学習館	—	3月10日（木）	館内案内・銅銭作り（合金）	10	
96	松山市立素鷲小学校	5年	3月11日（金）	館内案内・火おこし・古代衣装	87	
97	デイホームふゆうちゃあ	—	3月16日（水）	館内案内	14	
98	さくら俳句会	—	3月24日（木）	館内案内	10	
99	愛媛新聞カルチャースクール	—	3月26日（土）	館内案内	10	
100	南斎院西側町内会	—	3月26日（土）	館内案内	8	
合計 100件					3,954	

表6 教育普及活動一覧（現地説明会）

No.	遺跡名	日 時	遺跡の主な概要	見学者数 （人）
1	持田本村遺跡	平成27年6月27日（土） 10:00～11:30	縄文時代～江戸時代（縄文土器・弥生土器・陶磁器ほか）	110
2	恵原新張遺跡	7月26日（日） 11:00～12:00	弥生時代～鎌倉時代（弥生土器・須恵器・石器・玉）	120
3	松山城三之丸跡 18次調査	12月23日（日） 11:00～12:00	江戸時代幕末期（陶磁器・瓦・硯・瓦器類ほか）	60
4	南江戸上沖遺跡	平成28年1月23日（土） 10:00～12:00	古墳時代～近現代（弥生土器・須恵器・陶磁器・装飾品）	150
合計				440

表7 教育普及活動一覧（職場体験）

No.	学校名	学 年	日 時	内 容	参加者数 （人）	
1	松山市立桑原中学校	2年生	① 平成27年9月15日（火）	9:00～15:30	職場体験	3
			② 9月16日（水）	9:00～15:30		3
2	松山市立城西中学校	2年生	① 10月1日（木）	9:00～15:00	職場体験	3
			② 10月2日（金）	9:00～15:00		3
3	松前町立岡田中学校	2年生	① 10月8日（木）	9:00～15:30	職場体験	2
			② 10月9日（金）	9:00～15:30		1
合計 3校6件					15	

表8 教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）

(1)

	No.	学校名・団体名	学年ほか	日 時	内 容	参加者数（人）	
館	1	わかりやすい考古学講座 『発掘 松山の遺跡Ⅴ』	現地見学会1	① 平成27年10月3日（土）	松山城	40	81
			現地見学会2	② 12月5日（土）	余戸柳井田遺跡3次調査地の見学	41	
外	2	愛媛県・松山市連携事業 『古代いよ発掘まつり』	湯築城	7月25日（土）	親子考古学講座	12	

普及啓発事業

教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）

(2)

No.	学校名・団体名	学年ほか	日時	内容	参加者数(人)	
館外	3	平成27年度 『地域のたから再発見』	① 5月21日(木)	「城西・古代史セミナー」(土居田分館) 講座	79	
			② 5月22日(金)	「城西・古代史セミナー」 講座	26	
			③ 6月18日(木)	「城北・古代史セミナー」 講座	50	
			④ 7月10日(金)	「城北・古代史セミナー」 講座	90	
			⑤ 平成28年1月16日(土)	「城北・古代史セミナー」 講座・銅銭作り(合金47人)・ふんどう君ペンダント作り(47人)・火おこし(47人)・ふんどう君	110	
			⑥ 3月20日(金)	「歴史バスツアー」 考古館・葉佐池古墳公園	21	
	4	現地説明会	① 6月27日(土)	持田本村遺跡	110	
			② 7月26日(日)	恵原新張遺跡	120	
			③ 12月23日(木)	松山城三之丸跡 18次調査	60	
			④ 平成28年1月23日(土)	南江戸上沖遺跡	150	
出前	1	さくら児童クラブ	—	① 平成27年4月3日(金)	石勾玉作り	28
	1～6年	② 7月23日(木)	火おこし	46		
	2	松山市立正岡小学校	6年	4月14日(火)	講義・火おこし	23
	3	松山市立雄郡小学校	6年	① 平成27年4月17日(金)	講義・火おこし	90
				② 10月22日(木)	講義(キャリア教育授業)	12
	4	松山市立堀江小学校	6年	① 4月21日(火)	講義	101
				② 4月23日(木)	火おこし	101
	5	松山市立みどり小学校	4～6年	① 5月21日(木)	講義・古代衣装	20
				② 5月28日(木)	火おこし・塩作り	20
				③ 6月11日(木)	石勾玉作り①	20
				④ 6月18日(木)	石勾玉作り②	20
				⑤ 10月22日(木)	石庖丁作り①	20
				⑥ 10月29日(木)	石庖丁作り②	20
				⑦ 11月12日(木)	石庖丁で取穂体験	20
				⑧ 11月26日(木)	ミニ銅鐸作り(石こう)	20
				⑨ 12月17日(木)	校区内の出土品	20
				⑩ 平成28年1月21日(木)	土器パズル	20
				⑪ 1月28日(木)	分銅形土製品作り(石こう)	20
				⑫ 2月25日(木)	講義	20
	6	松山市立福音小学校	6年	① 平成27年5月1日(金)	講義・火おこし	104
	7	葉佐池くらぶ	—	① 5月4日(月)	古代衣装・土器パズル・ふんどう君出演	106
				② 10月25日(日)	土器パズル・ふんどう君	50
8	松山市立味酒小学校	6年	① 5月12日(火)	講義	163	
			② 6月3日(水)	講義	163	
			③ 6月4日(木)	講義	163	
			④ 6月12日(金)	講義	163	
			⑤ 6月16日(火)	土器作り①(小型品)	163	
			⑥ 6月17日(水)	講義	163	
			⑦ 6月19日(金)	土器作り②(大型品)	163	
			⑧ 6月26日(金)	古代人体験	163	
			⑨ 7月15日(水)	古代人体験の報告会	163	
			⑩ 10月22日(木)	土器焼き①(土練り)	163	
		⑪ 10月23日(金)	土器焼き②	163		
5年	⑩ 11月4日(木)	講義	11			
⑪ 12月10日(木)	「発見! 味酒野に生きるこだわり名人」 発表会	11				
9	いきいきサロン湯山	—	5月8日(金)	石勾玉作り	16	
10	愛媛大学法文学部人文学科	—	① 5月8日(金)	講義	40	
			② 5月15日(金)	講義	40	
			③ 5月22日(金)	講義	40	
			④ 6月5日(金)	講義	40	
11	伊予市立南山崎小学校	6年	5月11日(月)	講義・火おこし	21	
12	砥部町立宮内小学校	5年	5月13日(水)	講義・火おこし	71	
13	西側いきいきサロン	—	5月21日(木)	石勾玉作り	22	
14	松山市立窪田小学校	5年	5月26日(火)	火おこし	51	
15	蔵川2丁目子供会	—	5月30日(土)	石勾玉作り	16	
16	愛媛県立北条高校	高2年	6月11日(木)	講義	14	
17	松山市立小野中学校	中1年	① 6月2日(火)	講義	131	
			② 7月7日(水)	葉佐池古墳の説明	131	
18	松山市立立岩小学校	4～6年	① 6月22日(月)	石勾玉作り	13	
			② 12月7日(月)	火おこし	14	
19	私立新田高等学校	高3年	① 7月9日(木)	銅銭作り(合金)	33	
			① 7月9日(木)	銅銭作り(合金)	7	
		高2年	② 7月10日(金)	火おこし	7	
			③ 7月14日(火)	火おこし	7	
20	松山市立東中学校	中1～3年	7月10日(金)	石勾玉作り	28	
21	松山市立粟井小学校PTA	2年	7月19日(日)	石勾玉作り(72人)	144	
22	窪田児童クラブ	1～3年	7月24日(金)	銅銭作り(合金38人)・古代衣装・ぬり絵	42	

普及啓発事業

教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）

(3)

No.	学校名・団体名	学年ほか	日時	内容	参加者数(人)	
23	風早自然学校ボレボレ	—	7月25日(土)	火おこし	40	
24	みどり児童クラブ	—	① 7月28日(火)	ふんどう君ペンダント作り	31	
			② 7月29日(水)	銅銭作り(合金29人)・ふんどう君ペンダント作り(17人)	46	
25	松山青年会議所	—	8月9日(日)	火おこし・古代衣装・ぬり絵・土器パズル	86	
26	味生第二児童クラブ	—	8月11日(火)	講義・銅銭作り(合金)	60	
27	たちばな児童クラブ	1～3年	8月18日(火)	石勾玉作り(42人)・銅銭作り(合金14人)	56	
28	立岩放課後子ども教室	—	8月27日(木)	染物体験～藍～	23	
29	愛媛県生涯学習センター	—	8月17日(木)	講義(コミュニティカレッジ)	47	
30	野外活動センター	—	10月25日(日)	ふんどう君・土器パズル・ぬり絵	200	
31	松山市立鴨川中学校	中1～3年	11月1日(日)	石勾玉作り	26	
32	松山市立城西中学校	中1～3年	11月1日(日)	石勾玉作り(20人)・講義	21	
33	松山市立久谷中学校	中1～3年	11月3日(火)	石勾玉作り(21人)・講義	22	
34	古代史教養講座	—	11月11日(水)	久米官衙遺跡見学外	34	
35	カルスポカレッジ	—	12月2日(水)	講義	100	
36	祭都風早歴史文化連続講座	—	12月12日(土)	講義	15	
37	風早にぎわいまつり	—	12月13日(日)	銅銭作り(合金20人)・ぬり絵	90	
38	松山市考古館ロビー コンサート100回達成記念 前谷雅貴社中演奏会	—	平成28年1月24日(日)	講義	50	
39	松山市立味生小学校	3年	2月2日(火)	古民家見学・講義	140	
40	ふるさと風早講座	—	2月16日(火)	講義	58	
41	キッズジョブまつやま	—	2月28日(日)	講義・土器パズル・拓本・土器仕分け ・道具クイズ	94	
42	ふれあいフェスタ2016	—	2月28日(日)	銅銭作り(合金50人)・ふんどう君ペンダント 作り(50人)	100	
館外					13件	909
出前					42団体	4,983
総合計						5,892

表9 教育普及活動一覧（職員研修・会議）

No.	研修・会議名	日時	開催地	参加者数(人)
1	第36回全国埋蔵文化財法人連絡協議会 総会	平成27年6月18・19日(木・金)	長野県	1
2	平成27年度愛媛県博物館協会総会・研修	7月30日(木)	愛媛県	2
3	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 平成27年度第2回実行委員会	8月20日(木)	高知県	2
4	平成27年度第1回埋蔵文化財担当職員等講習会	8月26・27日(水・木)	富山県	1
5	ミュージアムIPM研修(基礎編)	9月9日～11日(水～金)	福岡県	1
6	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 平成27年度第3回実行委員会	9月29日(火)	香川県	2
7	全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	10月8・9日(木・金)	広島県	2
8	公開承認施設会議	11月5・6日(木・金)	東京都	1
9	ふるさと愛媛学普及推進セミナー	11月27日(火)	愛媛県	1
10	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 平成27年度第4回実行委員会	平成28年1月6・7日(水・木)	徳島県	2
11	職員研修(伊予市教育委員会 沖野新一)	1月28日(木)	所内	20
12	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 平成27年度第5回実行委員会	3月16・17日(水・木)	徳島県	2

表10 考古館印刷物一覧（ポスター・チラシ等）

No.	出版物名	発行日	対象	版型・頁	部数(枚)
1	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国の黎明」 ポスター チラシ	平成27年4月	一般	B2 1頁	500
				A4 2頁	
2	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」 「掘ったぞな松山2015」 ポスター	平成27年6月	一般	B2 1頁	600
3	考古館ロビー展「大連古代蓮」のご案内 チラシ	平成27年5月	一般	A4 2頁	10,000
4	特別展「あつまれ！古代のかお」 ポスター チラシ	平成28年1月	一般	B2 1頁	500
				A4 2頁	

普及啓発事業

表 11 出版物一覧

No.	報告書名・出版物名	発行日	対象	版型・頁	冊数
1	愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』 「掘ったぞな松山 2015」 解説パンフレット	平成 27 年 7 月 1 日	一般	A4 4 頁	2,000
2	特別展「あつまれ！古代のかお」 解説パンフレット	平成 28 年 1 月 30 日	一般	A4 16 頁	700
3	松山市埋蔵文化財調査年報 27（平成 26 年度）	3 月 28 日	一般	A4 72 頁	300
4	松山市文化財調査報告書 第 180 集『文京遺跡 - 53 次・54 次調査 -』	3 月 31 日	一般	A4 84 頁	300
5	松山市文化財調査報告書 第 181 集『桑原地区の遺跡 V』 桑原 6 次・桑原東稲葉 1 次・桑原東稲葉 2 次・榊高木 16 次・榊高木 17 次・三町	3 月 25 日	一般	A4 140 頁	300
6	松山市文化財調査報告書 第 182 集 『久米高畑遺跡 58 次・60 次・61 次調査』	3 月 25 日	一般	A4 140 頁	300
7	松山市文化財調査報告書 第 183 集『衣山北組遺跡 谷町遺跡 2 次調査』	3 月 31 日	一般	A4 72 頁	300
8	松山市文化財調査報告書 第 184 集 『榊味立添遺跡 2 次調査 榊味高木遺跡 5 次調査 榊味四反地遺跡範囲確認調査』	3 月 25 日	一般	A4 112 頁	300

表 12 資料の貸出一覧

(1)

No.	種類	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出先
1	資料	分銅形土製品ほか	25	常設展示室において展示するため	平成 22 年 4 月 1 日 ～平成 32 年 3 月 31 日	子規記念博物館
2	資料	福音小学校構内遺跡出土器台ほか	2	妙見山古墳出土の伊予型特殊器台との比較展示のため	平成 23 年 6 月 21 日 ～平成 28 年 7 月 5 日	今治市教育委員会
3	資料	松山城二之丸跡出土の金貨	1	展示をするため	平成 25 年 2 月 1 日 ～平成 30 年 3 月 31 日	坂の上の雲ミュージアム
4	その他	平形銅剣復原品	1	授業で利用するため	平成 27 年 4 月 17 日 ～ 5 月 12 日	愛媛県立松山南高等学校
5	写真	葉佐池古墳 2 号石室開口直後の写真	1	内子町誌に掲載するため	～ 4 月 27 日 ～ 5 月 15 日	セキ株式会社
6	写真	久米高畑遺跡 47 次調査遺構検出写真ほか	2	『文化愛媛』75 号の連載記事執筆のため	5 月 21 日 ～ 5 月 22 日	個人
7	資料	縄文土器・銅鐸レプリカほか	3	授業にて使用するため	5 月 26 日 ～ 5 月 30 日	松山市立桑原中学校
8	資料	大洲遺跡出土彩文土器ほか	24	平成 27 年度共同企画展 「遺物から見た愛媛の中の韓国文化」 において展示するため	6 月 9 日 ～ 7 月 31 日	愛媛県埋蔵文化財センター
9	写真	葉佐池古墳遠景写真	1	書籍『思い込みの日本史に挑む』の本文中に参考資料として掲載するため	6 月 15 日 ～ 6 月 19 日	有限会社 笠間書院
10	写真	練兵場を撮影した写真	1	愛媛大学ミュージアムスポンジ展示「戦争の記憶」にて展示するため	6 月 24 日	愛媛大学埋蔵文化財調査室
11	資料	岩崎遺跡出土遺物	15	湯築城歴史塾講座と連動した企画展示のため	7 月 13 日 ～ 9 月 14 日	湯築城資料館
12	写真	影浦古墳・姫原遺跡ほか	8	「ふるさと姫山」学習ノートに掲載するため	～ 8 月 4 日 ～ 8 月 5 日	松山市立姫山小学校
13	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	1	中学校用副読本『中学校道徳 新 あすを生きる』へ掲載するためほか	8 月 13 日 ～ 8 月 15 日	日本文教出版株式会社
14	写真	葉佐池古墳空撮写真ほか	52	シリーズ「遺跡を学ぶ」103「葉佐池古墳」に掲載するため	8 月 25 日 ～ 8 月 28 日	株式会社 新泉社
15	資料	中村松田遺跡出土遺物ほか	4	湯築城歴史塾講座と連動した企画展示のため	9 月 14 日 ～ 12 月 21 日	湯築城資料館
16	資料 写真	分銅形土製品	26	特別企画展「FACE - 表情の考古学 -」 に展示するため	9 月 8 日 ～ 12 月 4 日	徳島市立考古資料館
17	写真	常設展示室内古照遺跡の復元した掘 ほか	5	久万林業まつりにおいて水利・灌漑の遺跡としてパネルで紹介するため	9 月 20 日 ～ 9 月 30 日	中予地方局産業経済部農村整備第一課久万高原町駐在
18	その他	古代服（巫女）ほか	一式	弥生琴を演奏するため	9 月 27 日 ～ 9 月 28 日	個人
19	写真	祝谷六丁場遺跡出土 ジョッキ形土器	1	株式会社小学館刊行『日本美術全集 第 1 巻 日本美術創世記』に掲載するため	10 月 8 日 ～ 10 月 14 日	株式会社 小学館
20	その他	古代服（古墳時代の男子）	1	文化祭で使用するため	10 月 28 日 ～ 11 月 1 日	小野中学校
21	資料	福音小学校構内遺跡出土遺物	4	星岡地区の文化祭で展示するため	11 月 22 日	個人
22	写真	考古館屋外の高床倉庫の写真	1	書籍「学習まんが歴史」1 巻に紹介文と共に掲載するため	11 月 24 日 ～ 11 月 30 日	株式会社 集英社
23	その他	報告書掲載の図	5	学会誌に論文を掲載するため	11 月 16 日 ～平成 28 年 3 月 31 日	個人
24	写真	古照遺跡の写真	1	松山市役所シティプロモーション推進課発行の「まつやま地区紹介マップ」に掲載するため	平成 27 年 12 月 10 日 ～ 12 月 17 日	株式会社えひめりビング新聞社
25	写真	考古館の写真	1	松山市役所シティプロモーション推進課発行の「まつやま地区紹介マップ」に掲載するため	平成 27 年 12 月 16 日 ～平成 28 年 2 月 29 日	株式会社えひめりビング新聞社
26	資料	中村松田遺跡 5 次調査出土遺物ほか	4	湯築城歴史塾 講座と連動した企画展示のため	9 月 14 日 ～ 12 月 21 日	松山市道後公園湯築城資料館
27	その他	古代服（巫女）ほか	2	弥生琴を演奏するため	平成 28 年 1 月 23 日 ～ 1 月 25 日	個人
28	写真	葉佐池古墳 2 号石室副葬土器写真 ほか	5	平成 28 年度春季特別企画展の図録、展示 パネル等に掲載するため	1 月 29 日 ～ 5 月 6 日	大阪府立近つ飛鳥博物館

普及啓発事業

資料の貸出一覧

(2)

No.	種類	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出先
29	写真	特別展「あつまれ！古代のかお」 展示コーナー	1	愛媛の経済サイトE4ハレックス社長の コラムにて使用するため写真撮影	2月2日	愛媛新聞社
30	写真	はぎとり地層	1	発行予定の書籍に掲載するため	2月28日 ～3月1日	株式会社 ゴーシェ
31	写真	薬佐池古墳写真	5	長澤宏昌著『今、先祖観を問う～埋葬の歴史 と現代社会～(仮題)』に掲載するため	3月1日 ～4月30日	株式会社 石文社

表13 資料の調査一覧

No.		調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
1	資料	大洲遺跡出土彩文土器ほか	15	平成27年度共同企画展「遺物から見た愛媛の中の韓国文化」 において借用予定遺物の調査熟覧・写真撮影	平成27年5月12日
2	写真	東山古墳公園内古墳出土遺物	10	番組での資料映像を撮影するため	5月14日
3	資料	竹本定義コレクション遺物	12	研究のため熟覧・写真撮影	5月25日
4	資料	影浦谷古墳出土遺物	一式	夏休みの自由研究のため熟覧・写真撮影	5月31日
5	資料	古墳期の祭器	4	まちづくり！まつやま新聞掲載のため写真撮影	6月18日
6	資料	分銅形土製品	26	特別企画展「FACE -表情の考古学-」に展示するための事前 調査 熟覧・写真撮影	6月30日
7	資料	岩崎遺跡出土遺物	15	湯築城歴史塾講座と連動した企画展示のための事前調査熟覧・ 写真撮影	7月1日
8	資料	高田遺跡 椋之原16号墳出土土甕ほか	2	夏休みの自由研究のため熟覧・写真撮影	8月26日
9	資料	中村松田遺跡出土遺物ほか	4	湯築城歴史塾講座と連動した企画展示のため事前調査 熟覧・ 写真撮影	9月3日
10	資料	斎院鳥山遺跡出土土器ほか	30	研究のため熟覧	9月4日
11	資料	古照遺跡出土遺物ほか	323	卒業論文執筆に伴う調査・研究のため熟覧・模写・写真撮影	10月5日～10月9日
12	資料	樽味四反地遺跡出土遺物ほか	294	卒業論文執筆に伴う調査・研究のため熟覧・模写・写真撮影	10月5日～10月9日
13	資料	古照遺跡出土遺物ほか	6	卒業論文執筆に伴う調査・研究のため熟覧・模写・写真撮影	10月16日
14	資料	松山城三之丸跡出土遺物ほか	11	卒業論文執筆に伴う調査・研究のため熟覧・模写・写真撮影	10月26日
15	資料	船ヶ谷遺跡出土土器ほか		研究のため熟覧	10月28・30日
16	資料	松山城三之丸跡出土瀬戸美濃製品	43	卒業論文執筆に伴う調査・研究のため熟覧・模写・写真撮影	11月5日～11月30日
17	資料	松山城三之丸跡出土軒平瓦	7	卒業論文執筆に伴う調査・研究のため熟覧・模写・写真撮影	12月2日～12月3日
18	資料	東山蔭が森4号墳出土素環甕	1	博士論文作成のため熟覧・写真撮影・実測	12月19日
19	写真	館内展示物撮影	5	読売ライフ四国版4月号にて薬佐池古墳紹介のため写真撮影	平成28年1月27日
20	写真	特別展「あつまれ！まつやまのかお」展示 コーナー	1	愛媛の経済サイトE4ハレックス社長のコラムに使用するため	2月2日
21	資料	松山城榎門跡石垣解体時出土鉄ノミ	1	石工道具の研究のため	3月15日

表14 広報活動

No.	団体名	日時	内容
1	健康フェスタ in えひめ2015	平成27年7月4日(土) 8:30～16:15	ふんどう君出演

表15 平成27年度 考古館月別入館者数調 (平成27年4月～平成28年3月)

(単位：人)

月	開館日数 (日)	常設展示室									特別展示室	展示室延 入場者数	入館者数
		有料入館者					無料入館者						
		一般	高齢者	団体 各種割引	前売	小計	高校生 以下	身障者 介護人	その他	小計			
4	25	131	78	7	—	216	792	7	34	833	1,075	2,124	1,624
5	27	260	121	0	—	381	743	13	30	786	1,476	2,643	1,655
6	25	267	109	0	—	376	237	22	9	268	1,396	2,040	2,104
7	28	211	147	292	—	650	202	8	7	217	1,240	2,107	1,711
8	26	130	23	0	—	153	527	16	166	709	1,218	2,080	1,349
9	26	136	57	2	—	195	216	22	11	249	692	1,136	831
10	27	108	133	20	—	261	429	5	11	445	726	1,432	1,182
11	25	122	63	0	—	185	150	21	39	210	712	1,107	846
12	23	92	44	0	—	136	58	11	44	113	544	793	660
1	24	48	37	0	—	85	86	2	71	159	381	625	575
2	23	0	0	0	—	0	364	16	457	837	837	1,674	1,129
3	27	41	41	0	—	82	1,068	16	363	1,447	1,571	3,100	1,995
計	306	1,546	853	321	—	2,720	4,872	159	1,242	6,273	11,868	20,861	15,661



写真1 「考古館・楽しかった2014展」



写真2 発掘へんろ展「四国の黎明」



写真3 展示会「掘ったぞな松山2015」



写真4 展示会「いにしへのえひめ」



写真5 特別展「あつまれ！古代のかお」



写真6 発掘情報展「東山古墳公園」



写真7 「松山市考古館写真展」(松山市役所ロビー)



写真8 講演会「発掘へんろ」

普及啓発事業



写真9 講演会「特別展 あつまれ！古代のかお」



写真10 考古館ロビー 箏コンサート



写真11 「わかりやすい考古学講座」(6月)



写真12 「わかりやすい考古学講座」(10月)



写真13 「地域のたから再発見」(雄郡公民館)



写真14 石勾玉を作ろう①



写真15 石勾玉を作ろう②



写真16 古代体験まつり



写真 17 染物体験（藍染め）



写真 18 染物体験（茜染め）



写真 19 火おこし体験



写真 20 歴史バスツアー



写真 21 団体来館（館内案内）



写真 22 出前考古学教室 1,000回達成（味酒小学校）



写真 23 大連古代蓮

寄贈資料の報告

(宮内勘一氏寄贈の青銅鏡について)

1 はじめに

平成26年度、当埋蔵文化財センターにて寄贈資料の受け入れ（寄贈者：宮内勘一氏）があった。本資料は古墳時代の青銅鏡であり、その資料的価値も非常に高く、当該地域における古墳時代史を考察する上で極めて有効なものであると判断されることから、今回、保存処理終了した現段階にて、寄贈資料の詳細報告を行うものである。

2 寄贈資料の概要・観察

(1) 出土経緯および出土位置について

本寄贈資料である青銅鏡の出土経緯については、岡田敏彦氏の報告にて詳説されている（岡田2012）。報告によれば、寄贈者である宮内氏の墓地付近（松山市中野町・南側丘陵）の開墾の際に出土したものであろうとの内容で、墓地横には墳丘と思われる高まりが確認されている。

本資料が墓地横の古墳出土かどうかの判断は現段階では困難であるが、近接地には丘陵一帯において古墳群（矢谷古墳群）が展開する地域であることから、その可能性は十分に考えられる。

(2) 寄贈青銅鏡の観察

①全形・表面観察

遺存状態としては、ほぼ完形品であり、外区櫛歯紋帯に6cm程度の欠損部分がみられるものの、鏡背の文様構成を全て把握できるものである。

保存処理後の面径15.2cm、厚さ0.3cm、外縁部にかけての面反り0.3cmで、外縁部分にかけて0.5cmと厚みを増す。鏡面には白銅質の光沢を僅かに残すが、鏡背部にかけてブロンズ病が進行しており、深刻な錆化は破断面の観察からも明らかである。

また、鏡背部では赤色顔料の塗布が認められるが、鏡面部には積極的に塗布されたような痕跡はない。繊維痕や木痕なども表面観察では確認できない。

②鈕

鈕は径2.3cm、高さ1.2cmで断面半球状を呈し、鈕孔断面は隅丸方形である。一条の細い圈線を介し、幅0.3cmの重弧紋と均等割りされた六個の楕円圈紋で構成された鈕座が巡っており、高さ0.2cm程度の立体的な表現をなす。内区との境界には1条の突帯が巡る。

③文様構成

内区は、鈕を中心に鈕座・楕円圈紋を介し放射状に延びる位置に、高さ0.3cm、幅0.5cmの乳を6箇所配置する。乳座は径0.9cmで平坦な高まりを有する。

また、乳で区画されたスペースには、神像と獣像が3体ずつ交互に配置され、その隙間を唐草紋が埋める構成をなしている。唐草紋自体にシャープさはないが丁寧に刻まれており、一定の規則性が保たれている。

神像については、顔面表現や衣装などに明瞭な線刻がなく、辛うじて服の袖部や「三山」の冠表現などが確認できる程度である。おそらく3体とも「東王父」を表現したものであり、原型となる神像とは大きく乖離し省略された表現となっている。

獣像については、左方向に向いた状態で配置されており、頭部から伸びる毛の表現や、前後の脚の表現が認められる。鑄出しの状況については神像と同様に甘く丸みを帯びる。

④銘帯

内区外周には圏線および半円方形帯が巡っている。半円・方形はそれぞれ8個ずつ交互に配され、その隙間を縦4個単位の珠紋で埋めている。半円部分についてはその縁を沿うようにカーブを描いて配置されるなど、比較的丁寧かつ精緻な作りとなっている。

半円には3個単位の雲紋が刻まれており、全体的にやや不明瞭な鑄上がりである。また方形内は二重線にて縦方向優先で区画され、その間を4個の珠紋で埋めている。半円・方形いずれも銘文の表現は見られず、鑄上がりにはシャープさはない。

⑤外区

外区は鋸歯紋帯が外面に向かい厚く傾斜し、1条の圏線を挟んで内側から櫛歯紋、菱雲紋で構成されている。菱形の両隅付近には各1個ずつ2個単位の雲紋が配されているが、線自体は明瞭でなく、菱形の形状も、確認可能な範囲では若干不規則な印象を受ける。

⑥縁部

外縁部断面は斜縁を呈し、鏡背面はやや反り気味である。

3 所見

寄贈青銅鏡の詳細について観察すると、①珠紋や唐草紋に精緻な表現が見られる、②神像・獣像の表現および鑄上がりが甘い、③外区・菱雲紋と櫛歯紋・鋸歯紋の組合せや方形区画の銘文表現（珠紋にて簡略）、④内区は6乳で区画し、配置が三神三獣式となる、などの諸要素が認められることから、先学研究（森下1991・2002、下垣2003）を参考にすると、本鏡は「対置式三神三獣鏡」の倭鏡（仿製鏡）であると考えられる。

また、本鏡の製作時期および副葬品としての年代観については、外区の菱雲紋構成が残る段階で、神獣像の簡略化・規則的配置が認められることから、概ね古墳時代前期後半の所産であると思われるが、副葬された古墳やその他の副葬品が不明なことから、詳細は不明である。

4 おわりに

今回の寄贈資料が出土した松山平野南部（久谷地域）の丘陵部および平野部には、前述のとおり古墳時代後期の群衆墳が展開することが既に周知されていたが、その実態については不明な部分が多い。平野部西側には土壇原遺跡をはじめ、「砥部窯跡群」など古墳時代前期から終末期にかけて連続と遺構が展開することが先学研究からも明らかであり、近年、竪穴建物をはじめとする集落遺跡（えばらにぼり恵原新張遺跡）の具体像も少しずつ明らかになっており、今後、本寄贈資料が久谷地域の古墳時代前期首長墳を解明する契機となるかもしれない。

最後になりましたが、本資料を寄贈いただきました宮内勘一氏、資料の寄贈についてご協力頂きました岡田敏彦氏対して、重ねて御礼申し上げます。

（山内 英樹）

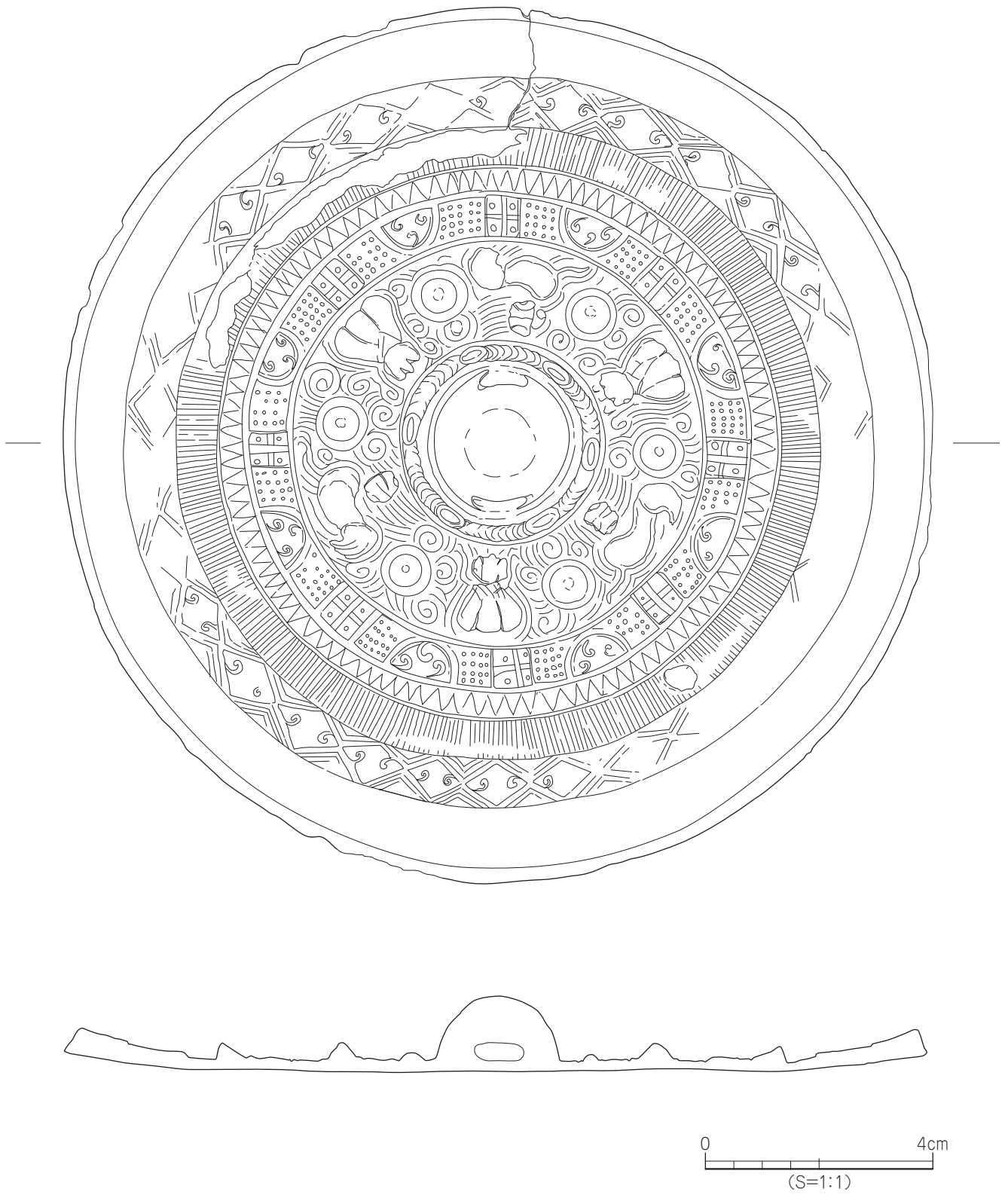


図1 寄贈青銅鏡実測図



写真1 寄贈青銅鏡（保存処理後）

【参考文献】

- ・岡田敏彦 2012 「Ⅱ - 5 資料調査・三本木集落南丘陵出土の鏡について」
『愛比売 平成23年度年報』、公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター
- ・下垣仁志 2003 「古墳時代前期倭製鏡の編年」『古文化論叢』第49集、九州古文化研究会
- ・森下章司 1991 「古墳時代倭製鏡の変遷とその特質」『史林』第74巻第6号、史学研究会
- ・森下章司 2002 「古墳時代倭鏡」『考古資料大観』第5巻 弥生・古墳時代鏡、小学館

V 關係法規

1. 松山市立埋蔵文化財センター条例

平成元年9月30日
条例第43号

(設置)

第1条 本市の埋蔵文化財の保護、調査、研究等による地域文化の発展を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、松山市立埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）を設置する。

2 センターは、松山市南斎院町乙67番地6に置く。
(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財の発掘、調査、研究等に関すること。
- (2) 出土品、資料等の保存、整理及び収蔵に関すること。
- (3) 埋蔵文化財に係る情報の収集、交換等に関すること。
- (4) 次条に規定する松山市考古館（以下「考古館」という。）及び松山市文化財情報館（以下「文化財情報館」という。）の管理運営に関すること。
- (5) その他教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める事業

(考古館及び文化財情報館)

第3条 センターに考古館及び文化財情報館を設置する。

2 考古館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財その他の考古資料の収集、管理及び展示に関すること。
- (2) 考古館が収蔵する資料（以下この条において「考古館資料」という。）の案内、説明等に関すること。
- (3) 考古館資料に係る調査、研究等に関すること。
- (4) 考古館資料に係る講演会、研究会等の開催に関すること。
- (5) その他委員会が必要と認める事業

3 文化財情報館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 出土文化財の調査、研究等に関すること。
- (2) 出土品、資料等の保存、活用、整理及び収蔵に関すること。
- (3) 埋蔵文化財に係る情報の収集、公開等に関すること。
- (4) その他委員会が必要と認める事業
(考古館観覧料)

第4条 考古館を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納めなければならない。

(観覧料の減免)

第5条 委員会は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第6条 既納の観覧料は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

(秩序維持)

第7条 委員会は、次の各号の一に該当する者に対し、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 酔い酩者等で、他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある者
- (2) 施設、設備又は展示品、資料等を損傷するおそれのある者
- (3) その他委員会が管理運営上支障があると認める者

(損害賠償)

第8条 センターの施設、設備又は展示品、資料等を毀損し、又は滅失した者は、不可抗力による場合を除き、市にその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第9条 センターに所長その他の必要な職員を置き、考古館に館長を置く。

(指定管理者)

第10条 委員会は、センターの設置の目的を効果的に達成するため必要があると認めるときは、地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理

者（以下「指定管理者」という。）にセンターの管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第11条 前条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

- (1) 第2条並びに第3条第2項及び第3項に規定する事業の実施に関する業務
- (2) センターの維持管理に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める業務

2 前項の場合における第7条の規定の適用については、同条中「委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

（指定管理者が行う管理の基準）

第12条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく教育委員会規則の定めるところに従い、適正にセンターの管理を行わなければならない。

（委任）

第13条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、別に規則で定める。

（過料）

第14条 詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科する。

付 則

この条例は、平成元年10月31日から施行する。

付 則（平成3年3月25日条例第6号）

この条例は、平成3年4月1日から施行する。

付 則（平成9年3月25日条例第7号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

付 則（平成14年3月20日条例第6号）

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

付 則（平成15年3月24日条例第1号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

付 則（平成17年6月30日条例第29号）

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

（平成18年2月24日教委規則第1号により、平成18年4月1日から施行する。）

別表（第4条関係）

区 分		金 額
常設展	個人	100円
	団体	1人につき 80円
特別展	個人	1,000円以内で委員会の定める額
	団体	1人につき 個人に係る特別展の観覧料の8割に相当する額

備考

- 1 この表において「団体」とは、20人以上の集団をいう。
- 2 義務教育就学前の児童、小学校の児童、中学校及び高等学校の生徒並びに委員会がこれらに相当すると認めた者は、無料とする。

2. 松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則

平成 16 年 12 月 28 日
教委規則第 41 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、松山市立埋蔵文化財センター条例(平成元年条例第 43 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び入館時間)

第 2 条 松山市立埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の開館時間及び入館時間は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、開館時間及び入館時間を変更することができる。

区 分	開館時間及び入館時間
センター (松山市考古館を除く。)	午前 8 時 30 分から午後 5 時まで
松山市考古館 (以下「考古館」という。)	午前 9 時から午後 5 時まで (入館時間は、午前 9 時から午後 4 時 30 分まで)

(休館日)

第 3 条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に開館日若しくは閉館日を設けることができる。

区 分	休館日
センター (考古館を除く。)	(1) 日曜日及び土曜日 (2) 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「法」という。)に規定する休日 (3) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで
考古館	(1) 月曜日(法に規定する休日に当たる日を除く。) (2) 法に規定する休日の翌日(日曜日に当たる日を除く。) (3) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

(観覧券の交付)

第 4 条 教育長は、条例第 4 条の規定により考古館の観覧料(以下「観覧料」という。)を納付した者に対し、考古館観覧券(以下「観覧券」という。)を交付する。

2 観覧券の種類及び様式は次の各号に定めるとおりとする。

(1) 常設展観覧券

ア 一般観覧券(第 1 号様式)

イ 団体観覧券(第 2 号様式)

(2) 特別展観覧券(その都度教育長が定めるものとする。)

(3) 割引観覧券(常設展又は特別展一般観覧券に割引後の額を表示したものとする。)

3 観覧券は、考古館の入口で改札を受けなければならない。

(観覧料の減免)

第 5 条 条例第 5 条の規定により観覧料を減免する場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 教育課程の一環として、児童生徒の引率者が観覧する場合… 全額

(2) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護人が観覧する場合… 全額

(3) 市内に居住する 65 歳以上の者が観覧する場合… 半額

(4) 前 3 号に掲げるもののほか教育長が特別な理由があると認めた場合… その都度教育長が定める額(観覧料の減免申請)

第 6 条 条例第 5 条の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(第 3 号様式)を教育長に提出しなければならない。ただし、前条第 2 号若しくは第 3 号の規定に該当することを証する書類等を提示した者又は教育長が観覧料減免申請書の提出を要しないと認めた者については、この限りでない。

(観覧料の還付)

第 7 条 条例第 6 条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 考古館を観覧しようとする者の責に帰すことができない事由により観覧できなくなったとき。

(2) 前号に掲げるもののほか教育長が特別な理由があると認めるとき。

(資料の特別利用)

第 8 条 センターが所蔵する資料(以下「センター資料」という。)を利用しようとする者は、松山市立埋蔵文化財センター資料特別利用申請書(第

4号様式)を教育長に提出し、松山市立埋蔵文化財センター資料特別利用許可書(第5号様式)の交付を受けなければならない。

- 2 センター資料の貸出期間は、30日以内とする。ただし、教育長が相当の理由があると認めるときは、その期間を延長することができる。
- 3 教育長は、公益上又はセンター資料の管理上必要があると認めるときは、貸出期間中であってもセンター資料の返還を求めることができる。

(寄贈及び寄託)

第9条 センターは、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

- 2 センターに資料を寄贈又は寄託しようとする者は、資料(寄贈・寄託)申請書(第6号様式)により教育長に申請し、その許可を受けるものとする。
- 3 教育長は、センターに資料を寄贈又は寄託した者に対し、資料(受領・受託)書(第7号様式)を交付するものとする。
- 4 寄託資料の寄託期間は、1年、3年又は5年とする。
- 5 寄託資料は、センター資料に準じて取り扱うものとする。ただし、当該資料を他に貸し出す場合は、あらかじめ寄託者の承諾を得るものとする。

(指定管理者に関する読替え)

第10条 条例第10条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合において、第4条第1項及び第2項第2号並びに第8条の規定の適用については、これらの規定中「教育長」とあるのは、「指定管理者」とする。

(管理の対価)

- 第11条 前条に規定する場合において、指定管理者に支払われる管理の対価は、当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えてはならない。
- 2 前項の管理の対価が当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えるに至った場合には、教育長は、指定管理者に対し、その超える金額を還

付させるものとする。

(委任)

第12条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

(施行期日)

1 この規則は、平成17年1月1日から施行する。
(松山市考古館管理運営規則の廃止)

2 松山市考古館管理運営規則(平成元年教育委員会規則第12号)は、廃止する。

付 則(平成18年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

付 則(平成28年3月31日教委規則第7号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

松山市埋蔵文化財調査年報 28

平成 28 年 12 月 28 日 発行

編集
発行

松山市教育委員会
〒 790-0003 愛媛県松山市三番町六丁目 6-1
TEL (089) 948-6605

公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター
〒 791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙 67 番地 6
TEL (089) 923-6363
FAX (089) 925-0260

印刷

原印刷株式会社
〒 799-1594 愛媛県今治市喜田村 1 丁目 2-1
TEL (0898) 48-5511
